

令和5年度 第3回 石岡市公共交通政策会議 会議次第

日 時 令和6年2月13日（火）

場 所 石岡市役所 2階201・202会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

石岡市地域公共交通計画の策定について

4 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 前回会議の意見対応表
- ・ 資料2 地域公共交通計画への施策反映について
- ・ 資料3 アンケート調査結果比較資料（H30、R5）
- ・ 資料4 パブリックコメント意見対応表
- ・ 資料5 パブリックコメント意見書
- ・ 資料6 石岡市地域公共交通計画（案）
- ・ 資料7 前回議事録

第 2 回石岡市地域公共交通政策会議 意見対応表

頁	御意見や御指摘	左記の対応
一	金井委員からの御指摘。 今回の計画で新たな施策や削除した施策を説明していただけるとありがたいと思います。	資料 2 「地域公共交通網形成計画における施策の総括表」を作成しました。 今回の計画策定に伴い修正は 1 つ、削除は 1 つになります。それ以外は、全て継続して記載します。 ・修正：柿岡市街地を結ぶバス路線の機能維持 ・削除：交通結節点における医療機関の受付制度の導入検討
一	吉澤委員からの御指摘。 アンケートについて、前回と今回で同じ項目での数値、割合とか、そちらの変化があったもので把握しているものがあればそれを踏まえて検討するのが良いのではないかと。	資料 3 「アンケート調査結果比較資料（H30、R5）」を作成し、傾向を比較しました。
80～92	岡本会長からの御指摘。 予算がないからできなかったという施策が散見されるが、予算に縛られず、計画には必要な施策をきちんと明記したほうがよい。「検討」という表記は避けた方がよい。	施策については、「検討する」といった文言を無くし、前向きな言葉「実施する」や「行います」等に変更しました。 ※該当ページ：P80、P81、P82、P83、P85、P89、P90、P91 ※P92では、検討の文言を残しています。
83	木下委員からの御指摘。 路線バスは、2度目・3度目の廃止にならないようにしてほしい。なぜ乗らないかという調査もやってほしい。バスと鉄道の接続がうまく調整されていないように思うので、検討する際はそれらも含めて考えてほしい。	1-4 交通結節点の整備 1 点目の「①利用環境整備の促進」の 7 行目に「また、鉄道とバスの接続性の向上を図るため、鉄道とバスの乗り換え時間を考慮して、鉄道の到着時刻に合わせたバスの到着・発車時刻に再編することを推進します。」という文言を追記しました。
84	國下委員からの御指摘。 バリアフリー教室を国も推進している、今年度は水戸市で実施した。早期に石岡市とも一緒にやっていきたい。	2-1 バリアフリー化の推進 2 点目の「交通バリアフリー教室の開催」は、来年度から実施するため、実施年度の箇所につきましては、令和 6 年度から順次実施に修正しました。
86	岡本会長からの御指摘。 情報提供について、ホームページに見れるようにする、としていても高齢者は PC を使わない、高齢者は紙媒体、高齢者が困っているのに紙媒体で情報提供ということ考えたほうがよい。	2-3 周知・広報活動の実施 「公共交通マップの作成」の文言を追記しました。

87	岡本会長からの御指摘。 利用意識を醸成するという表現ではなく具体的な取組を記載した方がよい。	2-4のタイトルを「利用意識の醸成」から「モビリティ・マネジメントの推進」に修正しました。 事業内容についても、現在市で実施している「公共交通の出前講座」や「乗り方教室」の内容に変更しました。
88	山浦委員からの御指摘。 ・特急定期券のウィークリー定期券は廃止になったのではないかと。 ・中学生向けのリーフレットの画像が古いので、昨夏にやった新しいものに差し替えてほしい。	・御指摘の定期券は廃止されていたため、「各種の定期券購入補助制度」の中から「特急定期券のウィークリー定期券」の文言を削除しました。 ・令和5年に配布した最新のリーフレットに更新しました。
91	木下委員からの御指摘。 広域観光のことが記載されており、上曽トンネルが2年後に開通するため、観光、交通も広域的に考える必要がある。 山浦委員からの御指摘。 以前、廃線になったバス路線が一日限りで復活したことがあった。トンネル開通するタイミングで、鉄道でいうイベント列車のような形で復活すれば、集客につながるのではないかと。	3-2 広域連携の推進 2点目の「②観光産業を支える公共交通の利用促進」の内容は、現在改定中の「第2次石岡市観光振興計画」の記載と合わせて更新しました。
ー	木下委員からの御指摘。 6～7年後には今度複合施設ができるため、外からお客のみならず、八郷地域とをつなぐ公共交通についても考えていく必要があるのではないかと。	現時点で具体的な計画が決まっていないため、次回以降の計画改定時へ反映します。

地域公共交通計画への施策反映について

・進捗状況については、実施中が8つ、一部実施中が7つ、未着手が5つ
 ・新計画への記載については、継続が19つ、一部変更して継続が1つ、一部削除が1つ

番号	旧計画の施策名		内容	事業主体	進捗	進捗内容	新計画への記載
1	周知・広報活動の実施	HP、広報等での周知・広報活動	公共交通の利用促進を図るために、公共交通の運行情報や公共交通の維持に向けた協力について、HP、広報等を用いて広く周知します。	・石岡市 ・各交通事業者	実施中	・路線バスに関してHPで掲載しています。 ・令和4年10月1日号、公共交通特集ページを掲載しました。	継続 (計画案P86)
2	意識醸成による利用促進	モビリティ・マネジメントの実施	過度の自動車利用がもたらす弊害や公共交通に関する情報提供により、市民の公共交通に対する利用意識を醸成することで、「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通を含めた多様な交通手段を適度に（かしこく）利用する状態」へと変化することを促します。実施にあたっては、公共交通機関の再編の状況も踏まえながら、効果的な対象、手法を選定します。 【取組例】 ・地域住民を対象として、公共交通の見直しを実施する地域や路線維持を図るバス路線沿道の居住者等を対象に、日常的な移動時の公共交通利用意識を醸成 ・小学生を対象として、長期的な展望に立ち、教育の一環として、授業による交通と環境の学習やバスの乗り方教室等を実施 ・高齢者を対象として、特定路線沿線に住む高齢者クラブの方を対象に、バスの乗り方教室等を実施 ・転入者を対象として、市外からの転入者を対象に、公共交通の運行情報等に関する情報を提供 ・中学3年生（受験生）を対象として、公共交通を利用した通学方法について考えてもらうリーフレット、バスお試し乗車券を配布（茨城県公共交通活性化会議）	・石岡市 ・各交通事業者 ・市民	一部実施中	・茨城県公共交通活性化会議と連携して、毎年中学3年生（受験生）を対象に公共交通を利用した通学方法について考えてもらうリーフレットやバスお試し乗車券の配布を実施しています。 ・関鉄グリーンバスがH27に小学生を対象としたバス乗り方教室を実施して以降、人員不足のため開催していません。今後の実施については人員不足が解消されれば、バス会社と連携して開催してまいります。	継続 (計画案P87)
3	他分野と連携した利用促進	福祉・交通安全分野と連携した利用促進策	福祉・交通安全分野と連携した、公共交通の利用促進と高齢者福祉・交通安全の双方のメリットにつながる取組を検討、推進します。 ●高齢者の運転免許証返納に対する公共交通機関利用の優遇制度の検討 ●石岡プラチナ応援券での乗車券購入制度の周知	・石岡市 ・各交通事業者	一部実施中	石岡プラチナ応援券での乗車券購入制度は配布している乗合タクシーのチラシに掲載するとともにHPについても掲載し周知しています。	継続 (計画案P89)
4	他分野と連携した利用促進策	商業分野と連携した利用促進策	商業分野と連携した、公共交通の利用促進と中心市街地の活性化の双方のメリットにつながる取組を検討、推進します。 ●中心市街地の店舗とコラボした企画券、イベントの検討	・石岡市 ・各交通事業者 ・商業施設	未着手	・石岡市御幸通り商店街振興組合主催で、石岡ステーションパークを会場としたイベント『いいおか市場』を2か月に1回開催しているため、連携して公共交通の利用促進を検討します。	継続 (計画案P90)

5	他分野と連携した利用促進策	観光分野と連携した利用促進策	観光分野と連携した、公共交通の利用促進と観光振興の双方のメリットにつながる取組を検討、推進します。 ●観光巡回車“石岡ぐるりん”等の周知・案内 ●観光イベント時の公共交通の利用促進 ●公共交通を利用した観光企画の検討	・石岡市 ・石岡市観光協会 ・各交通事業者	一部実施中	・石岡市観光協会と関鉄グリーンバス株式会社が協力し、令和4年4月より「石岡・やさ観光周遊バス」を運行しており、HP等で周知を行っています。 ・観光イベント時（石岡のお祭りや石岡ふれあい祭り）はシャトルバスを運行しています。 ・公共交通と連携した観光企画の検討は実施していません。	継続 (計画案P90)
6	広域交通の機能強化	鉄道の利便性向上	市内と市外を結ぶ広域的な移動を担う公共交通機関として、各関係団体と連携して、鉄道の利便性向上を図ります。 ●利便性向上に向けた要望活動 ●パークアンドライド用駐車場の維持・充実による鉄道利用促進 ●高浜駅周辺整備事業の推進	・石岡市 ・石岡市議会 ・石岡市商工会議所青年部 ・鉄道事業者	実施中	・利便性向上に向けた要望活動は各同盟会及び協議会（計5団体）で実施している。内容については常磐線の快速電車の延伸や東京駅・品川駅乗り入れ等、つくばエクスプレスの茨城空港までの延伸を要望しています。 ・鉄道周辺の市営駐車場の適切な運営・維持管理を継続して行っており、パークアンドライド用駐車場の維持・充実による鉄道利用促進を実施しています。 ・高浜駅周辺整備事業に向けて、現在検討を行っています。 ・（都）貝地・高浜線の整備を進めています。	継続 (計画案P76)
7	広域交通の機能強化	高速バスの維持・充実	鉄道と並び、市内と市外を結ぶ広域的な移動を担う公共交通機関として、東京方面への高速バスの維持、充実を図ります。 具体的には、石岡BS（バスストップ）付近でのパークアンドライド用駐車場の整備が進んでおり、石岡BSまでの交通手段として「自家用車」が多く利用されています。今後も、高速バス利用者の利便性を向上させるため、適切な管理運営と駐車場が不足する場合には駐車場の拡張を交通事業者へ要請します。	・石岡市 ・バス事業者	実施中	市及びバス事業者が適切な管理運営を行っています。今後、駐車場が不足する場合には駐車場の拡張を交通事業者へ要請します。	継続 (計画案P77)
8	幹線交通の機能強化	柿岡市街地を結ぶバス路線の機能強化	多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える基幹的な公共交通軸の形成に向けて、石岡市街地（中心拠点）と柿岡市街地（地域拠点）間を強固に連結するため、交通事業者と連携して、現在の路線バスのサービス水準向上や、定時性・速達性を重視した拠点間を直通する新たなバス路線の導入等を検討します。	・石岡市 ・バス事業者	未着手	新型コロナウイルスの影響もあり、運行本数は減少しています。	バス路線の「機能強化」を「機能維持」に変更して継続 (計画案P78)

9	幹線交通の機能強化	南台・東石岡周辺及び茨城空港を結ぶBRT路線のサービス維持	多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える基幹的な公共交通軸の形成に向けて、中心拠点である石岡市街地と地域拠点である南台・東石岡周辺及び茨城空港を結ぶBRT路線のサービス維持を図ります。 具体的には、バス専用道やBRT専用駅前広場等の質の高い交通基盤の適切な維持管理、交通事業者の協力のもと高い運行サービス水準の維持、さらに、沿道住民等との協働による利用促進の継続、茨城空港へのアクセス路線としての更なる普及等を推進します。	・石岡市 ・バス事業者 ・市民	実施中	市がバス専用道の道路補修や植栽管理を実施しています。BRT専用駅前広場については、バス乗降場の集約やバス待合所の整備を行い利便性の向上を図っています。 沿道住民等との協働による利用促進の継続については、沿道の南台二丁目自治会が中心となり関鉄グリーンバスと連携して、石岡南台駅で毎年イルミネーションを点灯しています。	継続 (計画案P79)
10	補助交通の維持・充実	乗合いタクシーの見直し	多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える補助的な公共交通網の形成に向けて、平成27年10月の乗継廃止後に生じた新たな問題（予約時のお断り件数増加、利用者減少、他の交通機関への影響の懸念等）やアンケート調査で得られた市民ニーズを考慮し、乗合いタクシーを見直します。 ●運行区域の見直し ●予約システムの改善	・石岡市 ・乗合タクシー事業者	一部実施中	・運行区域の見直しは未着手になります。 ・予約システムの改善を実施しました。令和5年3月からAI予約システム導入、時間便の廃止を行っています。	継続 (計画案P80)
11	補助交通の維持・充実	廃止代替路線の見直し	有明地区、園部地区から羽鳥駅までの多様な移動需要に対応する板敷山羽鳥線について、利用の低迷を踏まえ、運行のあり方や維持存続を図るための方策を検討します。	・石岡市 ・バス事業者	実施中	令和4年度からはパセオパルケを通るルートに変更を行いました。年間約1万1,000人程度で推移していましたが、ルート変更後は1万3,000人に伸びています。 令和4年度パセオパルケ利用者実績：1,310人	継続 (計画案P81)
12	補助交通の維持・充実	次世代交通システムの推進	新たな移動手段として、高齢者や子育て世代の移動支援、観光振興、環境負荷の低減等、様々な効果が期待されることから、超小型モビリティ、自動運転小型バス等の「次世代交通システム」の活用に向けた取組を推進します。 将来的な本格導入に向けた課題把握のため、研究機関と連携して、市の北西部における試験導入を検討します。	・石岡市 ・研究機関	実施中	グリーンスローモビリティ事業実証運行実施 ・令和3年度：南台、ばらき台地区 運行期間：令和3年11月10日から 令和3年11月28日（18日間） 乗車人数：1,021人 ・令和4年度：中心市街地地区 実施期間：令和4年10月6日から 令和4年12月22日（78日間） 乗車人数：1,787人 ・令和5年度：柿岡市街地地区 運行期間：令和5年10月2日から 令和5年11月30日（60日間） 乗車人数：553人	継続 (計画案P82)
13	広域連携の推進	市外病院への通院ニーズに対応するため検討	土浦協同病院（土浦市）等、市外の病院への通院ニーズが高いことから、市外病院への通院ニーズに対応するため、近隣自治体との連携も含めた公共交通での対応を検討します。	石岡市	未着手	現在、乗合タクシーで石岡循環器科脳神経外科病院（小美玉市）へ行くことができます。近隣市町村との連携も含めた公共交通での対応を近隣市町村等と協議します。	継続 (計画案P91)

14	広域連携の推進	広域観光を支える公共交通の検討	新たな観光客の玄関口と期待される茨城空港を活用した広域観光ルートの形成等、都心と本市、近隣自治体を結ぶ広域観光への対応について、既存公共交通の活用や新たな公共交通サービスの導入可能性を検討します。 推進にあたっては、「第2次石岡市観光振興計画」との連携を図ります。	石岡市	一部実施中	・令和4年11月～12月に茨城県が主体となり茨城プレデスティネーションキャンペーンに合わせ、「石岡・土浦・つくば観光エリア観光周遊バス」の実証実験を実施しました。	継続 (計画案P91)
15	交通結節点の整備	バス停付近の利用環境整備の推進	バスの利便性を向上させるために、バス停への上屋、ベンチ、風よけ等を整備します。特に八郷地区の中心的な役割を担う柿岡市街地では、乗継利便性を向上させるために、八郷総合支所におけるバス待合環境を整備します。 また、自転車を活用したまちづくりを目指す「石岡市りんりんタウン構想」と連携し、バス停付近に駐輪場を整備します。整備にあたっては、道路空間（歩道等）等の官地への設置の他、バス路線沿道の公共施設や商業施設、銀行等の既存駐輪場の活用も検討します。	・石岡市 ・バス事業者 ・沿道施設	一部実施中	令和4年に石岡駅バスターミナル整備を行いました。バス乗降場の集約やバス待合所の整備を行い利便性の向上を図っています。 自転車を活用したまちづくりを目指す「石岡市りんりんタウン構想」と連携し、バス停付近に駐輪場を整備することについては、未着手になります。	継続 (計画案P83)
16	交通結節点の整備	交通結節点における乗継利用時の優遇措置	乗合いタクシーの見直しでは乗継利用を前提とした運行区域の見直しを検討することから、乗継利用時の負担を軽減するため、乗継利用者に対する優遇措置を検討します。 ●既存乗継割引制度の活用、改善の検討 ●交通結節点における医療機関の受付制度の導入検討	・石岡市 ・バス事業者 ・乗合タクシー事業者 ・医療機関	一部実施中	既存乗継割引制度は継続実施しています。	既存乗継割引制度の活用、改善については継続 (計画案P83)
						交通結節点における医療機関の受付制度の導入検討は未実施になります。	交通結節点における医療機関の受付制度の導入検討は削除
17	バリアフリー化の推進	バリアフリー対応車両の導入促進	高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児を同伴する方等に配慮し、人にやさしい交通サービスを提供するために、バリアフリー対応車両の導入を関係事業者と協力しながら推進します。	・石岡市 ・バス事業者 ・タクシー事業者	実施中	現在、一般路線バスでのバリアフリー化が進んでおり、全車両がノンステップバス・ワンステップバスとなっている。次回導入する車両についても、ユニバーサルデザイン車両を導入予定。	継続 (計画案P84)
18	通勤・通学者への支援策	各種の定期券購入補助制度の継続	通勤・通学者への支援策として、これまで実施してきた、鉄道利用通勤・通学者及び遠距離児童・生徒に対する定期券補助制度の継続に努めます。 ●「通勤者特急券購入費補助制度」「通学者定期券特急券購入費補助制度」 ●遠距離児童、生徒通学費の保護者に対する補助金交付制度	石岡市	実施中	・通学者定期券特急券購入費補助制度実績 令和2年度：補助額 312,000円 補助交付者 5人 令和3年度：補助額 1,452,000円 補助交付者 27人 令和4年度：補助額 2,766,000円 補助交付者 38人 ・通勤者特急券購入費補助制度実績 令和2年度：補助額 1,212,000円 補助交付者 16人 令和3年度：補助額 1,264,000円 補助交付者 12人 令和4年度：補助額 2,162,000円 補助交付者 23人 ・遠距離児童、生徒通学費の保護者に対する補助金交付制度実績 令和2年度：補助額 624,179円 補助交付者 42人 令和3年度：補助額 580,511円 補助交付者 45人 令和4年度：補助額 451,580円 補助交付者 41人	継続 (計画案P88)

19	乗務員確保に向けた取組	バス専用道における自動運転の実用化に向けた取組の促進	乗務員確保のため、本市の交通資源であるバス専用道の強みを活かし、技術革新の目覚ましい自動運転技術の実用化に向けて取組を推進します。	・石岡市 ・バス事業者 ・研究・開発機関	未着手	関東グリーンバスからBRTについては、道路上での交差点が多数存在することやBRT専用道路側に遮断機がある等の理由で、現時点で自動運転バスの導入は困難となっています。	継続 (計画案P92)
20	情報提供の充実	総合公共交通マップの作成	各種アンケート調査結果で「バスがどのように運行しているのかわからない」のでバスを利用しない方、「利用方法がわからない」ので乗合いタクシーを利用しない方が一定程度確認されました。また、乗合いタクシーの見直しでは乗継利用を前提とした見直しを検討することから、乗継方法も含めて、誰もが容易に公共交通を利用できるよう、各交通モードの運行内容等を網羅的に掲載した「総合公共交通マップ」を作成します。	・石岡市 ・各交通事業者	未着手	作成は行っていません。HP等で路線図の掲載を実施しています。	継続 (計画案P86)

新規施策について

・新計画への記載については、新規が3つ

計画案の施策名		内容	事業主体
バリアフリー化の推進 (計画案P84)	交通バリアフリー 教室の開催	市内の小学校の児童等を対象として「交通バリアフリー教室」を開催します。	・石岡市 ・国 ・バス事業者
運行情報提供の充実 (計画案P85)	バスロケーション システムの導入	路線バスや乗合いタクシーにバスロケーションシステムの導入を進めます。	・石岡市 ・各交通事業者
新たな交通技術・サービス の導入検討 (計画案P92)	新たな交通技術・サービスに関する 情報収集、導入可能性の検討	近年、様々な交通技術・サービスが登場しており、全国の自治体で導入の検討が始まっているため適宜幅広く情報を収集し、柔軟に取り入れられるよう導入可能性について検討します。 様々な交通技術・サービスの例：自動運転、バสดローン技術（物流、空飛ぶクルマ）、車両のシェアリング（自動車、自転車、小型モビリティ）、ライドシェアサービス、MaaS	・石岡市 ・有識者 ・関連事業者 ・市民

アンケート調査結果比較資料 (H30、R5)

2024/2/13

社会システム株式会社

目次

1.	アンケート概要	1
1.1.	実施概要	1
1.2.	結果概要	3
2.	石岡市交通実態調査結果	7
2.1.	回答者属性	7
2.2.	移動実態	12
2.3.	バスの利用実態	16
2.4.	乗合いタクシーの利用実態	23
2.5.	鉄道の利用実態	30
2.6.	現在の外出状況・将来の不安	31
2.7.	移動実態調査	33
3.	石岡市公共交通利用者アンケート結果	37
3.1.	回答者の属性	37
3.2.	バスの利用実態	43
3.3.	鉄道の利用実態	51
4.	石岡市乗合いタクシー利用者アンケート結果	63
4.1.	回答者属性	63
4.2.	乗合いタクシーの利用実態	67

1. 調査概要

1.1. 実施概要

令和5年度に実施した各種アンケートの概要は下記のとおりです。

表 1 各種アンケート実施概要

	調査対象者	調査方法, 調査期間・日時	主な調査項目
1. 市民アンケート	・ 無作為抽出した高校生以上の市民 2,000 人 ・ 回答 486 件 【回答率 24.3%】	・ 郵送配布、郵送・Web 回収 ・ 令和5年12月	○ 日常的な移動状況 ○ バス路線、乗合いタクシーに求める運行サービス改善点の重要度 ○ 現在の自力での外出状況及び将来の不安
2. 公共交通利用者アンケート	・ 市内を運行する鉄道・路線バス・BRT等の利用者 1,500 人 ・ 回答 199 件 【回答率 13.3%】	・ 駅（石岡駅、高浜駅）において直接配布し、郵送・Web 回収 ・ 令和5年12月13日(水)	○ アンケートを受け取った日の移動状況（1日の動き） ○ 鉄道、路線バスのサービスに対する満足度
3. 乗合いタクシー利用者アンケート	・ 乗合いタクシー利用者 500 人 ・ 回答 103 件 【回答率 20.6%】	・ 車両内において直接配布し、郵送回収 ・ 令和5年12月中旬～下旬	○ 乗合いタクシーの利用状況 ○ 乗合いタクシーのサービスに対する満足度

【集計にあたっての留意事項】

（１） n 数：集計対象とした回答サンプル数。

- ・ 設問によって有効とした回答が異なるため n 数が異なる点に留意する必要がある。
複数の回答を用いたクロス集計の場合、サンプル数が減少し、回答の信頼性が低下する点に留意する必要がある。
- ・ 未回答や回答条件に従っていない回答は、集計対象外とした。

（２） % ： n に対する回答の割合。

- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。
- ・ 複数選択形式の場合、集計結果の合計は 1 0 0 % を超過する点に留意する必要がある。

（３）平成 30 年調査結果との比較 ： 過年度計画策定時に実施した同様の調査結果との比較

- ・ 設問内容が H30 時点から変更したもの、データ集計が困難なものについては比較を実施していない。

1.2. 結果概要

路線バス、鉄道、乗合いタクシーごとに各種アンケートの主な結果や課題を踏まえて、計画書に内容を反映しました。

(1) 路線バス

【市民アンケートにおける主な結果】

- ・ 路線バスに「ほとんど乗らない」人は市民のうち約9割です。平成30年調査と比べると「ほとんど乗らない」人の割合が1割程度増加しています。後述の公共交通利用者アンケートの結果でも、平成30年調査と比べて「ほとんど乗らない」の割合が増加していることから、全体的に利用者が減少していることが伺えます。
- ・ 利用しない理由は、「自分で自動車等を運転できる」、「乗りたい時間の運行がない」が多い傾向にあります。

【公共交通利用者アンケートにおける主な結果】

- ・ 路線バスの改善にあたっては、「運行本数の増便」を重要視する人が多い傾向にあります。
- ・ 路線バス満足度については、「朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」「日中の運行本数」「終発時刻」について「やや不満」「非常に不満」と回答した約5割以上を占め、この点からも運行本数や時刻について改善要望が高いことが伺えます。
- ・ 自由記述の意見でも通勤や通学する利用できる運行本数がないという意見が多く挙がりました。

【平成30年と令和5年のアンケート結果を比較】

- ・ 路線バスの利用頻度の項目は、平成30年、令和5年を比較して「ほとんど乗らない」と答えた人の割合が約1割程度増加しています。
- ・ 利用する理由については、平成30年、令和5年ともに「バス停が近い」と回答した人が最も多くみられました。
- ・ 利用しない理由については、平成30年、令和5年ともに「自分で自動車等を運転できる」と回答した人が最も多くみられました。次に多いのは平成30年が「家族等が送迎してくれる」、令和5年が「乗りたい時間の運行がない」であり、上記同様、運行本数に関する課題意識が向上していることが伺えます。

【課題】

- ・ 通勤や通学時間に合わせた運行本数の充実

【施策に反映した内容】

- ・ 柿岡市街地を結ぶバス路線の機能維持（計画案 P78）
- ・ 南台東石岡周辺及び BRT 路線のサービス維持（計画案 P79）
 - 路線バスを利用している人は「バス停が近い」「バス停が近い」「運行ルートが利用しやすい」「時間にあった便がある」と回答しており、一部の人には利便性の高い運行サービスが提供されていることが伺えることから、引き続き、既存路線については現行のサービス水準を維持していくことが重要です。

（２）鉄道

【市民アンケートにおける主な結果】

- ・ 鉄道の利用頻度は、約 5 割が「ほとんど乗らない」を占め、次いで「年に数回」が約 3 割を占めており、「ほぼ毎日」利用する人は約 3 %に留まりました。平成 30 年調査と比べても利用頻度の傾向は変わっていません。

【公共交通利用者アンケートにおける主な結果】

- ・ 鉄道を「ほぼ毎日」利用している人は約 5 割を占めており平成 30 年調査と比べると約 1 割程度減少しています。
- ・ 利用目的は、約 6 割が「通勤」目的であり、多くの人が高浜駅～取手駅以南（東京方面）の区間を利用しています。
- ・ 通勤者・通学者定期券購入費補助制度については、約 4 割の人が「制度を知らない」と回答し、「知っているが利用していない」と回答した人も約 5 割みられました。
- ・ 自由記述の意見で、高浜駅の整備に関して要望が挙がりました。

【平成 30 年と令和 5 年のアンケート結果を比較】

- ・ 公共交通利用者アンケートにおいて、鉄道の利用頻度は、平成 30 年、令和 5 年を比較して「ほぼ毎日」利用する人の割合が約 1 割減少しています。
- ・ 利用区間は、石岡駅から「取手駅以南（東京方面）」を目的地とする人が増加している一方、石岡駅と高浜駅から「水戸駅」を目的地とする人は減少しています。
- ・ ほかの項目については、大きな増減はみられませんでした。

【課題】

- ・ 通勤者・通学者定期券購入費補助制度の周知
- ・ 高浜駅周辺の利便性向上の整備

【施策に反映した内容】

- ・ 各種の定期券購入制度「通勤者・通学者定期券購入費補助制度」（計画案 P88）
 - 通勤・通学する方に補助制度を継続的に実施します。

- ・ **鉄道の利便性向上（計画案 P76）**

- 市内と市外を結ぶ広域的な移動を担う公共交通機関として、各関係団体と連携して、鉄道の利便性向上を図るために、関係機関への要望活動等を継続します。
- 高浜駅周辺の利便性向上を目指して、駅周辺のまちづくり方針を検討するとともに、高浜駅・駅前広場の整備を図ります。

（３）乗合いタクシー

【市民アンケートにおける主な結果】

- ・ 「制度を知らない」人が約４割、「制度を知っているが利用していない」人が約５割で、「利用している」人は全体の約４％に留まりました。
- ・ 乗合いタクシーを利用しない理由は「自分で自動車等を運転できる」が最も多く、次いで「家族などが自動車で送迎してくれる」が多くみられました。
- ・ 乗合いタクシーの利用経路は、「自宅からスーパー・コンビニ」、「自宅から病院、医療機関」に移動する経路が多くみられました。

【乗合いタクシー利用者アンケートにおける主な結果】

- ・ 乗合いタクシーの利用者は８０代が全利用者の約４割と最も多く、次いで７０代が約２割であり、高齢者に多く利用されていることが伺えます。平成３０年調査と同様の傾向でした。
- ・ 利用者の約６割が「自動車運転免許を持っていない」、約２割が「返納した」と回答しており、自分で自由に移動できる手段を要していない人に多く利用されていることが伺えます。
- ・ 利用頻度は、約４割が「一か月に数回」と回答しており、前述の市民アンケートよりも利用頻度が多い傾向にあります。このことから、市民全体で見た場合の利用状況や頻度は低い一方で、乗合いタクシーを利用している一部の人からは高い頻度で利用されていることが伺えます。
- ・ 困っている点（自由記述含む）で、土日運行の要望や予約が取りづらいとの意見が挙がりました。

【平成３０年と令和５年のアンケート結果を比較】

- ・ 乗合いタクシーを利用する理由は、「自宅から直接目的地までいけるから」が最も多く、平成３０年調査と同様の傾向でした。
- ・ ほかの項目については、大きな増減はみられませんでした。

【課題】

- ・ 土日祝日に運行をしていない。
- ・ 乗合いタクシーの予約が取りづらいため予約システムの改善

【施策に反映した内容】

・ **乗合いタクシーの見直し（計画案 P80）**

- 予約システムへの改善要望が多く、利用実態としても特定の人が長距離利用していることが伺えるため、今後の利用動向を注視しつつも、乗合いタクシーの運行区域の見直しや代替する移動手段の導入も視野に入れて移動手段を確保します。

2. 石岡市交通実態調査結果

2.1. 回答者属性

(i) 年齢

- ・ いずれの年代からも回答が得られています。
- ・ 平成30年調査と同様の傾向で、70代が最も多く、次いで60代の割合が多い傾向にあります。

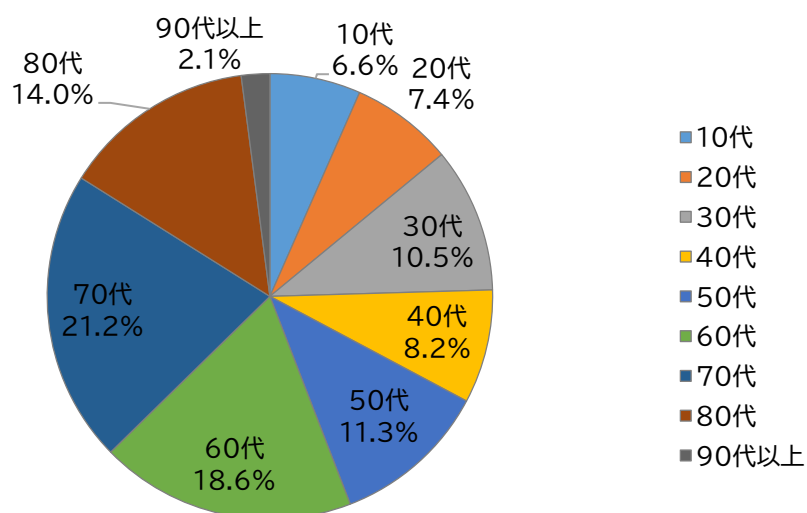


図 1 年齢 (n=485)

【参考】[平成30年調査グラフ]

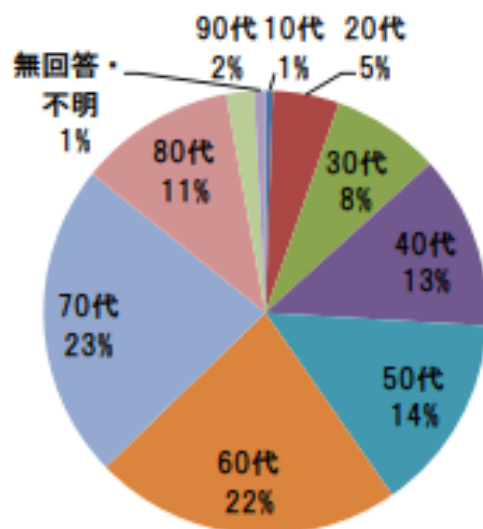


図 2 年齢(平成30年調査) (n=744)

(ii) 職業

- ・ 「会社員・公務員・団体職員等」からの回答が最も多く、次いで「無職」の方からの回答が多い傾向にあります。
- ・ 平成30年調査と同様の傾向です。

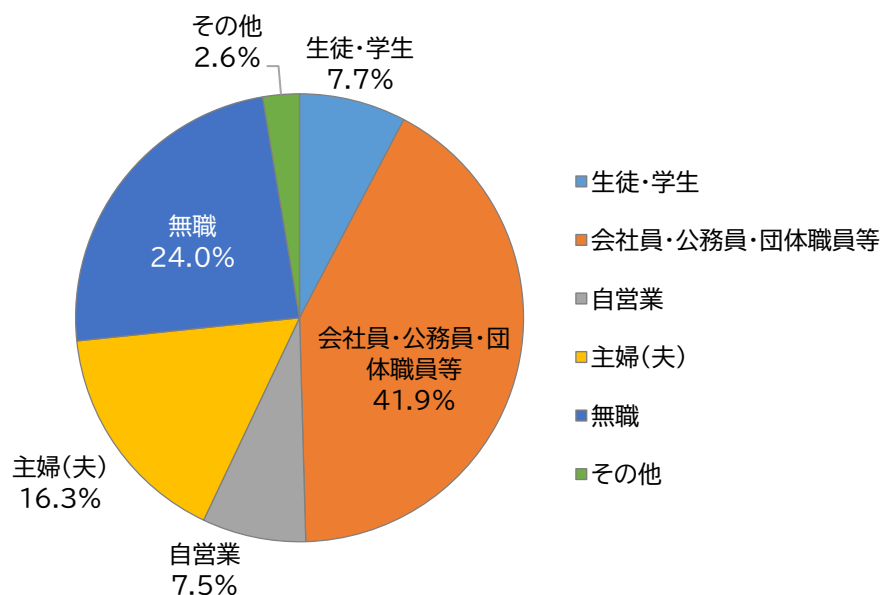


図 3 職業 (n=454)

【参考】[平成30年調査グラフ]

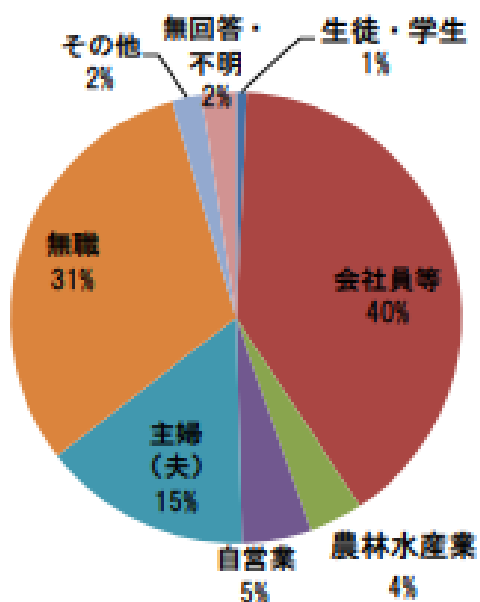


図 4 職業(平成30年調査) (n=744)

(iii) 自動車運転免許を持っていますか？

- ・ 回答者の約 8 割が「普通自動車以上」の免許を有しています。免許のない人は 15 % です。
- ・ 平成 30 年調査と比べても同様の傾向ですが、免許のない人の割合がやや増加しています。

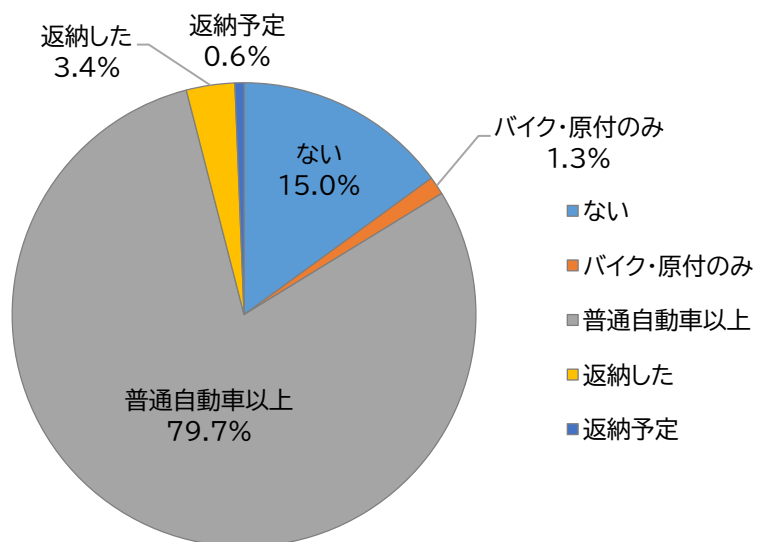


図 5 運転免許の有無 (n=474)

【参考】[平成 30 年調査グラフ]

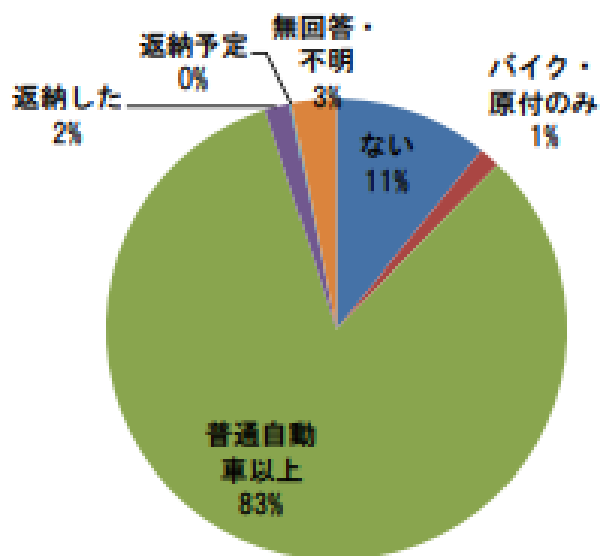


図 6 運転免許の有無(平成 30 年調査) (n=744)

(iv) 自由に使える交通手段を持っていますか？

- ・ 約8割の方が自由に使える交通手段を「持っている」と回答しています。

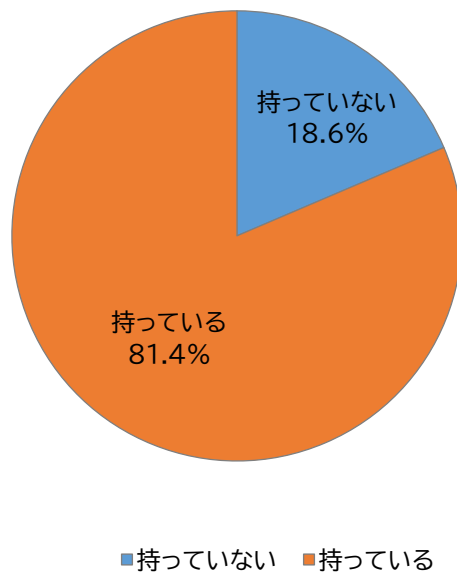


図 7 自由に使える交通手段の所持 (n=479)

(v) 自由に使える交通手段の番号に○をつけてください

- ・ 「自動車」と答える人が最も多いです。「自転車」と回答した人も次いで多い傾向にあります。
- ・ 平成30年調査と同様の傾向です。

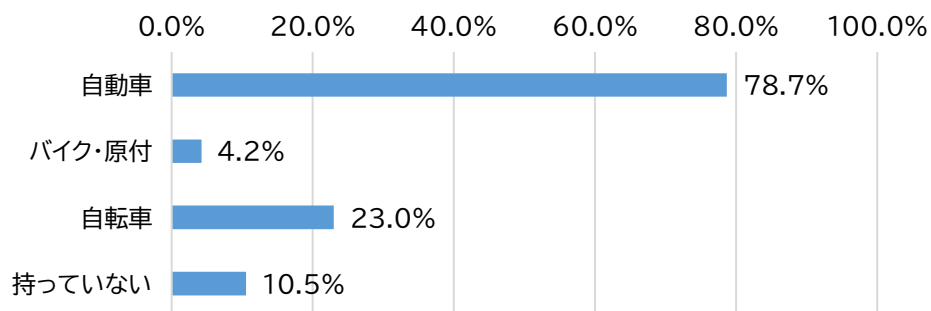


図 8 自由に使える交通手段 (n=474)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

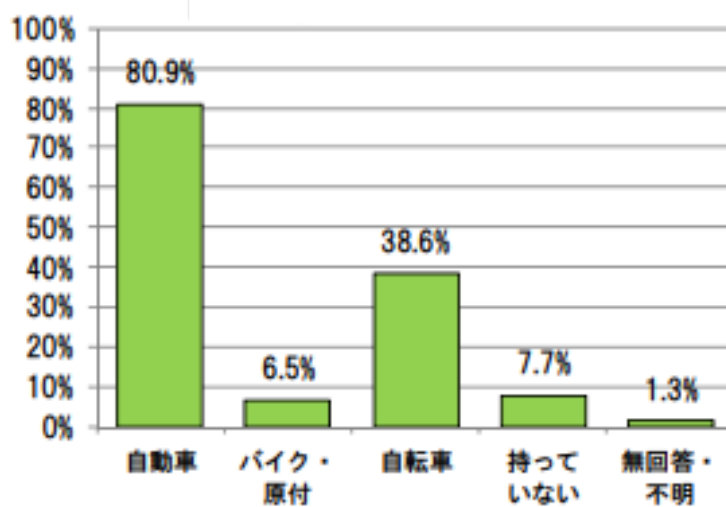


図 9 自由に使える交通手段(平成30年調査) (n=744)

2.2. 移動実態

(1) 普段、主に利用する施設等について記入してください。

・買物

①利用手段

- 「自動車」、「自家用車（自分で運転）」が多くなっています。

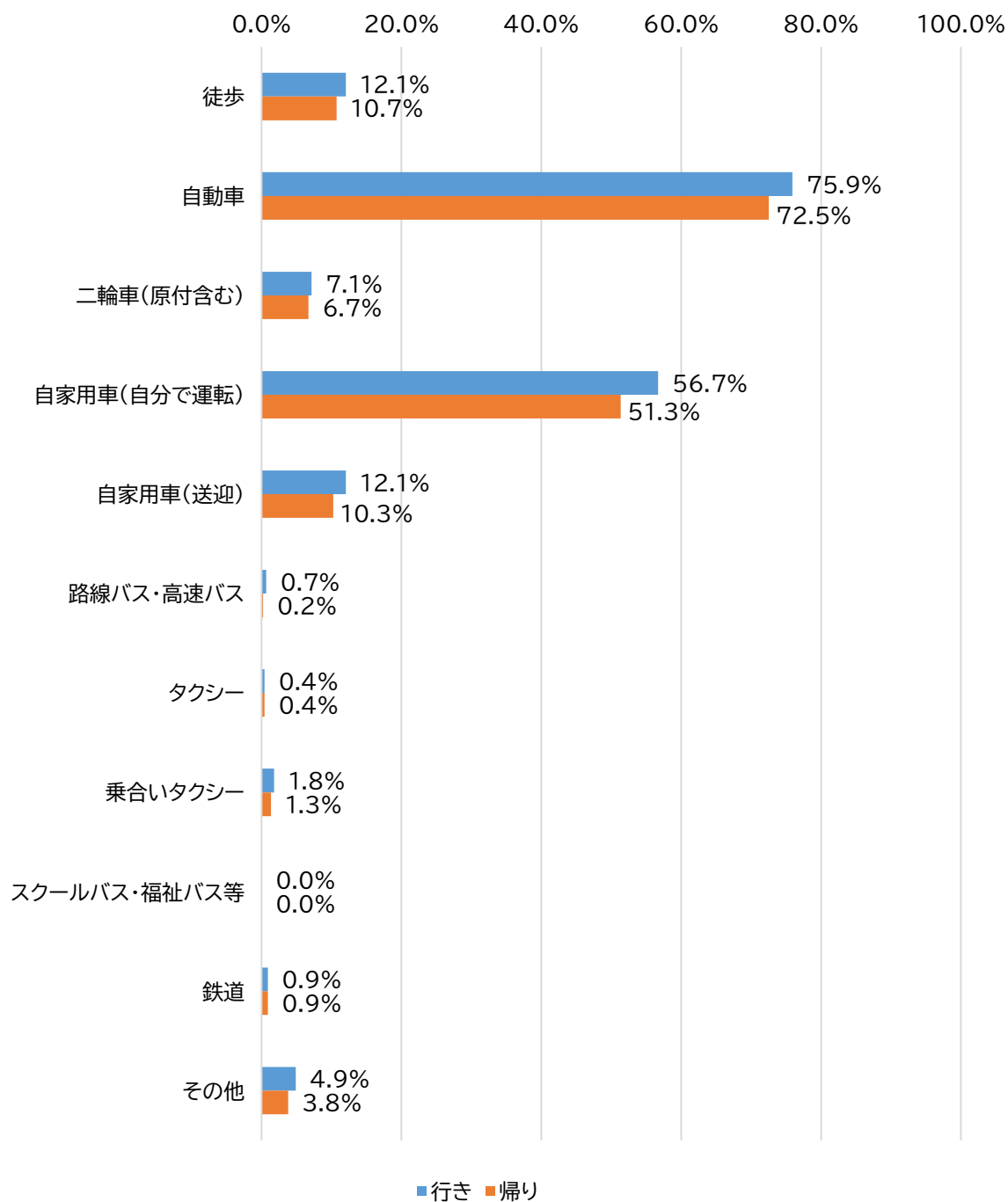


図 10 利用手段 (n=448)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

②頻度

- ・ 「週に1～2回」を選択する人が最も多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

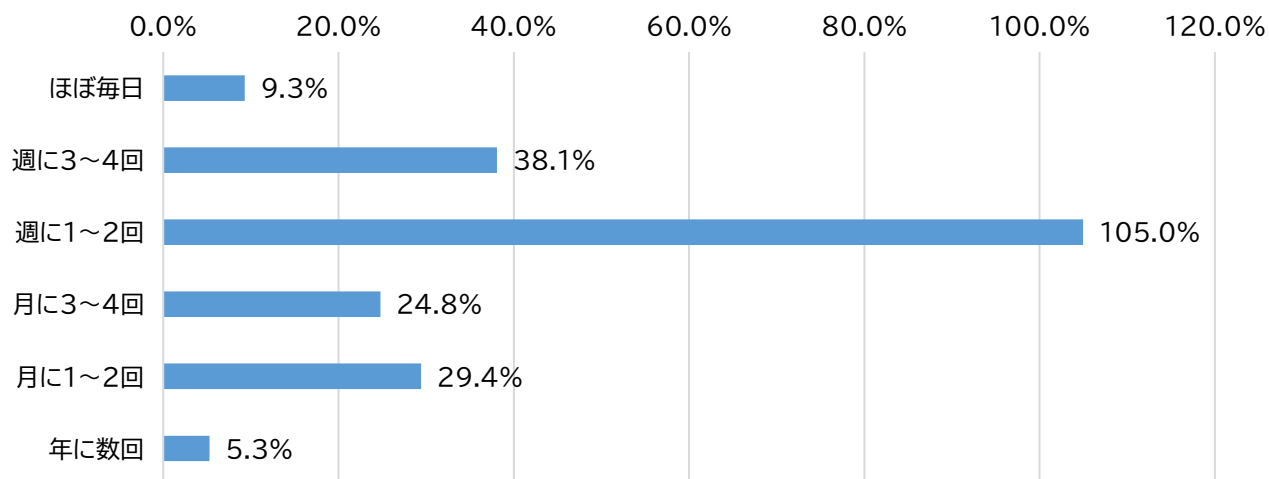


図 11 利用頻度（買物、n=323）

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

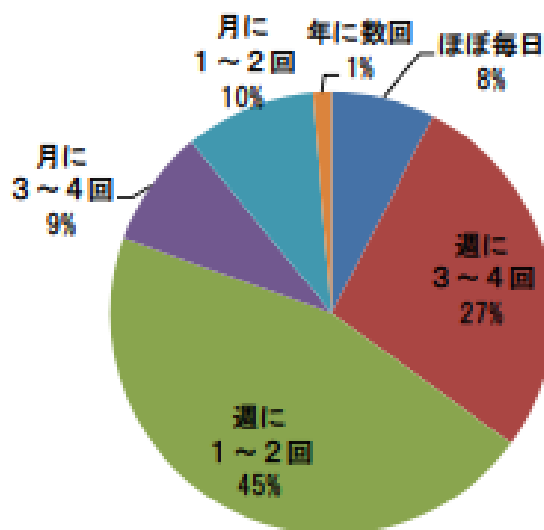


図 12 利用頻度(平成30年調査)（買物、n=503）

・通院

①利用手段

- ・ 買物と同じような傾向を示しており、「自動車」、「自家用車（自分で運転）」が多くなっています。

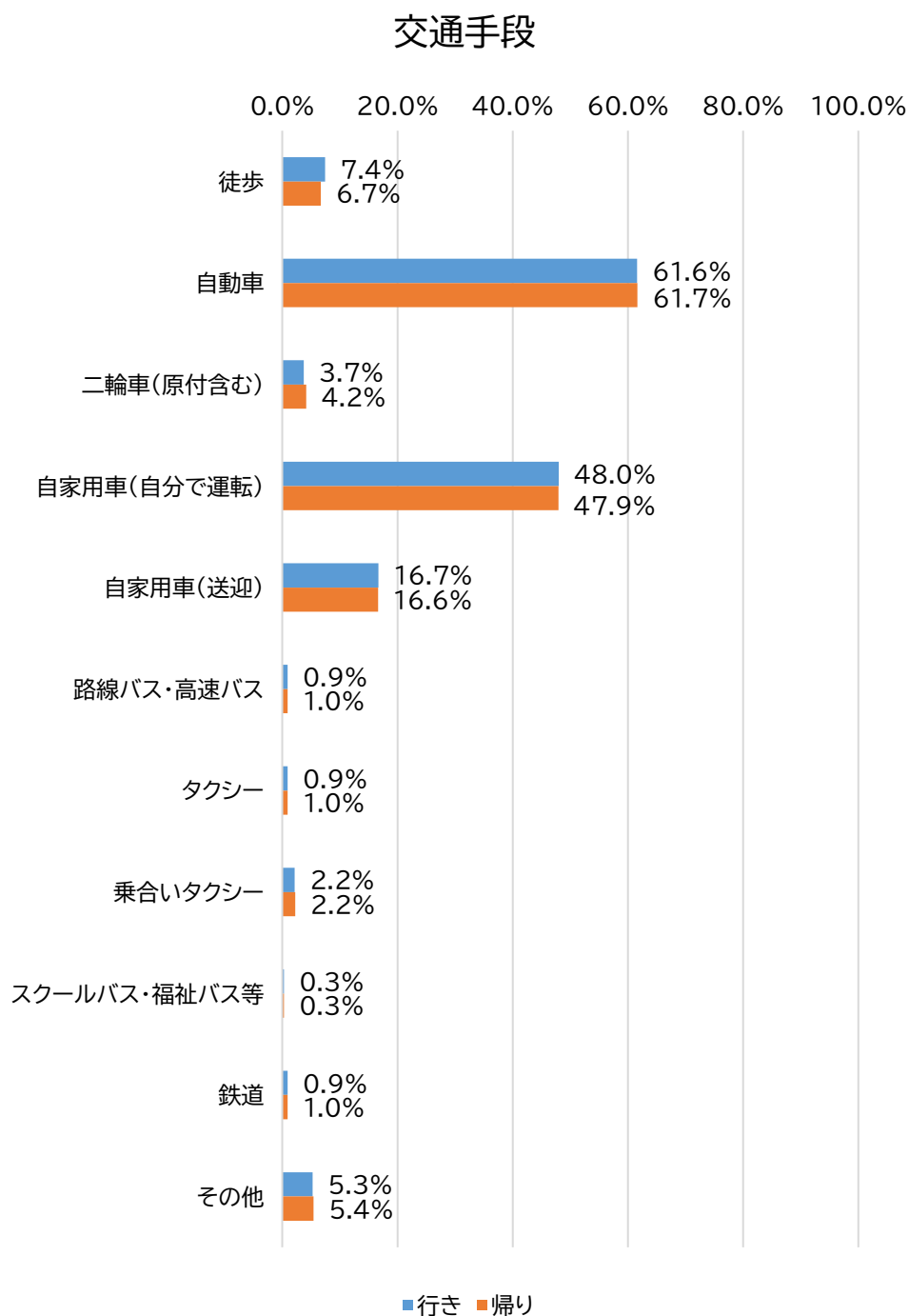


図 13 利用手段（通院、行き n=323 帰り n=313）

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

②頻度

- ・ 「年に数回」を選択する人が多く、次いで「月に1～2回」と続いています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「月に1～2回」の割合が低下しています。

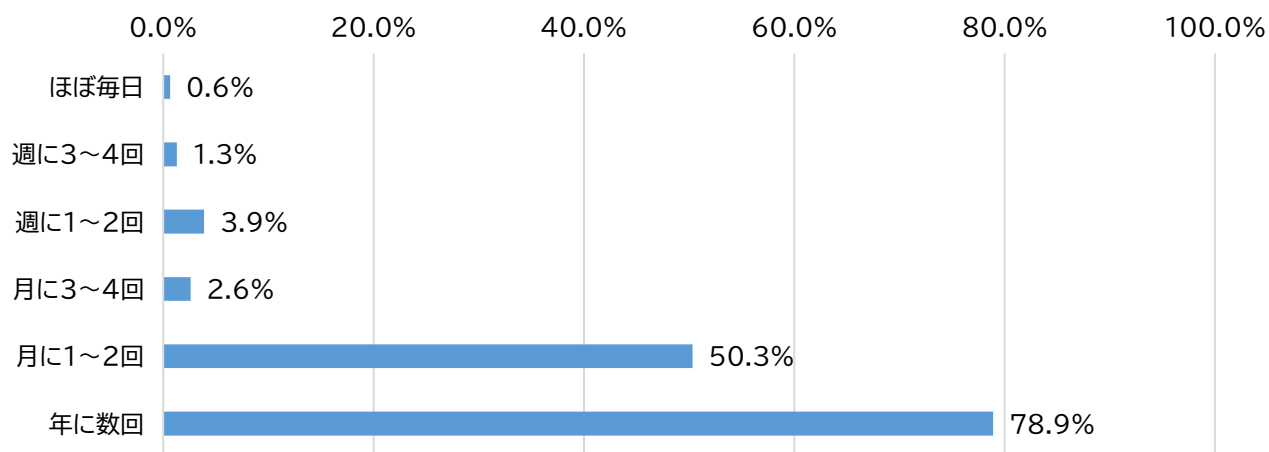


図 14 利用頻度（通院、n=308）

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

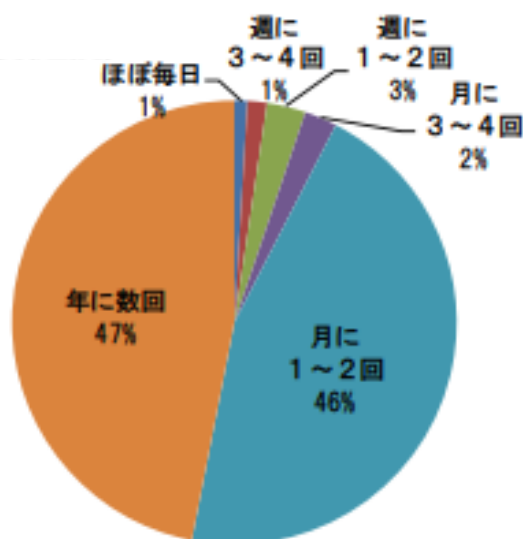


図 15 利用頻度(平成30年調査)（通院、n=424）

2.3. バスの利用実態

(2) 石岡市を運行している路線バス（高速バスを除く）を日ごろ、どの程度利用していますか？

- ・ 「ほとんど乗らない」が約9割となっています。
- ・ 平成30年調査と比較すると「ほとんど乗らない」人がやや増加しています。

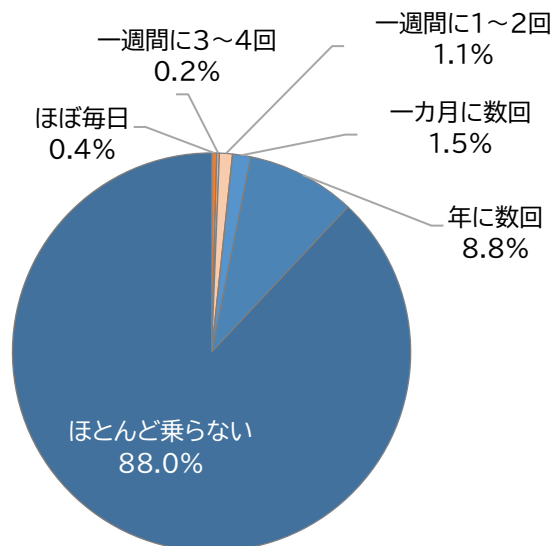


図 16 路線バスの利用頻度 (n=475)

【参考】[平成30年調査グラフ]

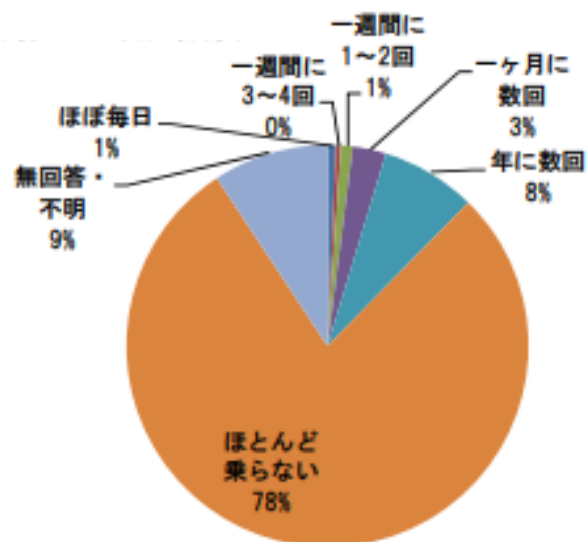


図 17 路線バスの利用頻度(平成30年調査) (n=744)

(3)(2)で1,2と回答した方にお聞きします。よく利用するバスの経路を頻度の多い順にご記入ください。また、それぞれの経路について、往復利用・片道利用のどちらが多いかをお選びください。

- ・ 3件のうち、2件は主に石岡駅を起終点としており、駅までのアクセス手段として利用していることが分かります。

表 2 利用されている経路 (n=3)

起点	終点	片道・往復
石岡駅	石岡南台駅	－
大砂	宮部入口	往復
大谷津南	石岡駅	往復

※「－」は未回答

(4) (3) に回答した方にお聞きします。バスを利用する理由はどれですか？

- ・ 「運転免許がない」が2件、「その他」1件となっています。

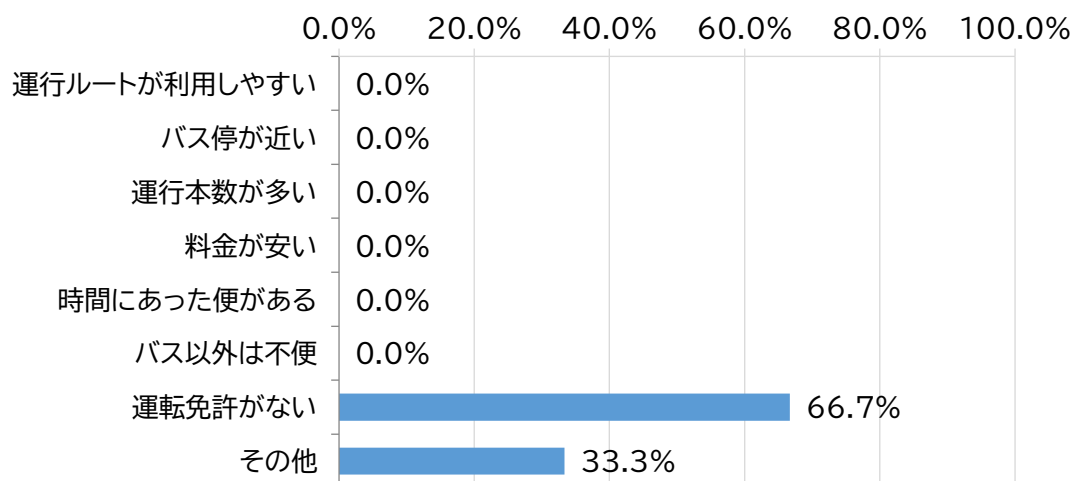


図 18 バスを利用する理由 (n=3)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

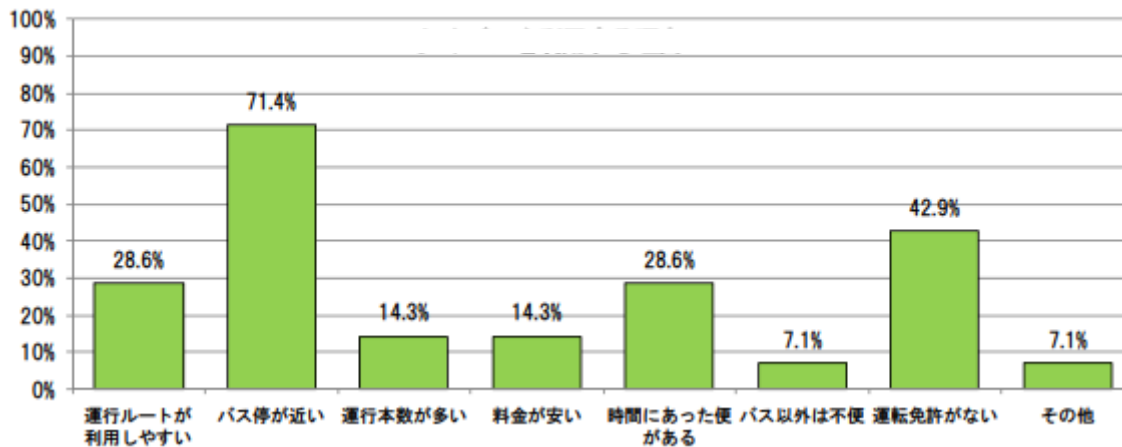


図 19 バスを利用する理由(平成30年調査) (n=14)

(5)(2)で3, 4, 5と回答した方にお聞きします。バスをあまり利用しない理由はどれですか？

- ・ 「自分で自動車等を運転できる」が最も多く、バスを使わなくても移動ができる人が多いことが分かります。一方で、次いで「乗りたい時間の運行がない」が多くなっていることから、乗りたい時に利用できない人がいることが分かります。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「乗りたい時間の運行がない」や「家族等が自動車で送迎してくれる」の割合が増加しています。

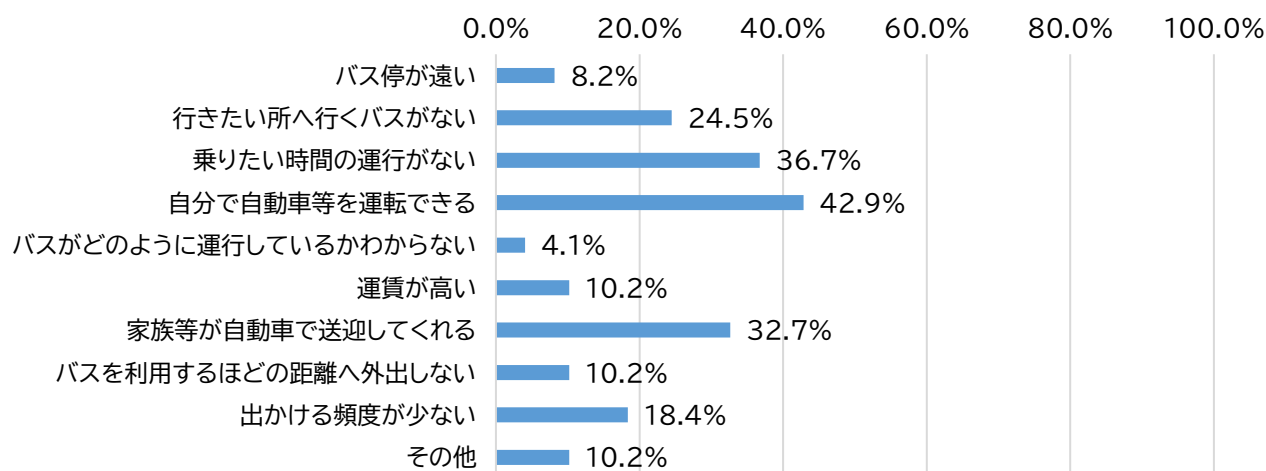


図 20 バスをあまり利用しない理由 (n=49)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

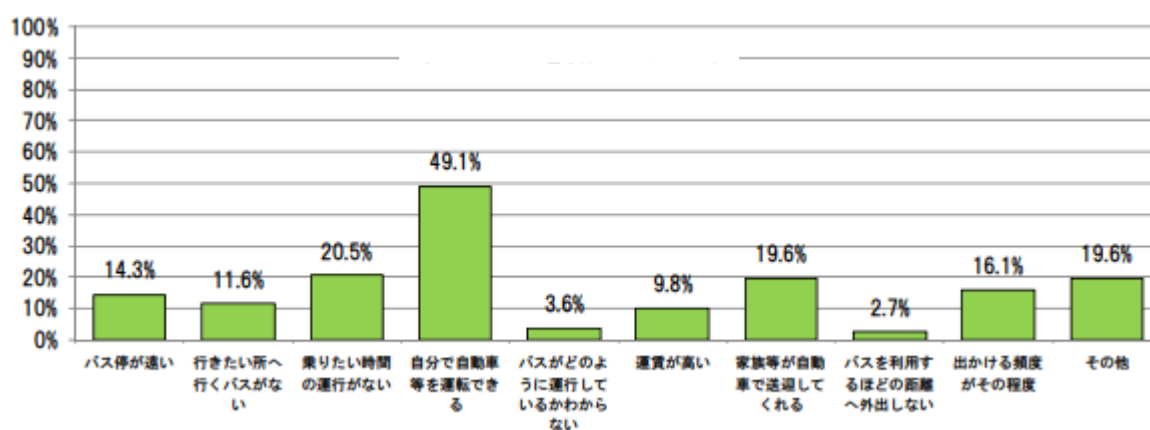


図 21 バスをあまり利用しない理由(平成30年調査) (n=112)

(6)(5)に回答した方にお聞きします。最近バスを利用した目的はなんですか？

- ・ 主に通学利用、駅へ向かうまでのアクセス手段として利用していることが分かります。

表 3 最近バスを利用した目的 (n=8)

年齢	内容
17	学校に行くため
17	下校
17	登下校
25	石岡駅までの交通手段
27	駅から自宅への帰宅
34	八郷の祭り
63	石岡駅前への往復
80	石岡駅から電車に乗るため。

(7)(2)で6と回答した方にお聞きします。バスをほとんど利用しない理由はどれですか？

- ・ 「自分で自動車等を運転できる」が最も多くなっており、バスを使わなくても移動ができる人が多いことが分かります。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

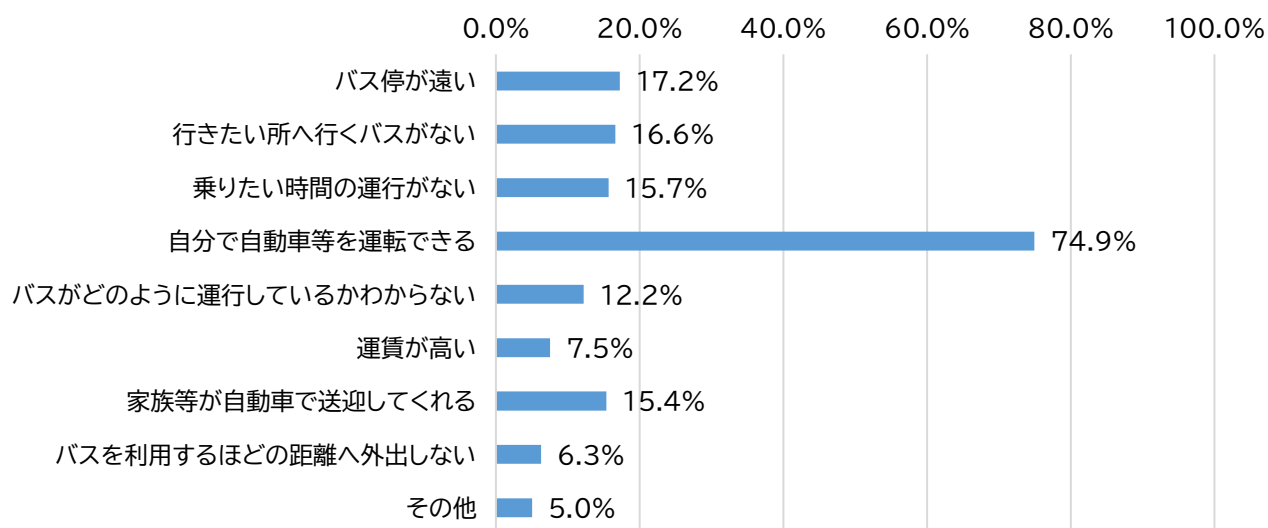


図 22 バスをほとんど利用しない理由 (n=319)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

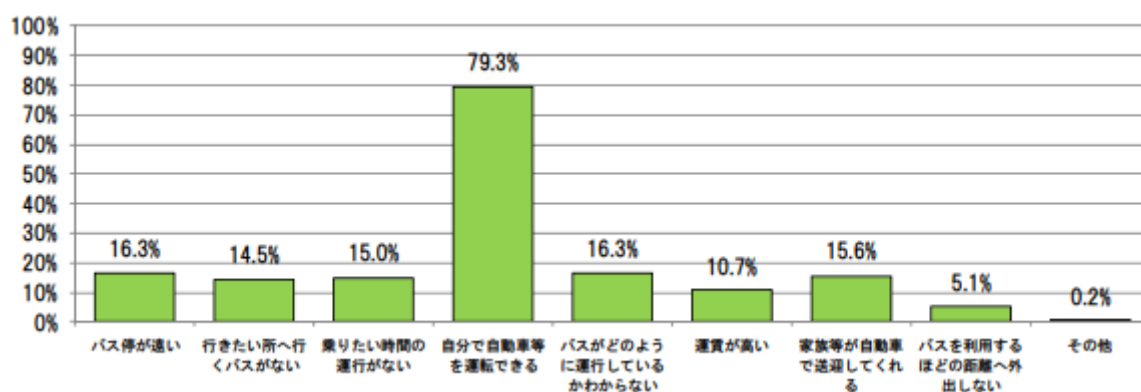
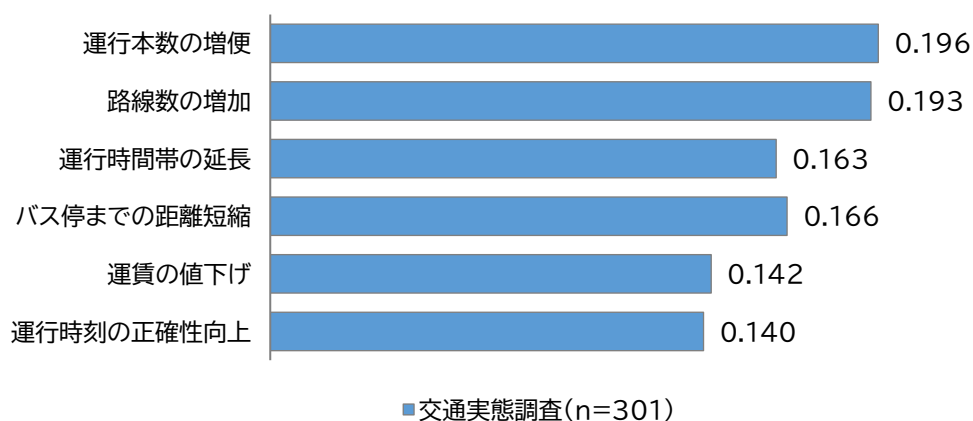


図 23 バスをほとんど利用しない理由(平成30年調査) (n=608)

(8) バス路線のサービス改善を計画していると仮定します。このとき、あなたにとって次の項目 A, B はどちらがより大事だと考えますか？

- ・ 「運行本数の増便」や「路線数の増加」が重要視されており、運行頻度やネットワークの拡充に関心を寄せている人が多いことが分かります。



※数値が高いほど重要度と考える人が多い

図 24 バス路線のサービス改善 (n=301)

2.4. 乗合いタクシーの利用実態

(9) 石岡市を運行している乗合いタクシーの利用登録をしていますか？

- ・ 利用登録をしていない人（「制度を知らない」、「制度を知っているが登録していない」）が全体の9割以上を占めており、そのうちの半数以上が制度そのものを知らないと回答しています。

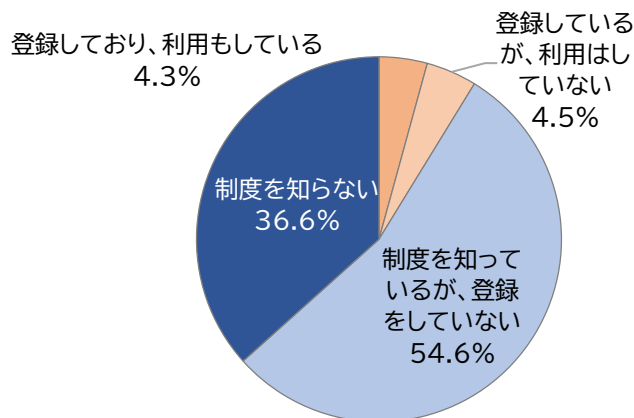


図 25 乗合いタクシーの利用登録の状況 (n=445)

(10) (9) で1と回答した方にお聞きします。石岡市を運行している乗合いタクシーを日頃、どの程度利用していますか？

- ・ 「年に数回」が最も多く、利用頻度が比較的少ないことが分かります。

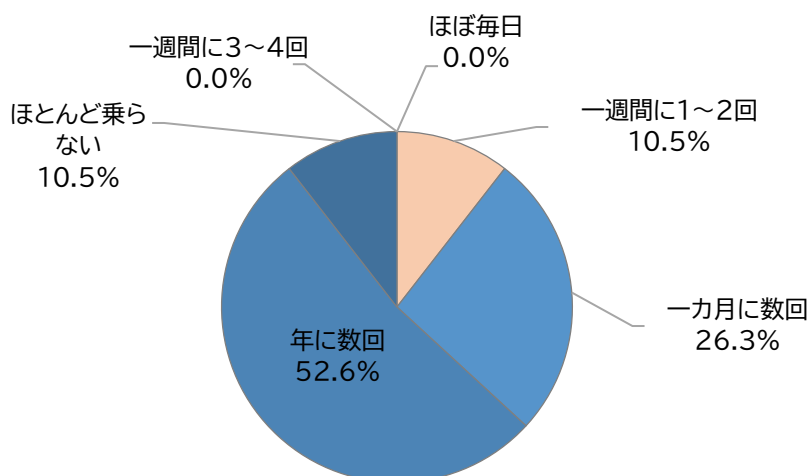


図 26 乗合いタクシーの利用頻度 (n=19)

(11) (10) で 1, 2, 3, 4, 5 と回答した方にお聞きします。よく利用する乗合いタクシーの経路をご記入ください。また、それぞれの経路について、往復利用・片道利用のどちらが多いかをお選びください。

- ・ 起点では「自宅」と回答している人が最も多く、終点については「自宅」、「病院」と回答している人が多いことが分かります。

表 4 起点一覧 (n=20)

起点	回答件数
自宅	10
居住地	3
施設	1
石岡第一病院	1
駅	1
石岡駅	1
家	1
自宅近く	1
柿岡	1

表 5 終点一覧 (n=17)

終点	回答件数
自宅	2
病院	2
電気屋	1
石岡	1
買物先	1
長尾眼医者	1
神立駅	1
石岡駅西口	1
ヨークマルベニ	1
吉生	1
スーパー	1
石岡駅	1
長尾眼科	1
山王台病院	1
石岡駅前	1
羽鳥ゆうびん局	1
坂東太郎	1
フォレストモール	1

- ・ 自宅から「スーパー・コンビニ」、「病院・医療施設」へ向かう人が比較的多いことが分かります。

表 6 タクシーの利用経路 (n=17)

	自宅	駅	バス停	スーパー・コンビニ	病院・医療機関	公共施設	福祉施設	仕事場	レジャー・スポーツ施設	教会・寺社	その他	合計
自宅	1	3	0	5	4	1	0	0	0	0	1	15
駅	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
バス停	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパー・コンビニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院・医療機関	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
公共施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジャー・スポーツ施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教会・寺社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	2	4	0	6	5	1	0	0	0	0	2	20

(12) (11) に回答した方にお聞きします。乗合いタクシーを利用する理由はどれですか？

- ・ 「自宅から直接目的地まで行けるから」が最も多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、令和5年3月1日から配車システムが新しくなったことにより「自宅から直接目的地まで行けるから」が多くなっています。

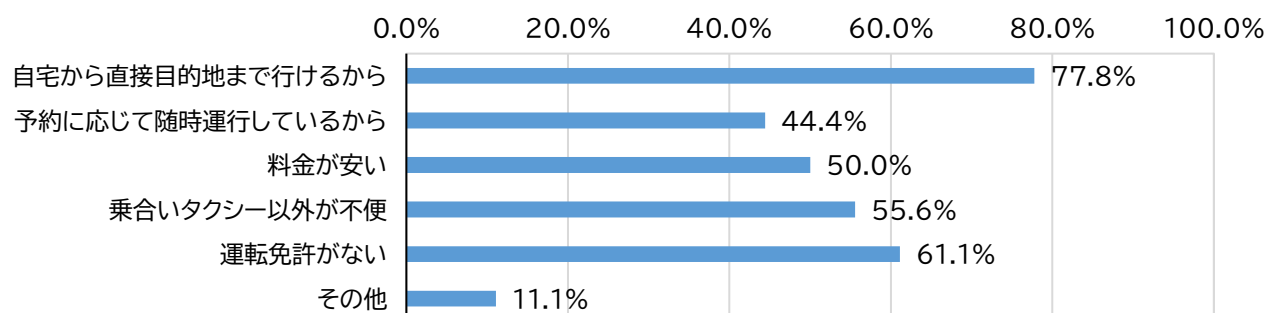


図 27 乗合いタクシーを利用する理由 (n=18)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ] ※今年度調査と選択肢が異なる

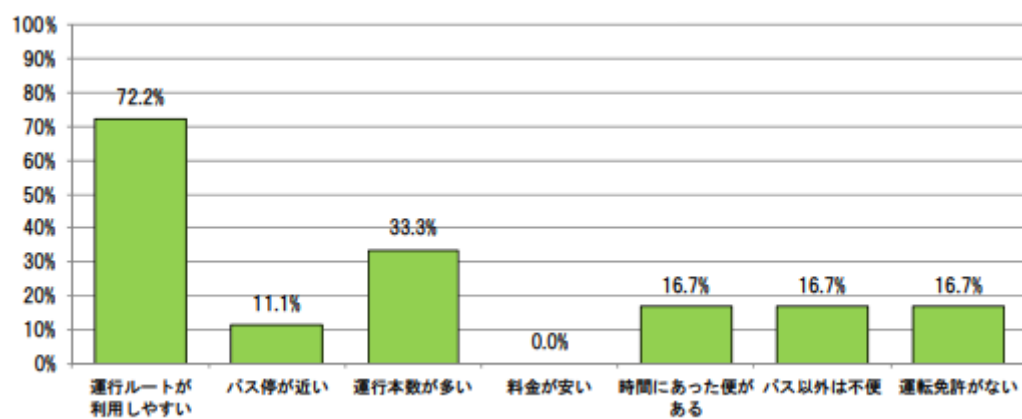


図 28 乗合いタクシーを利用する理由(平成30年調査) (n=18)

(13) (12) に回答した方にお聞きします。乗合いタクシーを利用して困ったことはありますか？

- ・ 「土日祝日に運行していない」が最も多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

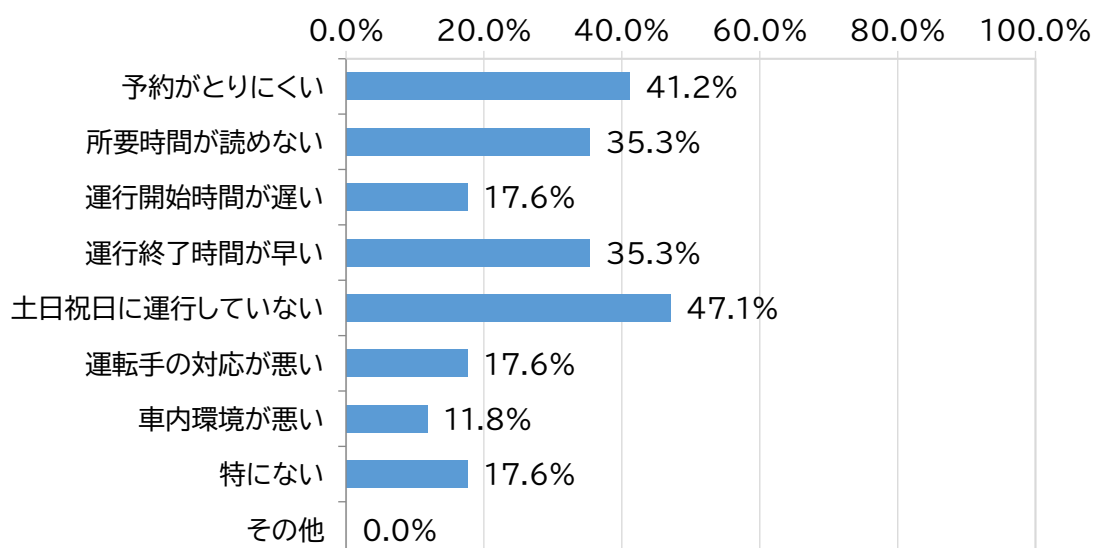


図 29 乗合いタクシーを利用して困ったこと (n=17)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

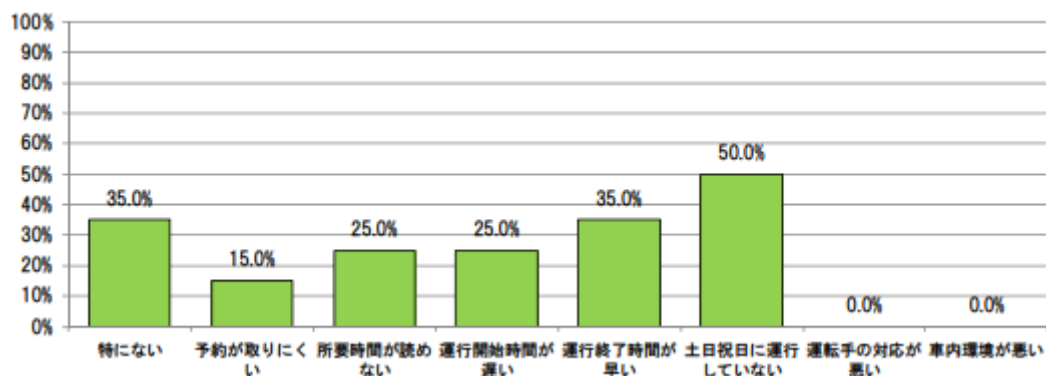


図 30 乗合いタクシーを利用して困ったこと(平成30年調査) (n=20)

(14) (9) で 2, 3 または (10) で 6 と回答した方にお聞きします。乗合いタクシーに登録しない理由、またはほとんど利用しない理由はどれですか？

- ・ 「自分で自動車等を運転できる」が最も多くなっています。
- ・ 平成 30 年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

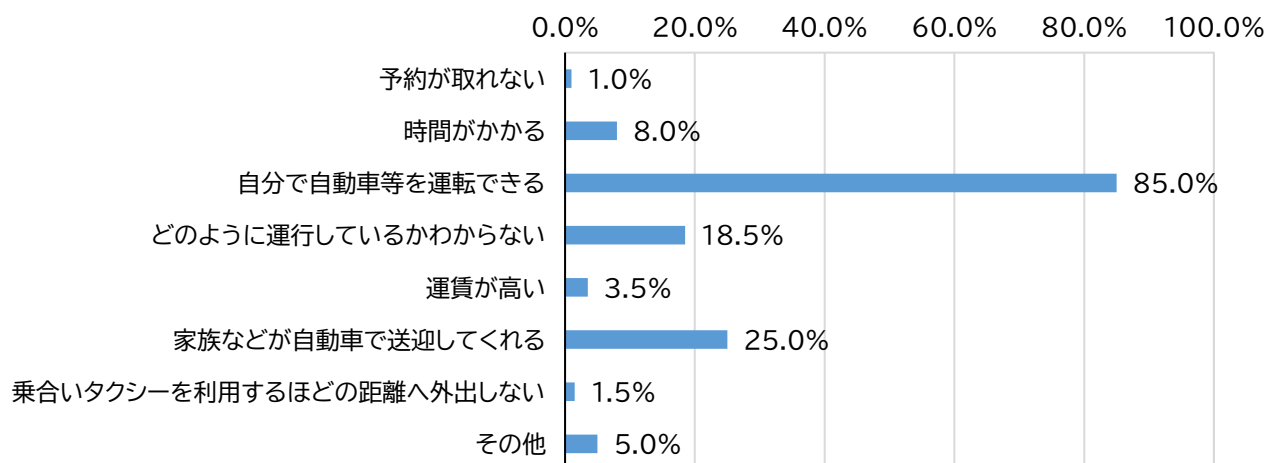


図 31 乗合いタクシーに登録・利用しない理由 (n=200)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成 30 年調査グラフ] ※今年度調査と選択肢が異なる

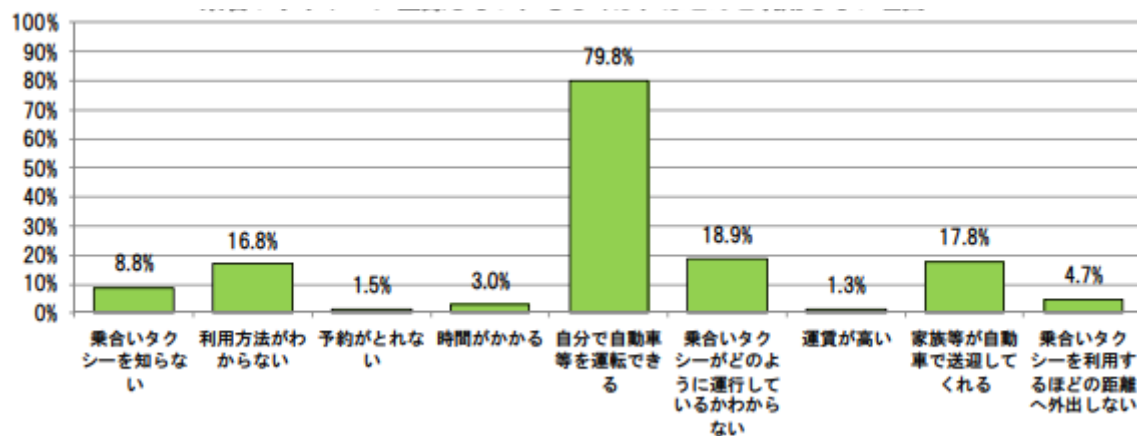
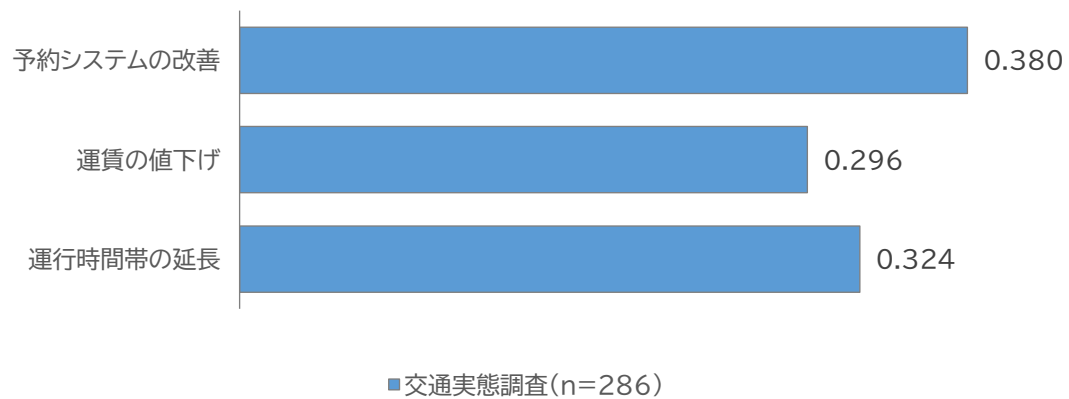


図 32 乗合いタクシーに登録・利用しない理由(平成 30 年調査) (n=678)

(15) 乗合いタクシーのサービス改善を計画していると仮定します。このとき、あなたにとって次の項目 A, B はどちらがより大事だと考えますか？

- ・ 「予約システムの改善」が最も重要視されています。



※数値が高いほど重要度と考える人が多い

図 33 乗合いタクシーのサービス改善内容の重要度合い (n=286)

2.5. 鉄道の利用実態

(16) 石岡市を運行している JR を日ごろ、どの程度利用していますか？

- ・ 「ほとんど乗らない」が半数以上を占めています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

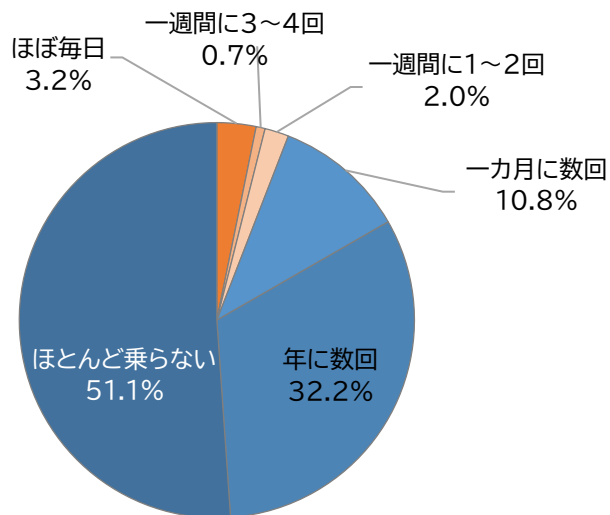


図 34 JR の利用頻度 (n=407)

【参考】[平成30年調査グラフ]

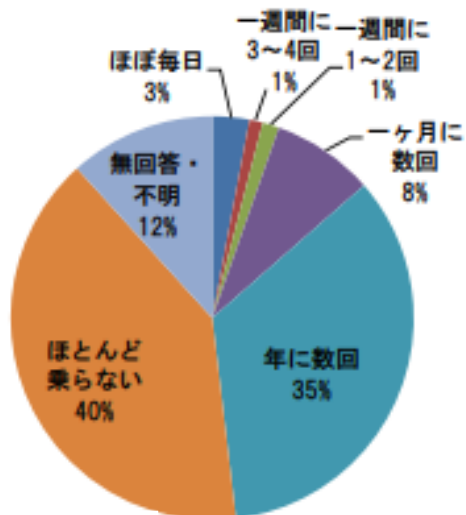


図 35 JR の利用頻度(平成30年調査) (n=744)

2.6. 現在の外出状況・将来の不安

(17) 現在の外出状況及び将来の不安について、あなたのお考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。将来については10年後、現在のお住まいで生活していたと仮定し、家族構成、家族の年齢等を考えてお答えください。

- ・ 「勤務先への移動」では、「ひとりで十分できる」が約8割を占めており、その他の項目でも「ひとりで十分できる」が約7割となっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

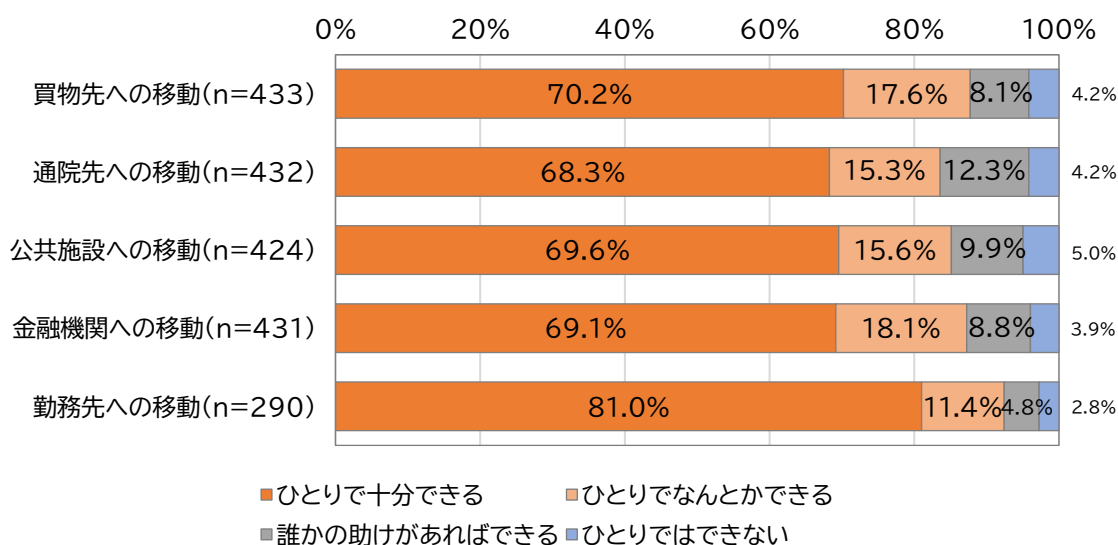


図 36 現在の外出状況

【参考】[平成30年調査グラフ]

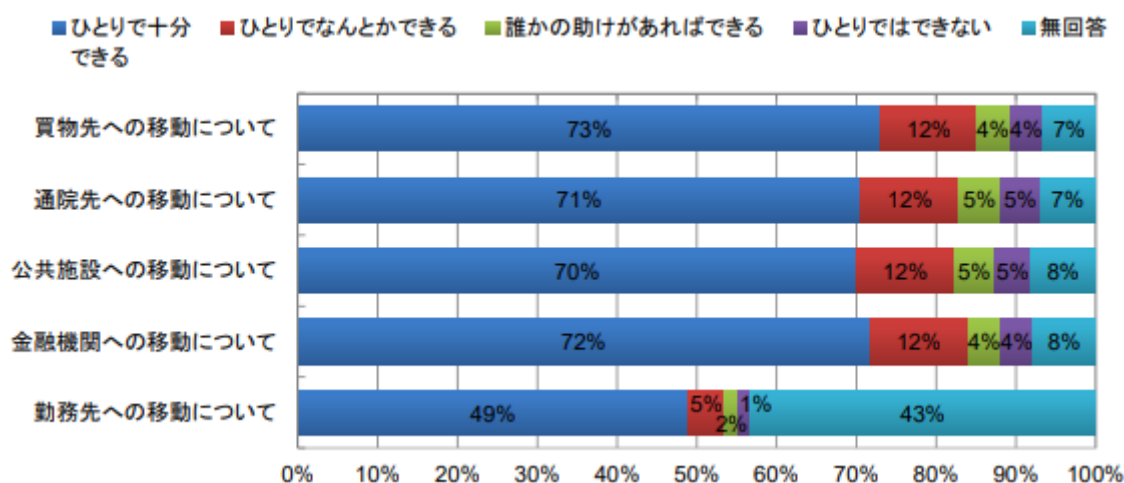


図 37 現在の外出状況(平成30年調査)

- ・ 「勤務先への移動」では、「不安がある」が約4割を占めており、その他の項目では「不安がある」が半数以上となっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

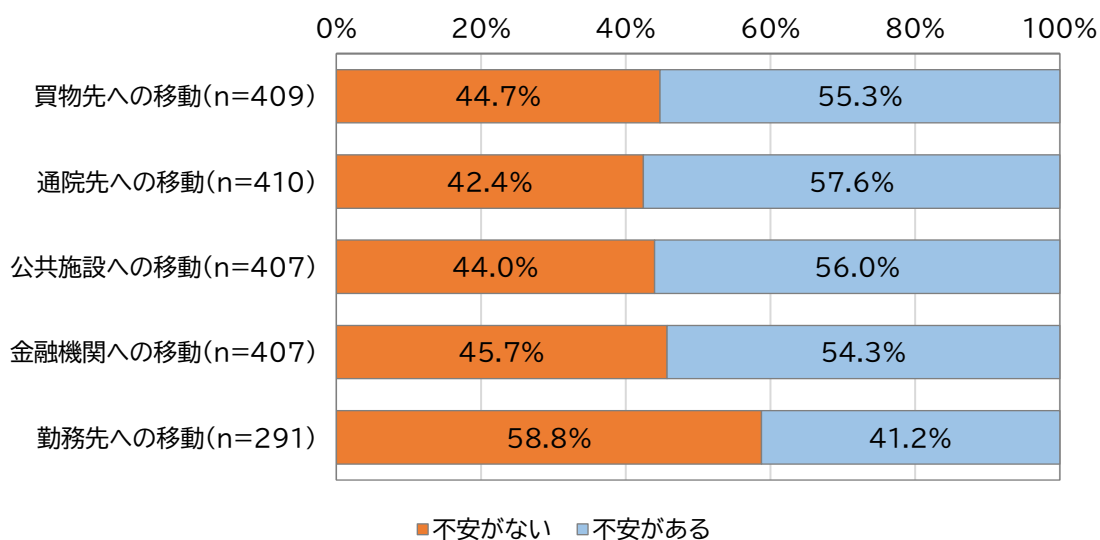


図 38 外出に対する将来の不安

【参考】[平成30年調査グラフ]

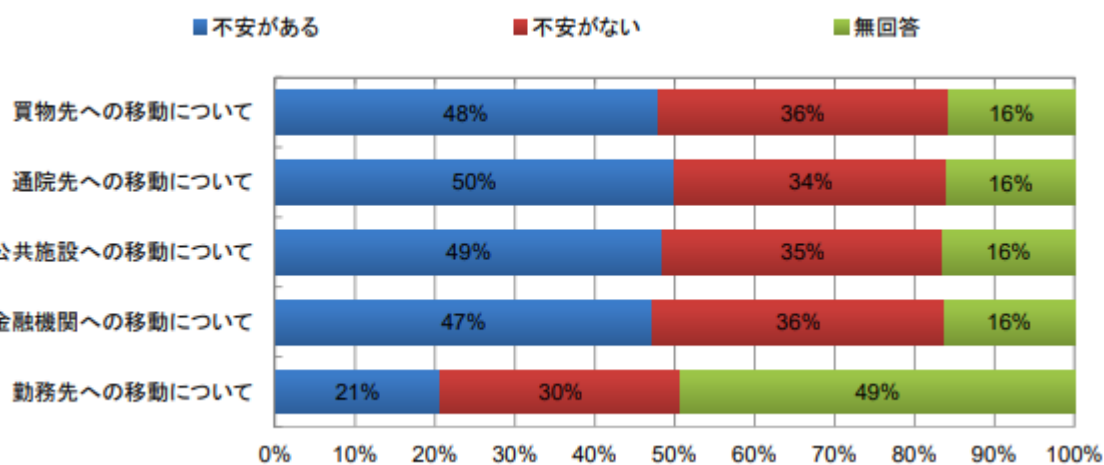


図 39 外出に対する将来の不安(平成30年調査)

2.7. 移動実態調査

(18) 12月13日(水)午前3時から、翌14日(木)午前2時までのあなたの1日の動きについて伺います。

a 12月13日は外出しましたか？

- ・ 「外出した」が約7割となっています。

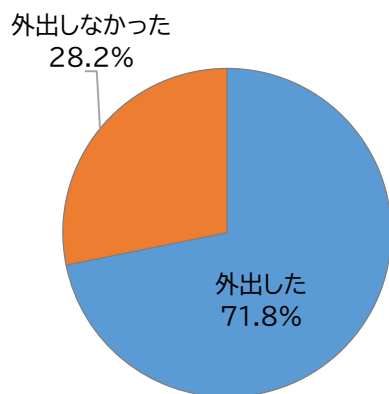


図 40 12月13日の外出割合 (n=465)

b 最初にいた場所はどこですか？

- ・ 「自宅」が約9割となっています。

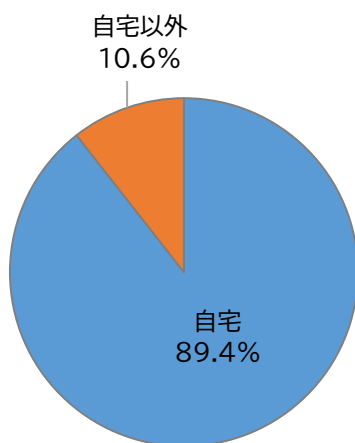


図 41 12月13日当日、最初にいた場所 (n=359)

1) 交通手段

- 「自家用車（自分で運転）」が最も多く、次いで「自動車」となっています。

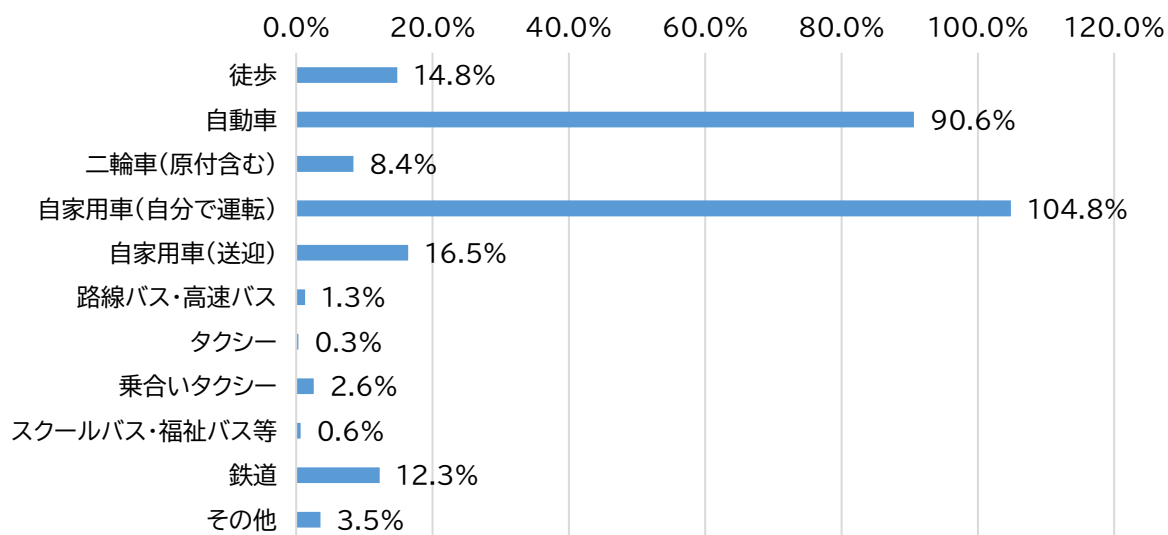


図 42 12月13日に利用した交通手段 (n=310)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

2) 移動目的

- 「帰宅」、「通勤」が多く、次いで「買物」となっています。

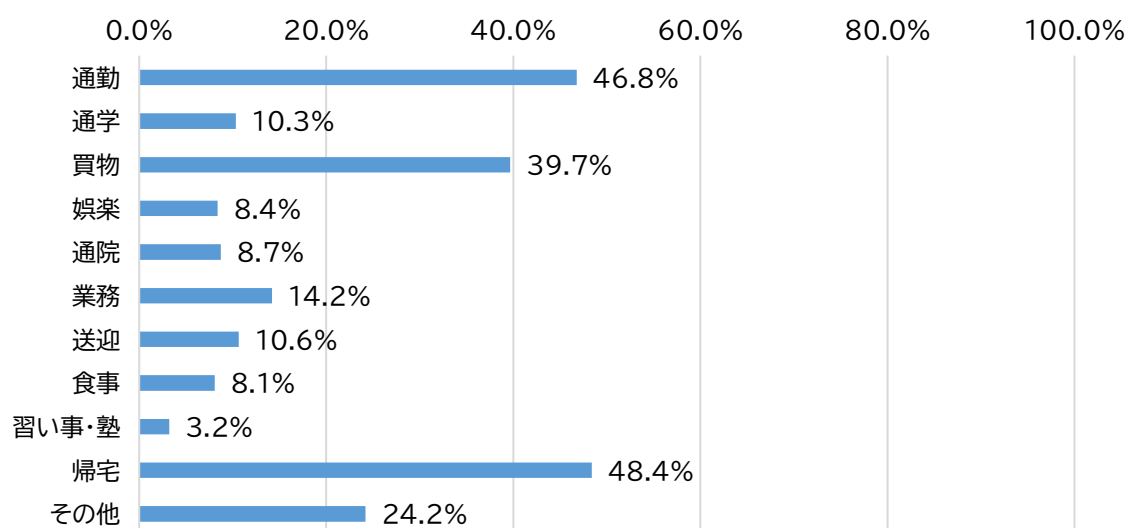


図 43 12月13日の移動目的 (n=341)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

(19) 最後に、バスや JR 常磐線など石岡市の公共交通や次世代交通システム等について、何かご意見があればご記入ください。

- ・ 主にバスやタクシーについての意見が多く見受けられます。

表 7 アンケートで頂いた主な意見 (n=40)

年齢	内容
15	朝日トンネルを使用した八郷から土浦に抜ける路線を作って欲しい
16	富士見台周辺に乗り合いバスを設置してほしい。車を運転することや歩くことが困難な高齢者の方々にとって、ずっと家にいるよりは楽になると思うし、何より一人暮らしの場合買い物に行きやすくなると思う。
17	バスの乗客が少ないので、人だけじゃなくて荷物を運ぶのにもバスを使えたらいいと思います。
17	バス料金安くしてください。高いです。
19	中学生等の集団がたむろしているのを東口でよく見かける
25	バス、電車ともに運賃の値下げを希望します
27	あまりこのアンケートに関係ないかもしれないが、石岡市から補助がある東京方面への特急券について、日立方面への通勤、通学の補助も取り入れてほしい/アンケートに対してスマホで回答したが、複数回答のものについて複数回答できないエラーと住所入力で数字が入力できないエラーがあった
28	高校の時の通学で関鉄バスを利用してましたが本数が少なすぎて乗り遅れたら午後登校、部活は最後まで出来ず帰宅って流れがキツかった。バスの来る時間も前後することはよくあり、早く来た時はその都度各バス停で止まって調整してくれないと乗り遅れたことにも気付かず待ってて誰かに送ってもらうとかの対応にすぐうつれなくて遅刻するなどの困ったこともありました。
29	水戸方面、つくば方面に気軽に行けるようになりたい
34	バスについてロータリー等の整備をしているところを見かけますが駅舎の改修に伴いバスの乗り換えを駅舎から出ることなく一階からできるような構造であれば便利だったろうなと感じました。
35	本数や運行時間、システムの問題より、人が集まる施設が無いのが問題である。子育て世帯や初老の方々が集える場所があれば、バスや乗合タクシーの需要が増えるかと思われる。
36	アンケートの複数回答可能な部分が、エラーで一つしか選べないようになっています。
37	お年寄りが増えて、高齢者の運転をしているをみていますが身体をみているとほんとに運転が大丈夫かみていて心配になります。高齢になっても買い物や自由に出かけられるように移動がしやすい環境を整えて下さい。
38	市長が八郷を切り捨ててコンパクトシティとか言ってるのにこんなアンケートになんの意味があるのかわからない。そもそも、人が流出しているからバスや JR に乗る人がいなくなるわけで、コンパクトシティとか言う前に企業誘致とかできることやればいいのに、無駄な金を使って市民会館作ろうとか意味わからないことをしようとしているから石岡市に未来を感じられない人から石岡市をでていっている。希望も未来も夢も何もない石岡の次世代の交通システムとかの前に足元をきちんと固めろって思う。土浦を見習え。あとこういうのに文字制限つけるな。
39	高速バスみと号の増便か東京ー茨城空港線を石岡駅前経由してほしいです。常磐線のダイヤの日中午帯が特急優先で普通列車の大半が土浦乗り換えは正直不便すぎるがあるので、常磐線がダメなら高速バスを増やしてほしいです。
40	以前は通勤で公共交通機関を利用していた。朝はバスが遅れる事があり、電車に間に合わないと困る。帰りも石岡駅発の時間が合わない事が多い。残業等で遅くなってしまった場合は最終バスに間に合わない、等という事もある。不確定な要素が多いのでバスをあてにしていない。ダイヤも特急の石岡駅到着時間がバスの発車時刻だったりするので、利用できない。Suica 利用可能、区間定期ではなく料金定期になったり、便利にはなっていると思うが、乗れないのでは利用できない。

年齢	内容
40	バス停がちゃんと整備されていません。バス停が車道にぎりぎりにあったりしてきけんです。もう1度バス停の位置などちゃんと整備すべきです
40	是非T Xを連結して頂きたいです。
41	ありません。アンケート長いです。
45	石岡市におきましては市の中心部に魅力的なものがあまりないように感じています公共交通機関におかれましてはまずは人が足を運びたい街にならなければ利用者もなかなか増えないのではないかと感じております人を呼び込む施設やここでしかといったようなとくさんひんなどがあって賑わいのある市になることができれば良いなと思っておりますすみません長々と公共交通機関におきましてはやはり増便や料金的には必要かとは思われますりようされるかたたちにとってより便利になりますようねがっております
46	乗合タクシーの予約がとりにくいという話を聞きました。早急に改善すべきです。
51	JRの本数を増やして欲しい
51	私は視覚障害者のため自動車は運転しません。通勤は平日、土日とも路線バスを利用しています。11月になって路線バス(関東鉄道グリーンバス)の減便により土日の朝通勤に使用していたバス(大砂8時21分)の運行が無くなってしまっていて困っています。前後のバスは時間が全く合わず使えません。朝のバスは減らさないようにしてもらいたい。石岡市の乗り合いタクシーは土日は運行していません。土日8時から利用出来るととても助かるので、ご検討お願い致します。高齢の親に自家用車で送りを頼むのは気が引けます。
51	結婚前は大阪に住んでいたもので、比較するのはどうかとも思いますが、公共交通機関ははっきり言って不便、です。本数が少ないのもありますが乗り継ぎも悪い。今後、このまま茨城県に在住するとした場合、交通難民となる可能性もあると思います。このような課題があるため、若い人は住みやすい場所へ出てしまうと思います。また、このアンケートの設問内容も少し判断しづらい内容であり、何を知りたいのか目的が理解しづらいです。ちなみに、路線バスについての設問がありましたが、茨城県の路線バスには乗ったことがありません。
51	乗合バス、タクシーの運転手の態度の改善
52	バス停が子供の頃からはだいぶ無くなって、何処を運行しているのかわからない。また乗り合いタクシーなどは今の私世代は必要が無いが、どんなものなのかわからないので、子供のいない私達は将来は大変不安。便利な街に引っ越しなども話しに出る時もある。
52	石岡市民でも生活圏が石岡市内にない方もいますので、近隣市町村とも話合いを持ち、より良い方向にすすんでいってほしいと思います。
59	路線バス、JRを利用して、ウォークコースの作成は、どうでしょうか？石岡・笠間・水戸、石岡・高友・土浦には、由緒ある場所が点在しています。山登りは、ひぎの悪い人には無理ですが、ウォーキングならできます。Okmコースを作って、花見コース、古墳コース、C a f e巡り、いろんなコースで皆さん健康になりましょう。
61	バスの本数が少なすぎる。
63	富士バスの料金の値下げと利用しやすさ
63	タクシーは料金が安い、特に迎車料金は都会では考えられない。バスの路線数を増やす事と運行時間を延ばしてほしい。今は自分で車の運転ができるから良いがこの先が心配で住まいを変えることも有りかと思っている。
63	複数回答可能の質問で、複数選択すると、入力エラーとなります。しっかり確認してください。
63	常磐線利用者の為の駐車場を確保して欲しい
64	高齢の年金生活者が買い物難民にならないよう安価で便利な交通手段を望みます。
64	石岡駅から工業団地まで、355線を使った路線があれば良い。
65	今の所、不便さは、感じません。
67	デマンド乗り合いタクシー、時間にルーズ、特に寒いこの季節、外で待っていたが辛かった。30分、40分と待った
75	公共交通機関の中で、バスについて提案します。バスを小型にして、スーパーや病院、公共施設等を利用しやすい時間帯に30分間隔位で巡回して運行すると人の動きが活発になるのではないかと。JR石岡駅に発着する特急電車を増便してくれるとありがたいです。
83	自分の力で現状に合せて行きたい。
89	路線バスと、バス停を作ってください。

3. 石岡市公共交通利用者アンケート結果

3.1. 回答者の属性

(i) 年齢

- ・ いずれの年齢も取得できており、50代が最も多い傾向にあります。
- ・ 平成30年調査と比べると若年層の回答が多い傾向にあります。

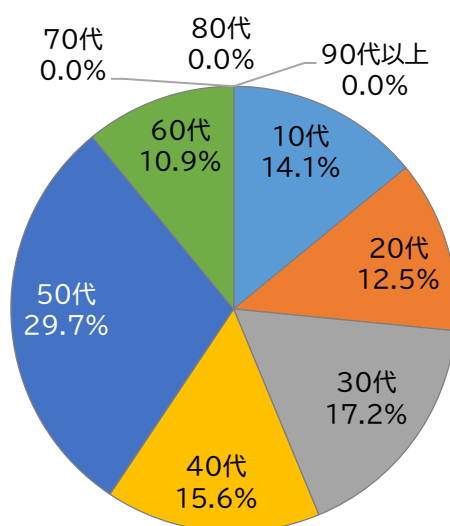


図 44 年齢 (n=64)

【参考】[平成30年調査グラフ]

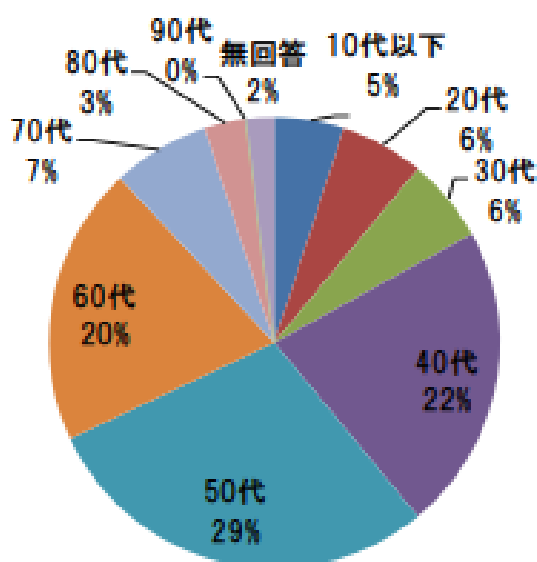


図 45 年齢(平成30年調査) (n=230)

(ii) 自宅住所

- ・ 石岡市に自宅がある人が約 7 割で、平成 30 調査と同様の傾向です。

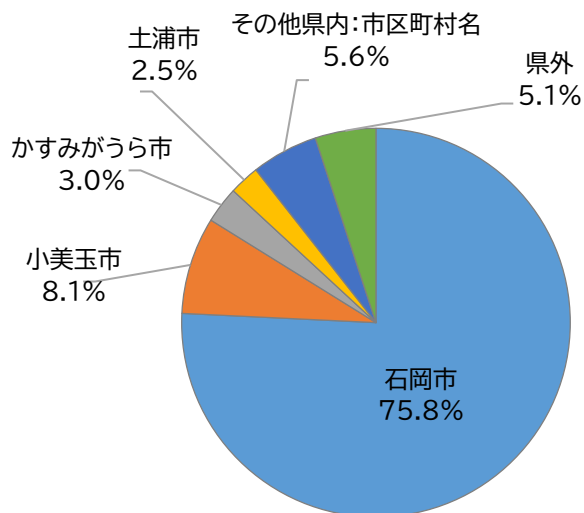


図 46 自宅住所 (n=198)

【参考】[平成 30 年調査グラフ]

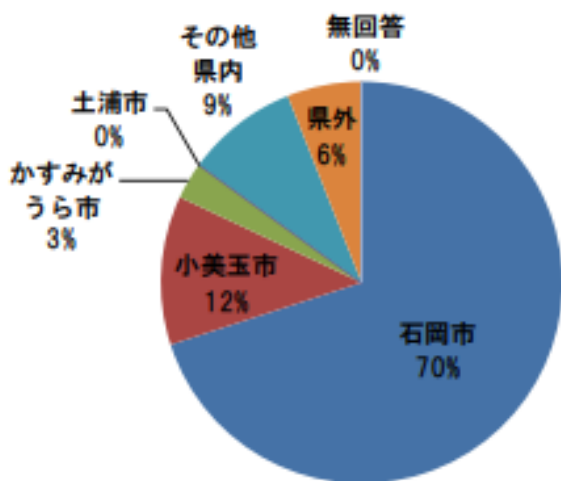


図 47 自宅住所(平成 30 年調査) (n=230)

(iii) 職業

- ・ 「会社員・公務員・団体職員等」の割合が最も多く、平成30調査と同様の傾向です。

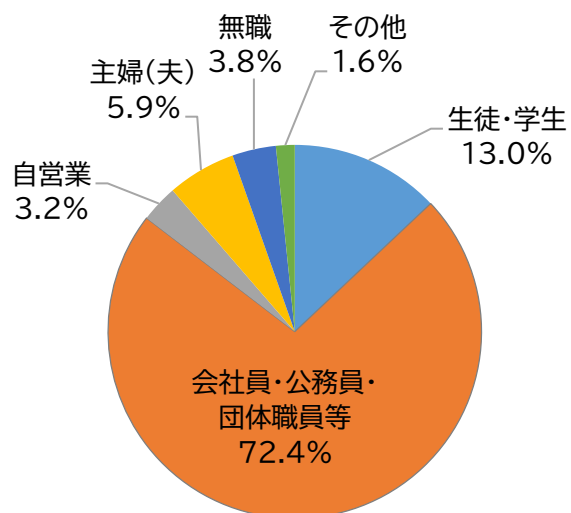


図 48 職業 (n=185)

【参考】[平成30年調査グラフ]

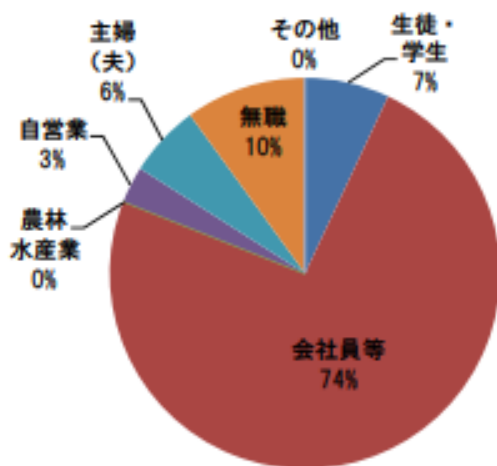


図 49 職業(平成30年調査) (n=230)

(iv) 自動車運転免許を持っていますか？

- ・ 「普通自動車以上」の割合が最も多く、平成30調査と同様の傾向です。

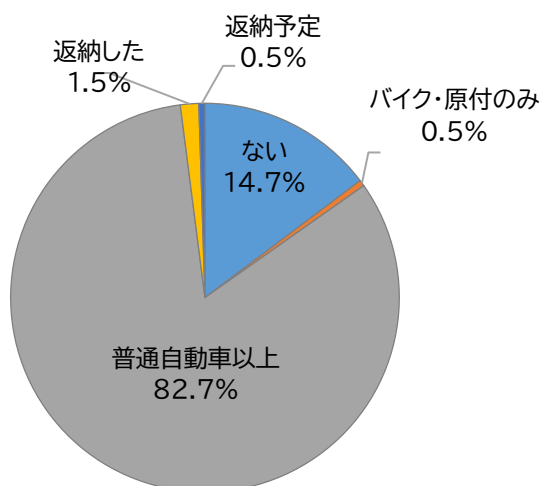


図 50 運転免許の有無 (n=197)

【参考】[平成30年調査グラフ]

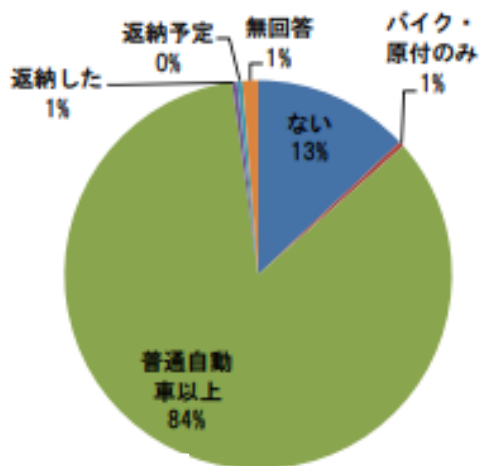


図 51 運転免許の有無(平成30年調査) (n=230)

(v) 自由に使える交通手段を持っていますか？

- ・ 約8割が「持っている」と回答しています。

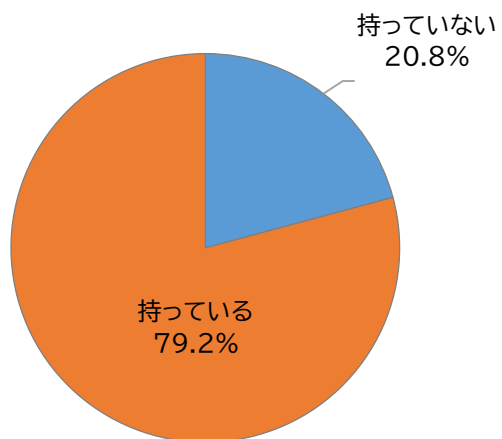


図 52 自由に使える交通手段 (n=197)

(vi) 自由に使える交通手段の番号に○をつけてください。

- ・ 「自動車」が最も多く、次いで「自転車」が多い傾向にあります。平成30年調査と同様の傾向です。
- ・

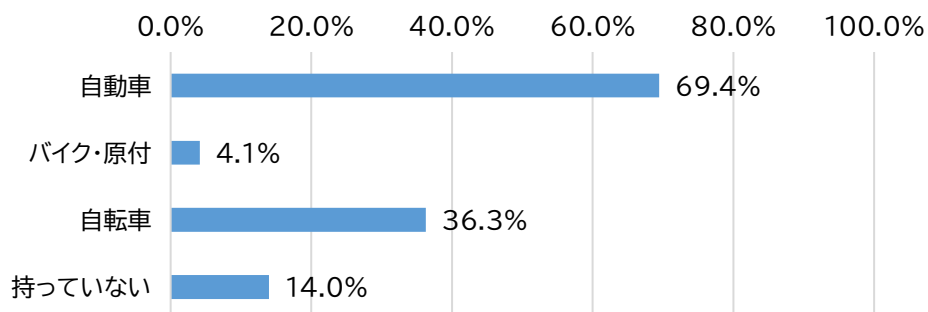


図 53 自由に使える交通手段 (n=193)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

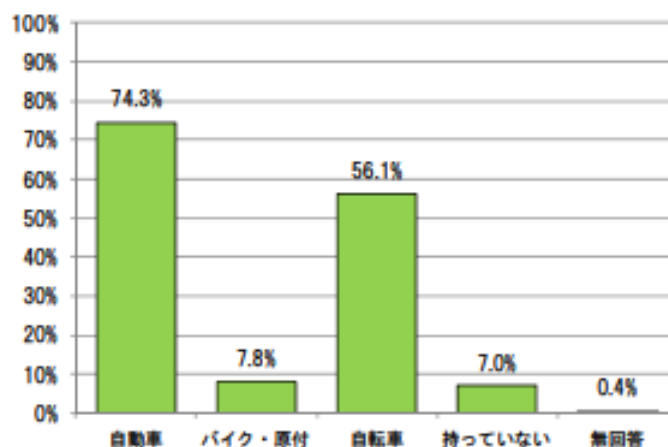


図 54 自由に使える交通手段(平成30年調査) (n=230)

3.2. バスの利用実態

(1) 石岡市を運行している路線バス（高速バスを除く）を日ごろ、どの程度利用していますか？

- ・ 回答者の約7割は「ほとんど乗らない」と回答しています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「ほとんど乗らない」の割合が増加しています。

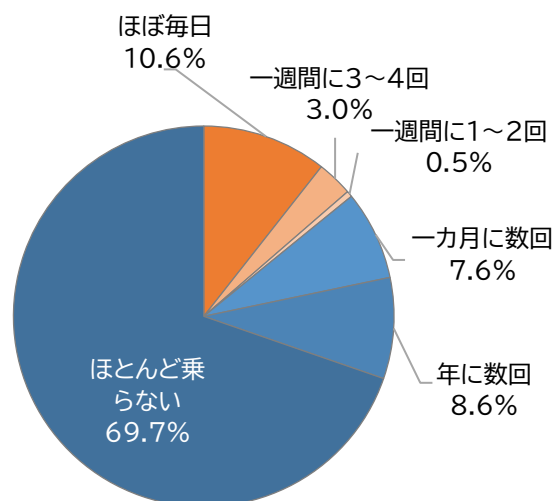


図 55 路線バスの利用頻度 (n=198)

【参考】[平成30年調査グラフ]

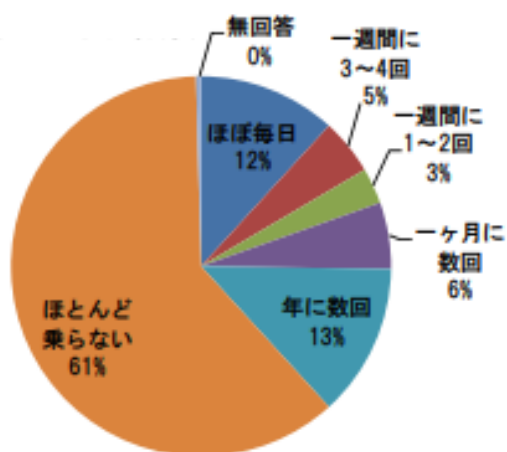


図 56 路線バスの利用頻度(平成30年調査) (n=230)

(2)(1) で1～5と回答した方にお聞きします。バスの主な利用目的は何ですか？

- ・ 通勤が最も高く全体の約半分を占めており、次いで「通学」が高く全体の約1割を占めています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「通学」の割合が増加し、「通勤」の割合が減少しています。

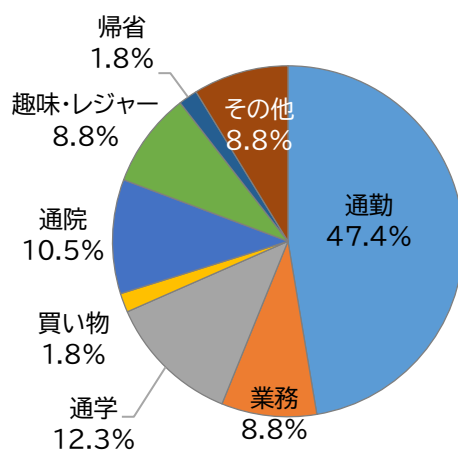


図 57 路線バスの利用目的 (n=198)

【参考】[平成30年調査グラフ]

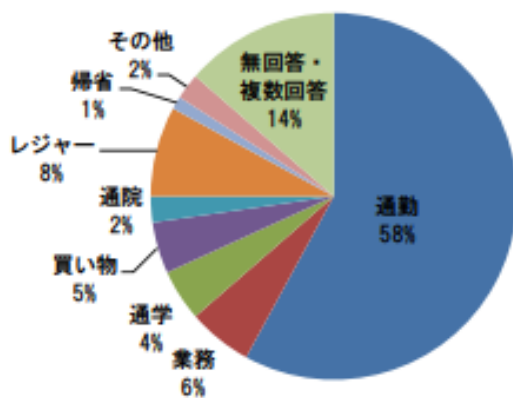


図 58 路線バスの利用目的(平成30年調査) (n=88)

(3)(1) で1, 2と回答した方にお聞きします。よく利用するバスの経路を頻度の多い順にご記入ください。また、それぞれの経路について、往復利用・片道利用のどちらが多いかをお選びください。

- ・ 主に石岡駅と起終点にして利用している人が多く、駅までのアクセス手段として利用していることが分かります。

表 8 バスの利用経路一覧 (n=35)

起点	終点	片道・往復
若松町	石岡駅	片道
南台駅	石岡駅	片道
土浦駅	かすみがうら高校	-
大谷津南	石岡駅	往復
石岡駅	南台一丁目	-
東田中	石岡駅	往復
川又新地	石岡駅	往復
西山	石岡駅	往復
石岡駅	新高浜駅	往復
石岡駅	新高浜駅	片道
石岡駅	新高浜駅	片道
南台一丁目	石岡駅	往復
石岡駅	茨城空港	片道
月岡局前	木の地町	片道
石岡南台駅	石岡駅	片道
石岡駅	新高浜駅	片道
石岡南台駅	石岡駅	片道
石岡南台駅	石岡駅	片道
石岡駅	内宿	片道
石岡駅	茨城空港	-
宮下	石岡駅	往復
石岡南台駅	石岡駅	往復
石岡南台駅	石岡駅	片道
東田中	石岡駅	片道
石岡南台駅	石岡駅	往復
玉造下宿	石岡駅	片道
石岡駅	林	片道
南台3丁目	石岡駅	片道
南台駅	石岡駅	往復
新木ノ内	石岡駅	片道
小幡下宿	石岡駅	片道
石岡駅	玉造	片道
石岡駅	小川駅	片道
石岡南台駅	石岡駅	片道
鹿の子	石岡駅	往復
石岡駅	東田中駅	往復
石岡駅	東田中駅	往復
石岡駅	鹿の子東	片道
石岡駅	小川駅	往復
小幡下宿	石岡駅	片道
土浦駅	千束町	片道
石岡駅	理工業団地西口	往復
石岡駅	元精工舎前	片道

※「-」は未回答

(4)(3)に回答した方にお聞きします。バスを利用する理由はどれですか？

- ・ 「バス停が近い」、「運行ルートが利用しやすい」、「時間にあった便がある」と回答する人が多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「時間にあった便がある」の割合が増加していますが、その他の傾向は大きく変わっていません。

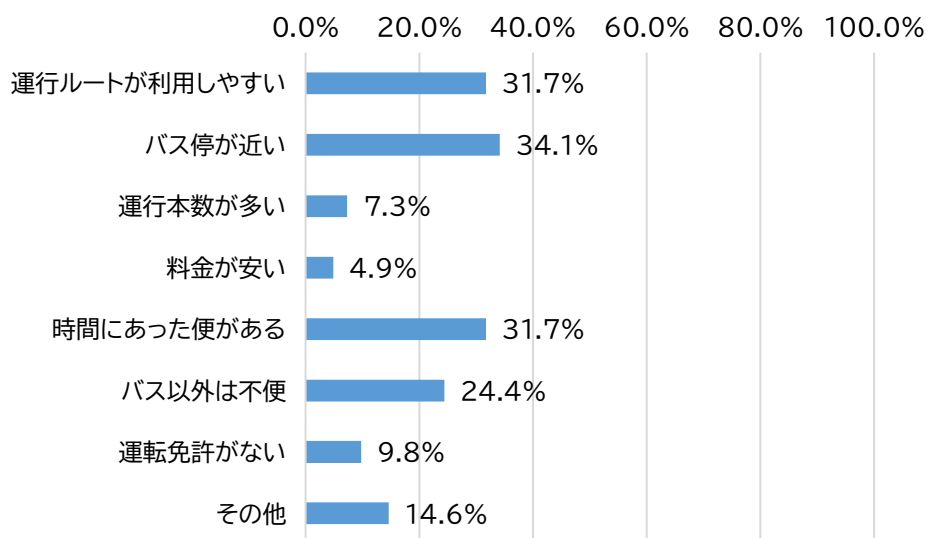


図 59 バスを利用する理由 (n=41)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

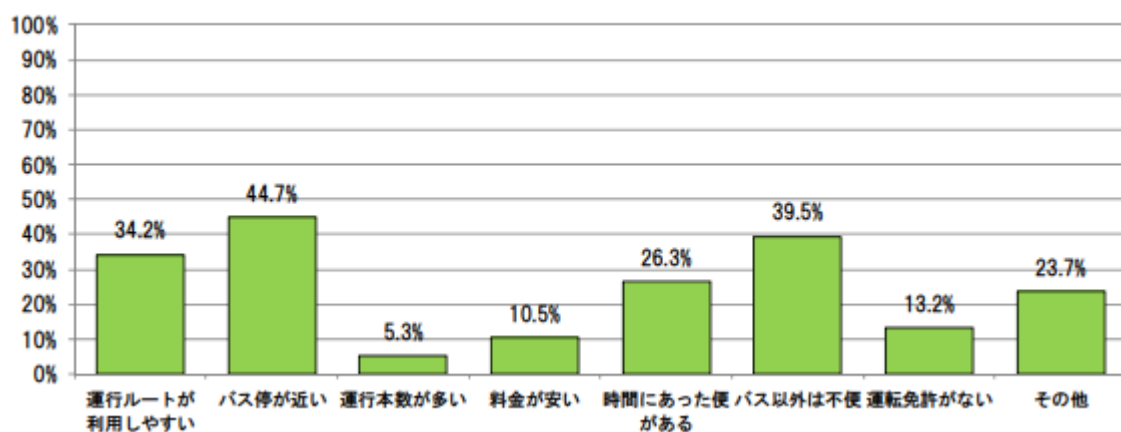


図 60 バスを利用する理由(平成30年調査) (n=38)

(5)(1) で3, 4, 5と回答した方にお聞きします。バスをあまり利用しない理由は何ですか？

- ・ 「乗りたい時間の運行がない」、「家族等が自動車で送迎してくれる」と回答する人が多くいます。
- ・ 平成30年調査と比較すると、「乗りたい時間の運行がない」の割合が増加しています。

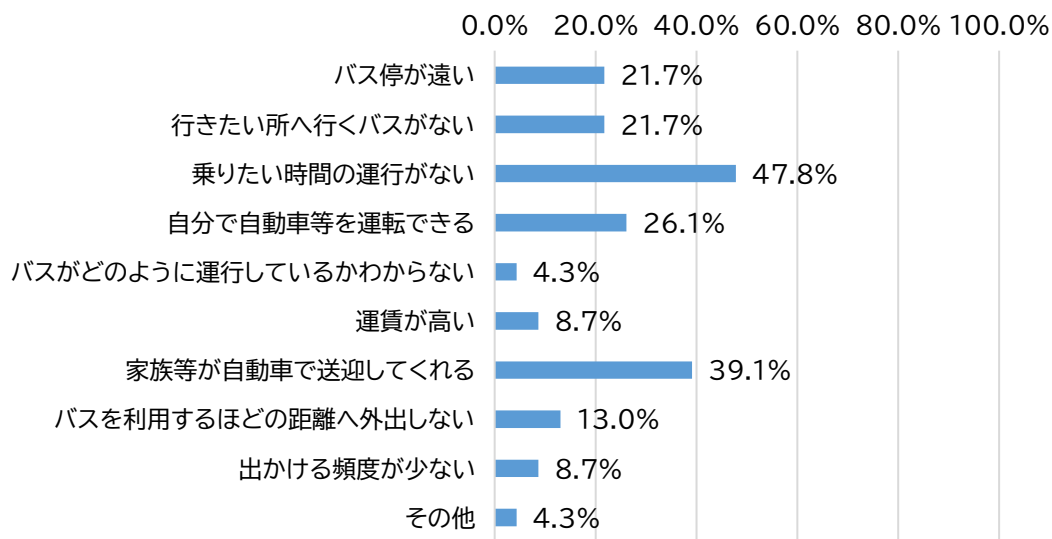


図 61 バスをあまり利用しない理由 (n=23)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

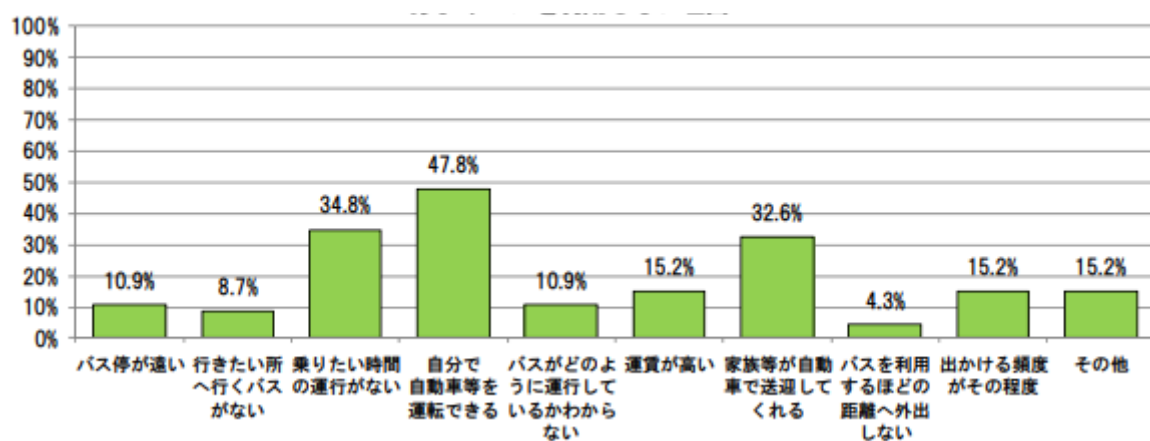


図 62 バスをあまり利用しない理由(平成30年調査) (n=46)

(6)(1) で6と回答した方にお聞きします。バスをほとんど利用しない理由はどれですか？

- ・ 「自分で自動車等を運転できる」と回答している人が多くいます。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

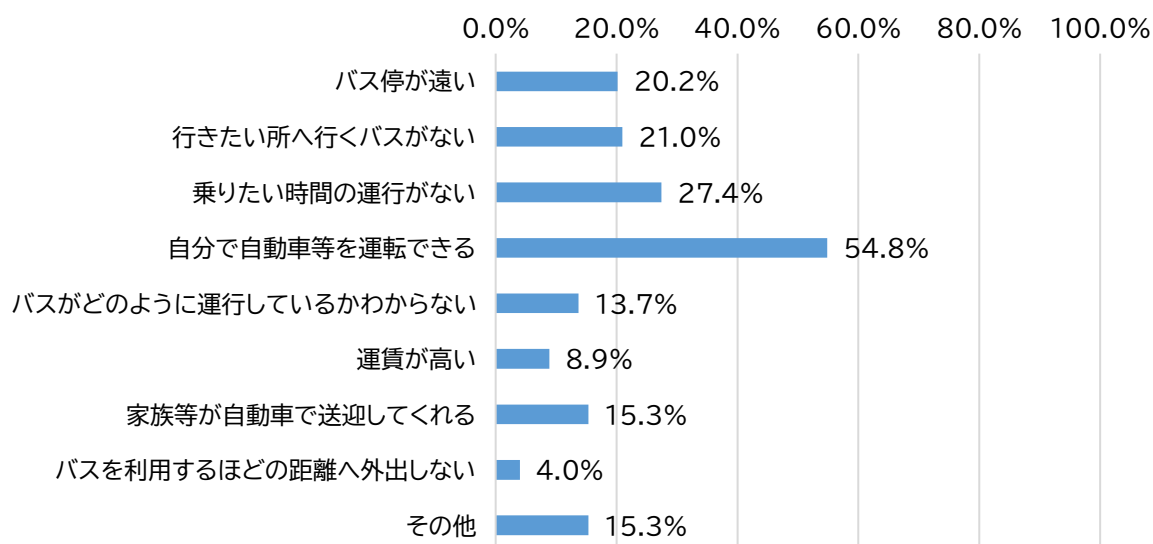


図 63 バスをほとんど利用しない理由 (n=124)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

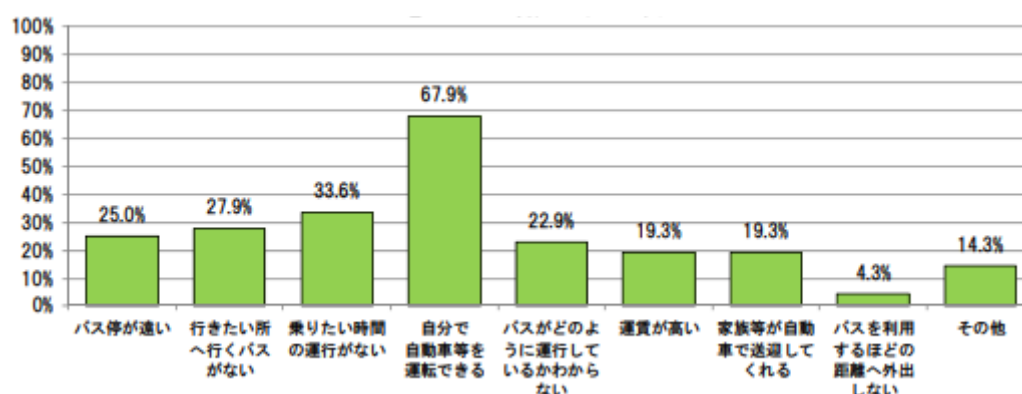


図 64 バスをほとんど利用しない理由(平成30年調査) (n=140)

（７）バス路線のサービス改善を計画していると仮定します。このとき、あなたにとって次の項目 A, B はどちらがより大事だと考えますか？

- ・ 「運行本数の増便」を重要視している人が多いことが分かります。

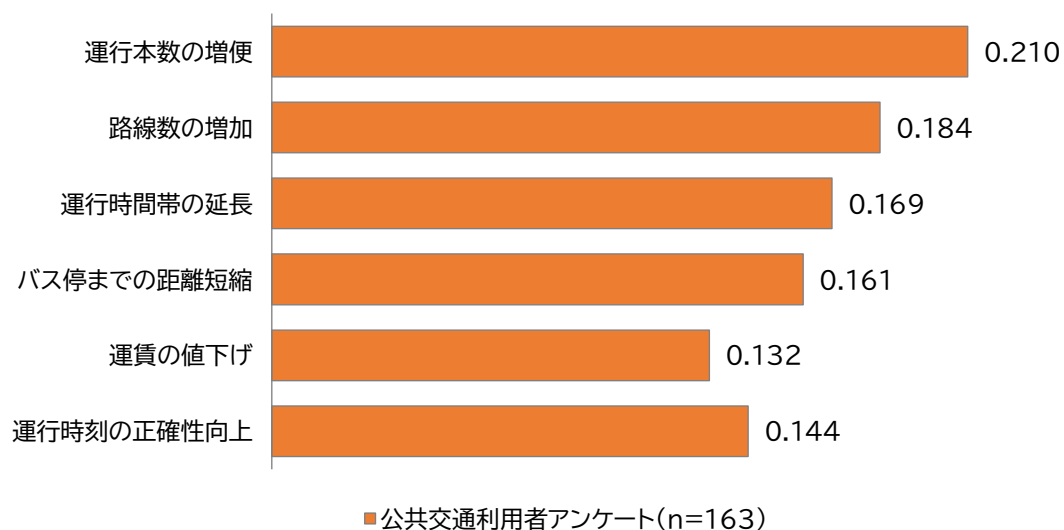


図 65 バス路線のサービス改善の重要度合い (n=163)

（８）石岡市内を運行するバス路線（高速バスを除く）のサービス内容について、あなたのお考えに最も近い番号それぞれ１つに○をつけてください

- ・ 満足度が高い項目として「⑦運行時刻の正確性」が最も割合が高く、次いで「⑩屋根や椅子等のバス停待合環境」と続いています。
- ・ 不満と感じている項目として「⑤終発時刻」が最も割合が高く、次いで「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「③日中の運行本数」と続いています。

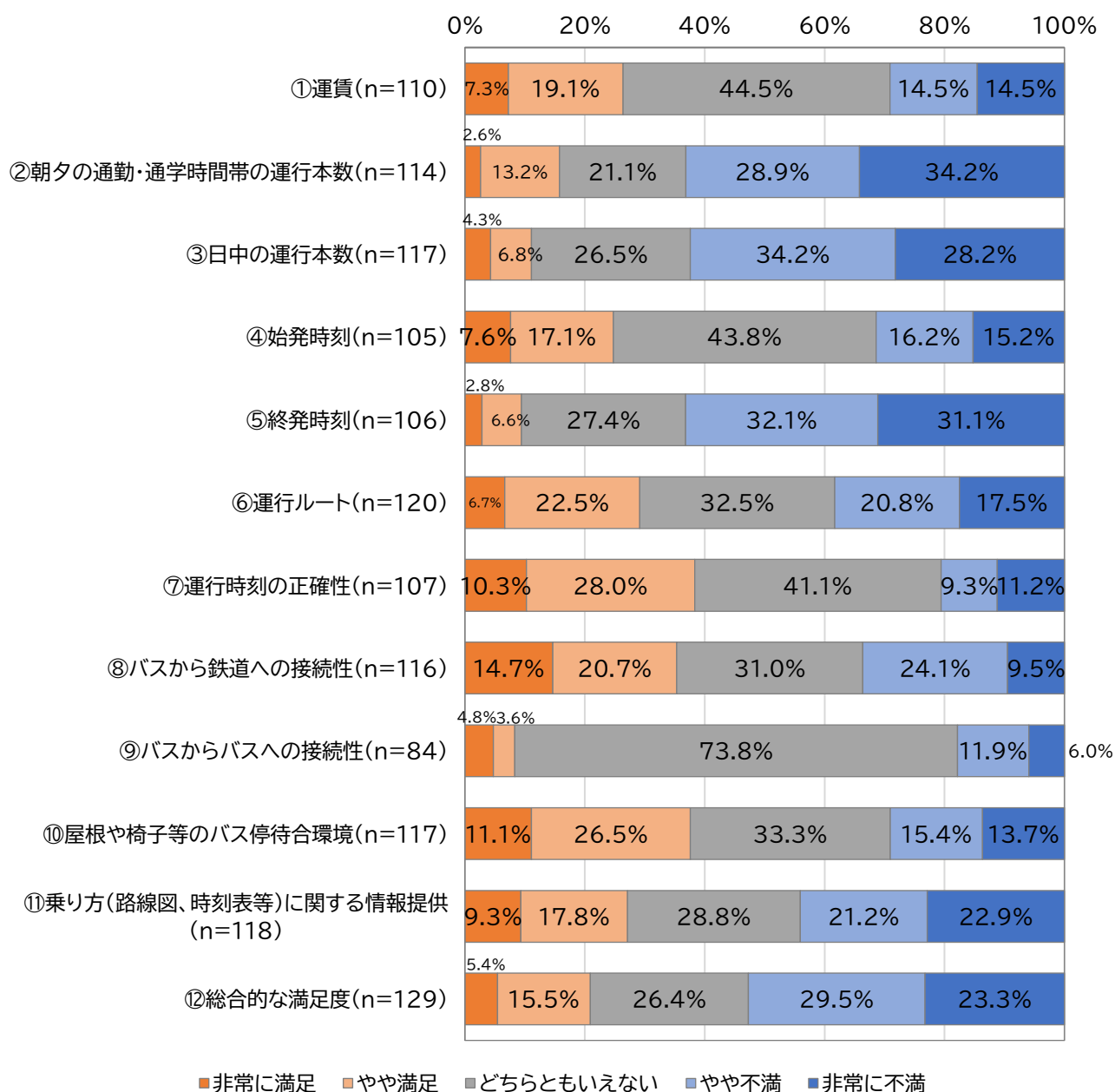


図 66 バス路線のサービス内容の満足度

3.3. 鉄道の利用実態

(9) 石岡市を運行している JR を日ごろ、どの程度利用していますか？

- ・ 約 6 割が「ほぼ毎日」利用していると回答しています。
- ・ 平成 30 年調査と比較すると「ほぼ毎日」の割合が若干減少しています。

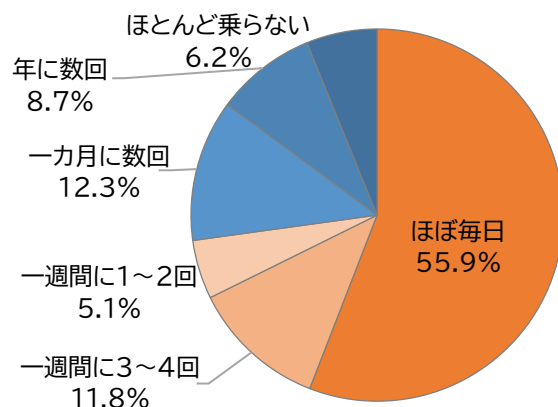


図 67 JR の利用頻度 (n=195)

【参考】[平成 30 年調査グラフ] ※鉄道利用者限定した集計

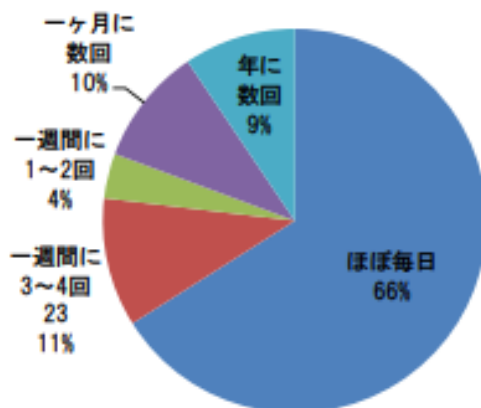


図 68 JR の利用頻度(平成 30 年調査) (n=212)

(10) (9) で 1 ～ 5 と回答した方にお聞きます。JR の主な利用目的は何ですか？（該当するもの 1 つに○）

- ・ 約 6 割の人が「通勤」と回答しており、最も多いことが分かります。
- ・ 平成 3 0 年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

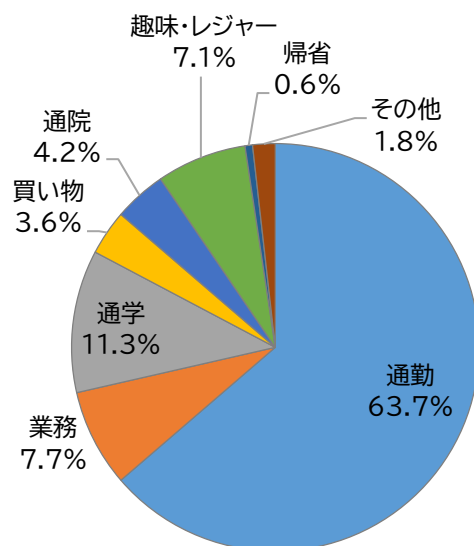


図 69 JR を利用する目的 (n=168)

【参考】[平成 3 0 年調査グラフ]

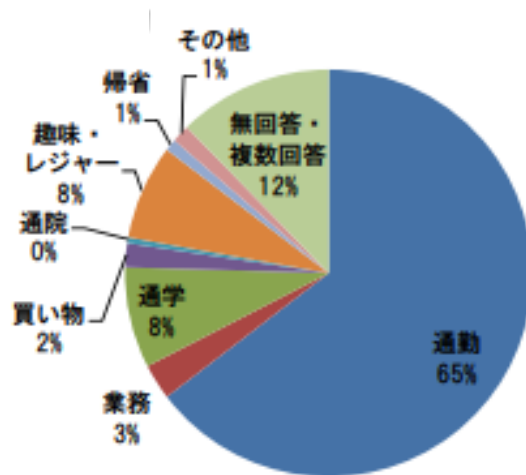


図 70 JR を利用する目的(平成 3 0 年調査) (n=212)

(11) (9) で 1, 2 と回答した方にお聞きします。よく利用する JR の区間を頻度の多い順にご記入ください。また、それぞれの利用区間について、往復利用・片道利用のどちらが多いかをお選びください。

- ・ 片道利用が最も多いことが分かります。

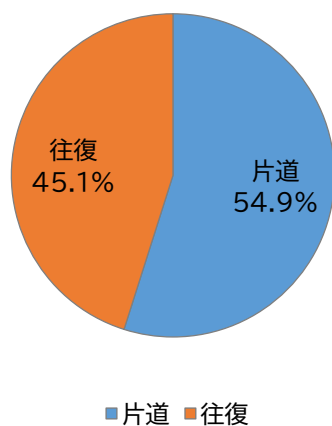


図 71 往復・片道利用 (n=127)

- ・ 石岡駅・高浜駅ともに「取手以南（東京方面）」を選択する人が最も多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、石岡駅から「取手駅以南（東京方面）」の割合が増加している一方、石岡駅と高浜駅から「水戸駅」が目的の割合は減少しています。

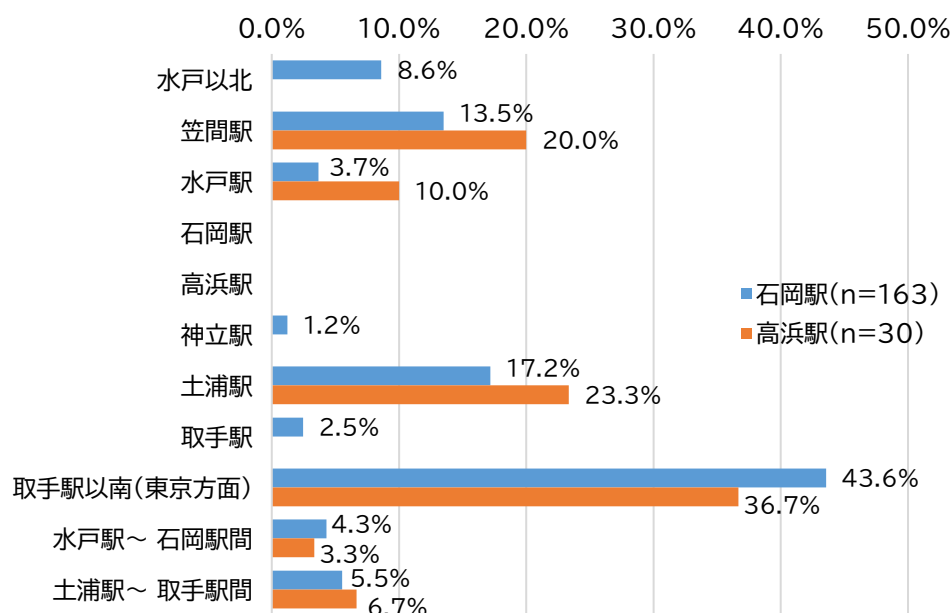


図 72 石岡駅・高浜駅別の目的地

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

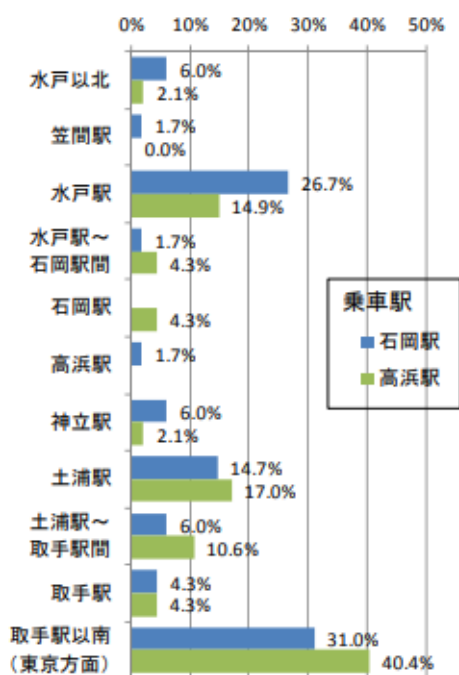


図 73 石岡駅・高浜駅別の目的地(平成30年調査) (石岡駅 n=127、高浜駅 n=47)

(12) (11) に回答した方にお聞きします。JR を利用する理由はどれですか？

- ・ 「目的地の近くに駅がある」と回答している人が最も多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

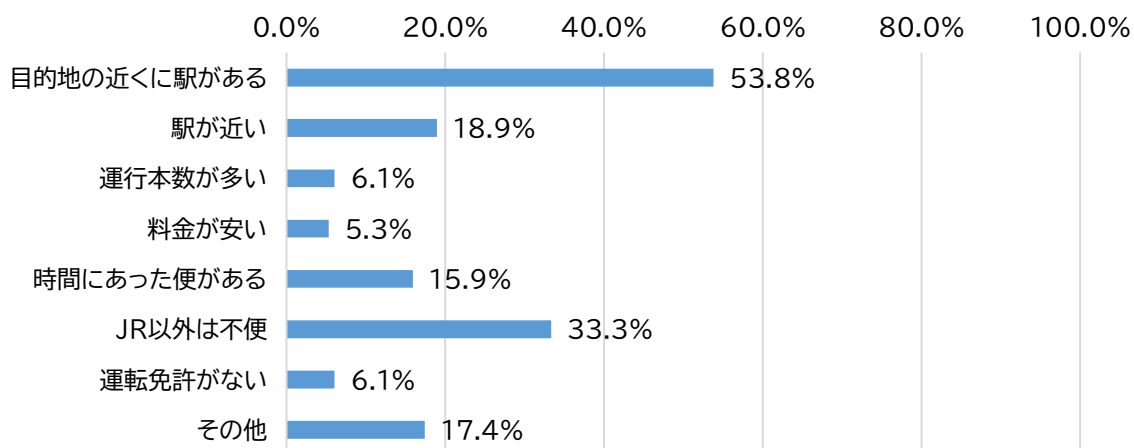


図 74 JR を利用する理由 (n=132)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

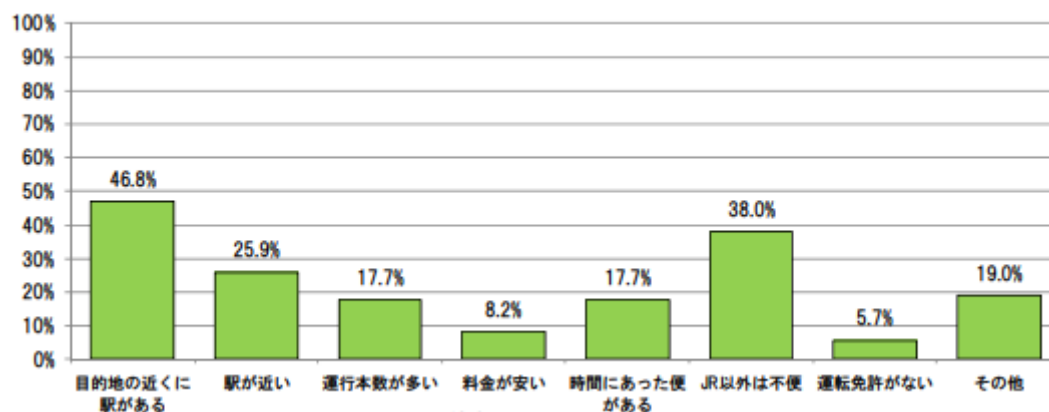


図 75 JR を利用する理由(平成30年調査) (n=158)

(13) (9) で 3 ～ 6 と回答した方にお聞きします。JR をあまり利用しない理由またはほとんど利用しない理由はどれですか？

- ・ 「出かける頻度が少ない」、「自分で自動車等を運転できる」と回答している人が最も多くなっています。
- ・ 平成 30 年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

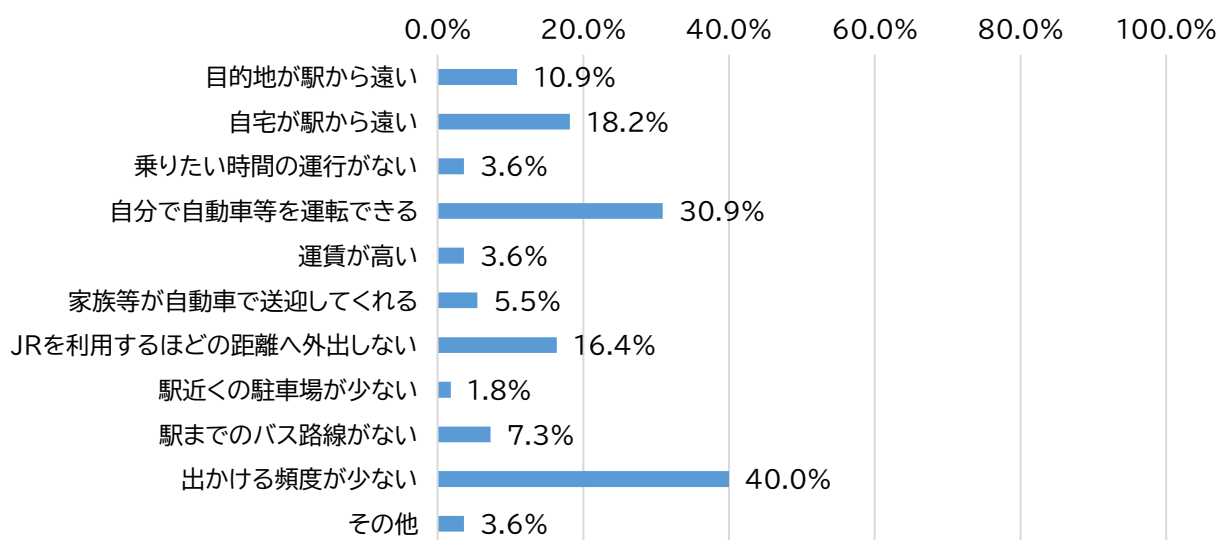


図 76 JR を利用しない理由 (n=55)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成 30 年調査グラフ]

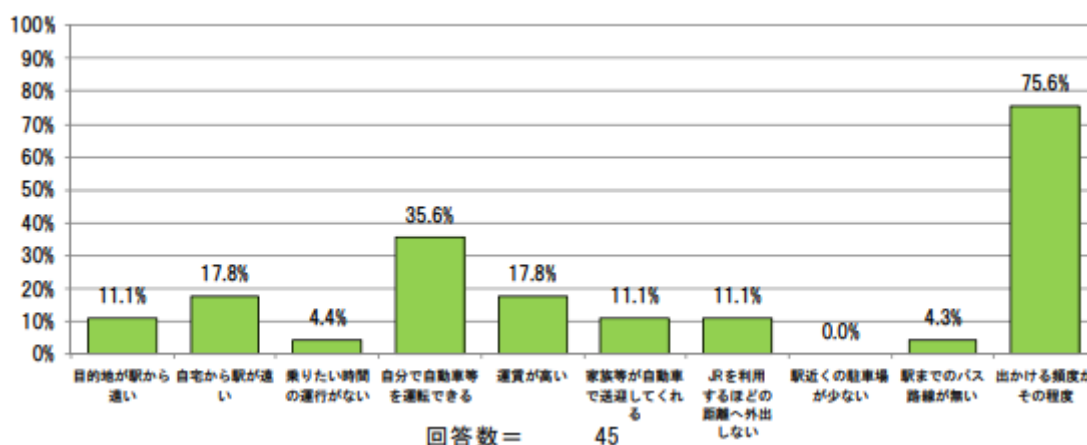


図 77 JR を利用しない理由(平成 30 年調査) (n=45)

(14) 石岡市の「通勤者・通学者定期券購入費補助制度」を知っていますか？

- ・ 約半数の人が「知っているが利用していない」と回答しており、約4割の人が「知らない」と回答しています。

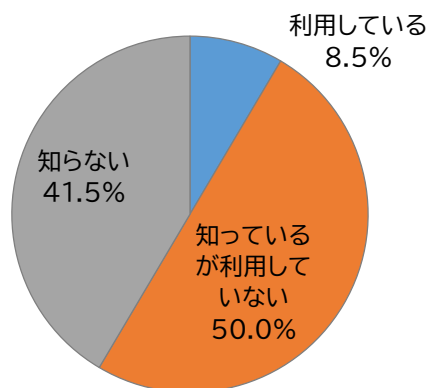


図 78 「通勤者・通学者定期券購入費補助制度」の認知度と利用実態 (n=188)

(15) 石岡市内を運行する JR のサービス内容について、あなたの感覚に最も近い番号それぞれ 1 つに○をつけてください。

- 満足度が最も高い項目は「④始発時刻」であり、一方で「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」に対する不満が最も高いことが分かります。

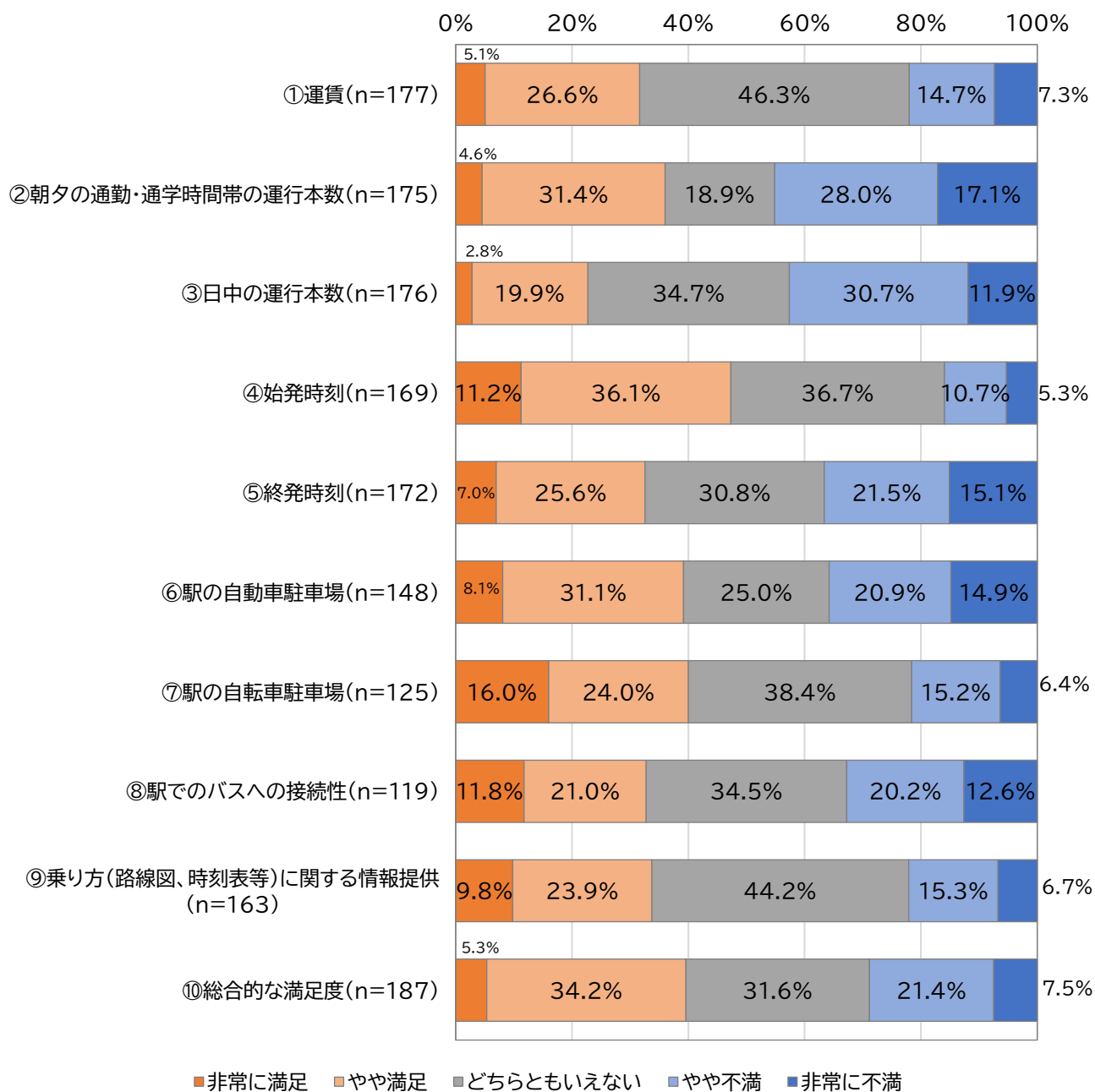


図 79 JR のサービス内容に対する満足度合い

(16) このアンケートを受け取った午前3時から、翌日午前2時までのあなたの1日の動きについて伺います。

- ・最初にいた場所はどこですか？
- ・ 約8割の人が「自宅」にいたと回答しています。

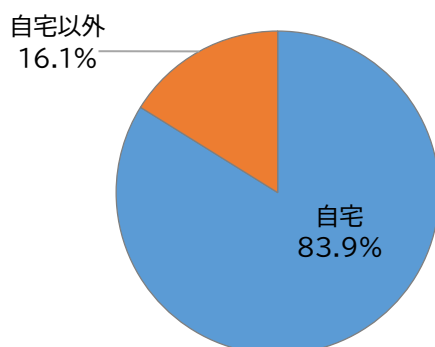


図 80 最初にいた場所 (n=161)

1) 交通手段

- ・ 「鉄道」を利用している人が最も多いことが分かります。

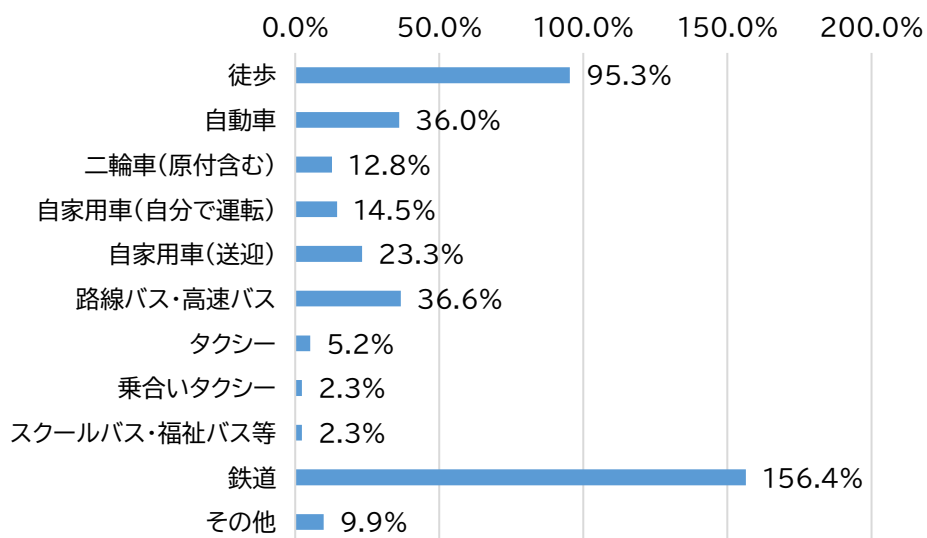


図 81 交通手段 (n=172)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

2) 移動目的

- ・ 「通勤」が最も多く、次いで「帰宅」、「通学」と続いています。

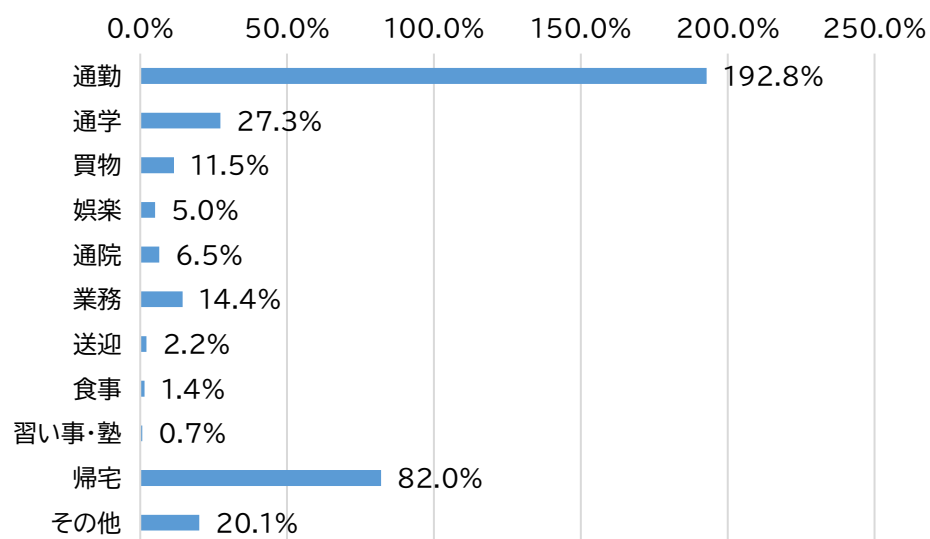


図 82 移動目的 (n=139)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

(17) 最後に、バスや JR 常磐線など石岡市の公共交通や次世代交通システム等について、何かご意見があればご記入ください。

- ・ 鉄道やバスに関する意見が多く見受けられます。

表 9 アンケートで頂いた主な意見 (n=48)

内容
石岡市の中でも高浜駅周辺はほぼバスが無い地区になっている。石岡市でも南側のバス（周遊）の運行と高浜駅周辺の道路整備、排水溝のフタが整備されていなかったり、愛嬌橋が何度も移設を繰り返すだけで高浜中央三差路付近が整備されていないので通勤時間帯が渋滞しているのを解消してほしい。
つくば市への直通バスの運行が欲しい
質問中の「表 A、表 B」は、どこに表記されているのか不明。このアンケート用紙のレビューを、本当に実務者全員で行なったの？担当者だけの判断で（勝手に）、やったように思える。（16）は、どうして書かなければならないのか意味不明。
高齢者となり、車の返納して、シルバー人材から派遣として働いています。乗り合いタクシーのカードも用意しています。元気に居ますので、歩き生活ですが、大雨などの日には、乗り合いタクシーに申し込みいたしましても、混んでおります。事情は納得できます。素直な心で、思いました。元気でいるうちに、1人で動けなくなる時のことを、家族やら、身内やら、知人とやら、まわりの方の知恵をお借りするやら、教わるやら、それが大変必要で大事なことに、なっていくと。
J R 常磐線の本数を増やしてほしい。
高浜駅は無人になりましたか？高浜駅もきれいにしてほしい。一時期、掃除（草が…）もいきてどいていませんでした
マクドナルドを作してほしい
バスと J R との連絡が悪いと感じておりますので、ご検討をお願いしたい。
休日の J R 特急日中朝～夕方まで満席多いため増便希望。関鉄バス→小川～石岡増便希望
バスや J R の本数が少ない。※バスを増やす。特急が石岡は 1 時間に 1 本しかないの少ない。もう 1 本欲しい。30 分に 1 本東京行が欲しい。
朝・夕とも勝田以北からの直行 J R が本数少ない。（通勤普通）東海駅のようにコンセントがあれば良い。茨城空港 + J R のセット販売（割引）ラッピングバス。通学者バスの無償化。法律上厳しい？バスでの荷物輸送
高齢者に向けた市内のバス運行の拡充をお願いしたい。（高齢者の自動車運転免許返納の促進のためにも）
通勤者定期券購入補助制度の年れい制限をやめて欲しい。60 才あるいは 65 才まで対象として欲しい。
羽島駅まで 15 両の J R 常盤線運行して下さい（現在土浦駅までは、15 両、以北方面は、10 両）
駅のまわりにスタバや MC などがあると良い。人身事故や遅れがあった時に待てる場所が欲しい。今はほぼ何もないに等しいと思う。
高浜駅のバリアフリー化。
2024 年 3 月 31 日以降、関鉄グリーンバスの廃止路線があるので、代替え手段を検討してほしい
朝の通勤時間帯の JR 水戸方面への増便をお願いいたします
関東鉄道の水戸石岡線を、石岡駅から石岡市旭台への通勤に利用していますが、帰りのバスは本数が少ないことと時間があてにならないことから、帰りは石岡駅まで歩いています。定期券の往復利用出来たのは年に数回です。水戸駅からの運行なので、時間の不正確さは仕方ないと思いますが、ロケーションシステムを導入してほしいです。また、この路線は、日中の運行が大変少ないですが、
コミュニティーバスの路線拡大
通勤時間帯のダイヤ数を増やして欲しい
牛久市の「かっぱバス」がとても便利で、本数も路線数も多く、インターネットでバスの位置情報を見ることができます。石岡市もかっぱバスにちなんで「ししバス」のような交通網ができる

内容
と住民全員が助かると思います。あとは高浜駅周辺を開拓して商業地にするなどしなければ、石岡市の過疎化は止められないと思います。
朝方のバスが予定時刻より 15 分以上遅い等の事が度々あるのでバスがどの辺にあるのかが分かる位置情報アプリ的なものがあったらいいなと思います。遅いともう乗遅れてしまったのかまだ来ていないだけなのか分からずに不安なのでご検討の程よろしくお願い致します。
小美玉市と協力しておみたんバスが高浜駅まで運行すれば高浜駅の利用者は増える可能性がある
料金高いな土浦からの場合は交通援助されるの？
特急の石岡停車を増やして欲しい
つくば express との接続
本数を増やして
高浜駅ロータリーの整備を早くすすめてほしい。通学時の送迎混雑で危険を感じる。反対側にも乗り入れ出来れば踏切で渋滞することもない
利便性の高い電車を利用しています。申し訳ありませんがバスはほぼ利用していません。石岡市市内を移動するには不便です。乗り合いタクシーが便利だと思います。
最近通勤通学の方が多く利用する時間帯(朝や夕方など)、高浜駅の駅舎に係員が一人もいない状態が続いており、不安です。一番利用客が多いのに何故無人の状態なのでしょう？以前から、機器の不具合のせいで定期の更新が上手くいかず、代金が機械に飲み込まれたりするトラブルも何度かあるので、利用する時間帯に対応してくださる方がいないと、もしもの時大変困ります。防犯面や安全面も考えると、あれだけ一定数の利用客がいるのに無人では不安です。それなのにあまり利用客のいない日中は係員がいるという状態なのが納得いきません。
定期券購入補助制度は知らなかったが、内容はもっと補助を厚くしてほしい。
上りの常磐線が全て品川行だと助かる。定期券購入費補助制度対象年齢の上限を上げて欲しい。
バス、JR とともに運行数を増やして欲しい。また、石岡駅につくばエクスプレスを繋げて欲しい。
このアンケートで (b-3) 利用交通手段を選択してください。の複数選択ができないバグがある
バスの本数が少なく、通勤に使用出来ない。特に帰りはまったく無い。改善して欲しい。
JR 減便を阻止したい。通勤快速の復活。
本数を増やして欲しい。バスの運行時間を延ばして欲しい。
6:20 石岡発のときわの平日終着駅を上野から品川にして下さい
バス意外で乗合タクシーなど正確で利用しやすいことを検討するべき
関鉄バス運転手が、外国人に対して不親切な対応をしていた。改善すべきだと思う。
もう少し電車賃の値段を下げて欲しいのと、運行本数を増やしてほしい。
バスについて、お酒を飲んで帰る人は運転できないが、タクシーや代行は高いため、バスの運行時間を伸ばすと利用者が増えるのではないかと考えた。また、このアンケート内で複数可の問に対してひとつしか認められなかったので確認していただきたいです。
朝 6:00 から 7:45 バス増便と 19:30 から 22:00 延長
石岡駅に停車する JR 常磐線の特急本数は今後も現状を維持して欲しい。市役所へ行く公共の交通機関が無いので検討して欲しい。
【バスについて】夫婦共に 30 代で、自家用車を運転できるので、バスは利用したことがありません。しかし高齢化がどんどん進む中で、高齢ドライバーも増えていくことに不安を感じています。免許を返納しやすいように、高齢者が利用しやすいバスの整備を進めていただけると、子育て世代としては安心だと思っています。【鉄道について】夫婦共に都内に通勤をしているので、特急をかなりの頻度で利用しています(夫婦あわせると週 4 から 5 回程度)朝の特急は満席なので、ぜひ通勤時間帯の本数を増やしていただきたいです。
自家用車と鉄道やバスを連携して利用できるような施策が必要ではないでしょうか。また、高浜駅西側の開発を進めるべきだと思います。買い物できる店がゼロは異常です。
石岡駅までの終電の時間がもう少し遅いと便利。バス停や行ける場所がもっとわかりやすく増えれば良い。

4. 石岡市乗合いタクシー利用者アンケート結果

4.1. 回答者属性

(i) 年齢

- ・ 80代の割合が最も高く、次いで70代が高い傾向にあります。平成30年調査と同様の傾向です。

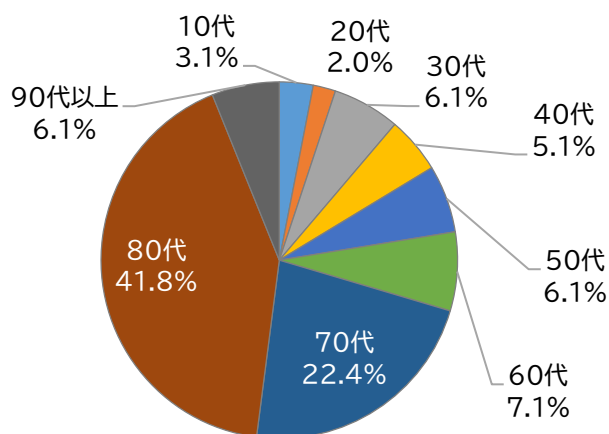


図 83 年齢 (n=98)

【参考】[平成30年調査グラフ]

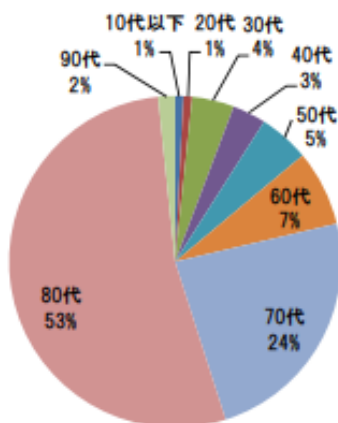


図 84 年齢(平成30年調査) (n=123)

(ii) 職業

- ・ 「無職」の割合が最も高く、次いで「主婦（夫）」が高い傾向にあります。平成30年調査と同様の傾向です。

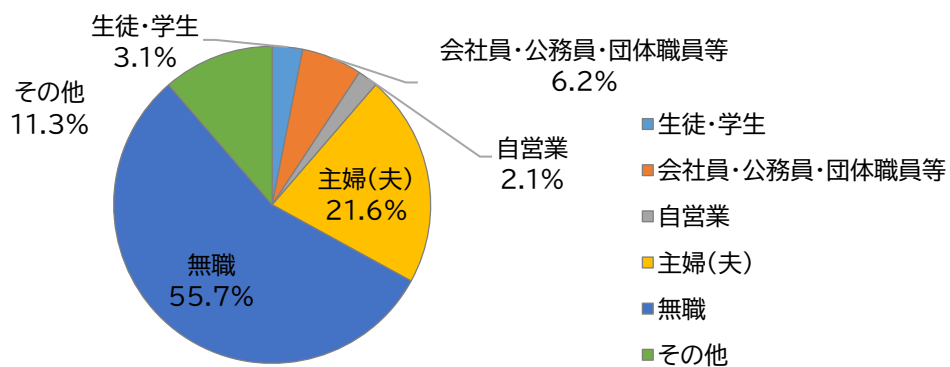


図 85 職業 (n=97)

【参考】[平成30年調査グラフ]

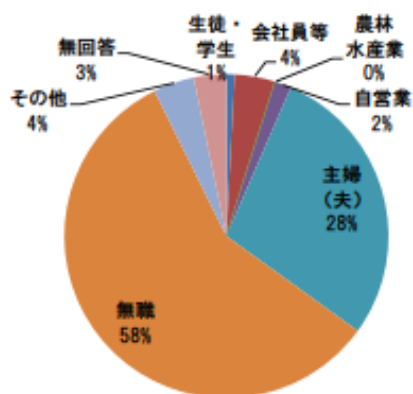


図 86 職業(平成30年調査) (n=123)

(iii) 自動車運転免許を持っていますか？

- ・ 自動車運転免許を持っていない割合が最も高く、次いで「返納した」割合が高い傾向にあります。
- ・ 平成30年調査と同様の傾向ですが、やや「返納した」割合が向上しています。

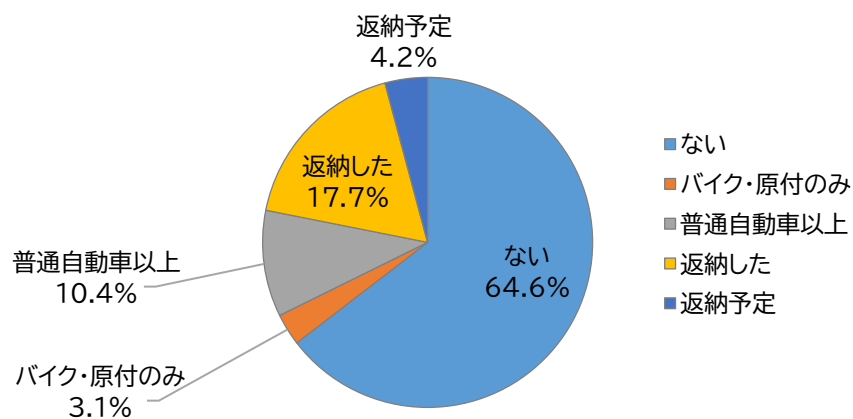


図 87 運転免許の有無 (n=96)

【参考】[平成30年調査グラフ]

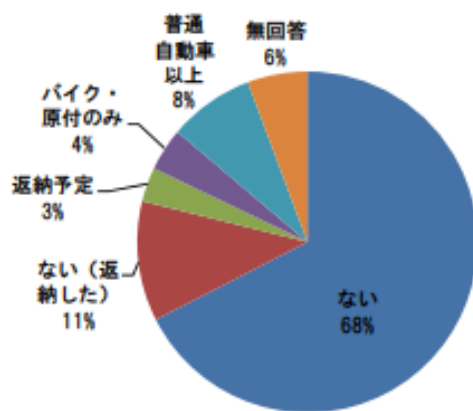


図 88 運転免許の有無(平成30年調査) (n=123)

(iv) 自由に使える交通手段を持っていますか？自由に使える交通手段の番号に○をつけてください。

- ・ 「持っていない」が最も高く、次いで、「自転車」が高い傾向にあります。
- ・ 平成30年調査と同様の傾向です。

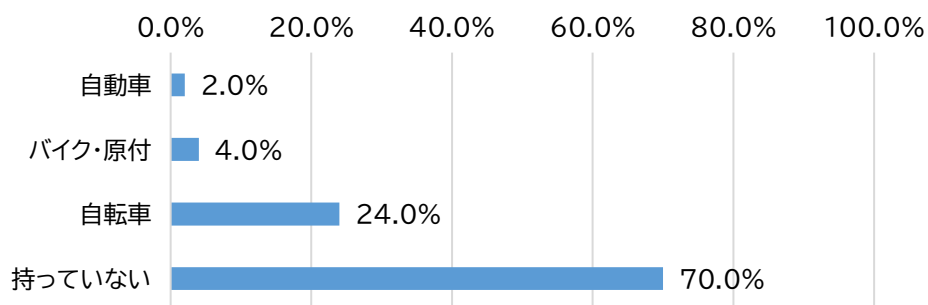


図 89 自由に使える交通手段 (n=100)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

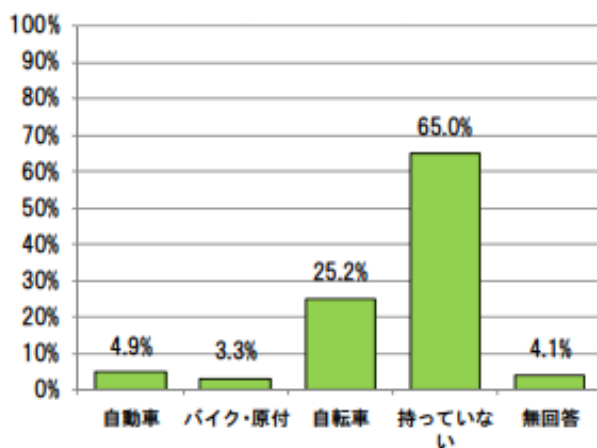


図 90 自由に使える交通手段(平成30年調査) (n=123)

4.2. 乗合いタクシーの利用実態

(1) 石岡市を運行している乗合いタクシーを日ごろ、どの程度利用していますか？

- ・ 「一ヶ月に数回」「一週間に1～2回」が多くなっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

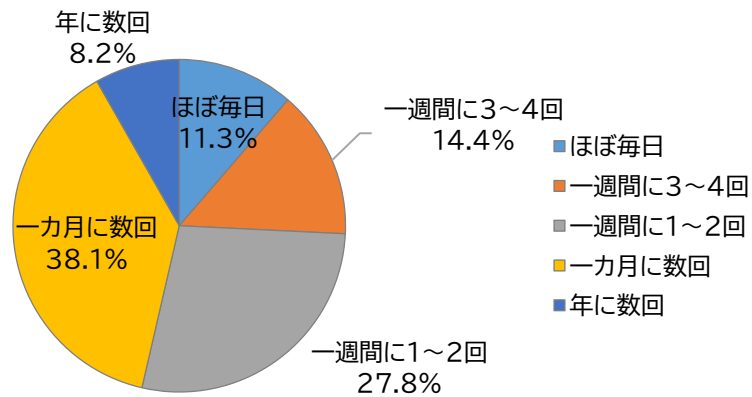


図 91 乗合いタクシーの利用頻度 (n=97)

【参考】[平成30年調査グラフ]

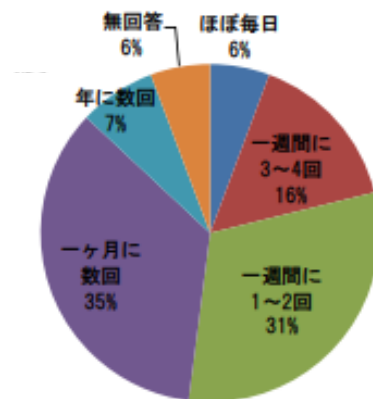


図 92 乗合いタクシーの利用頻度(平成30年調査) (n=123)

（２）乗合いタクシーの主な利用目的は何ですか？

- ・ 「通院」や「買い物」が多くなっています。
- ・ 平成３０年調査と比較すると、「買い物」や「通勤・通学」の割合が増加しています。

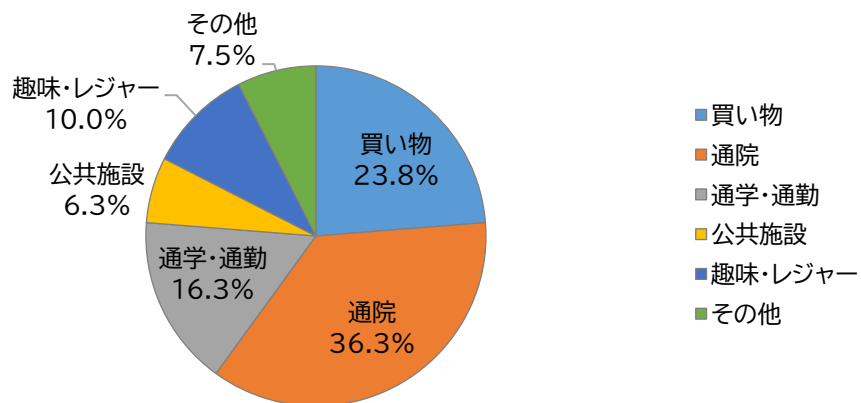


図 93 乗合いタクシーの主な利用目的 (n=80)

【参考】[平成３０年調査グラフ]

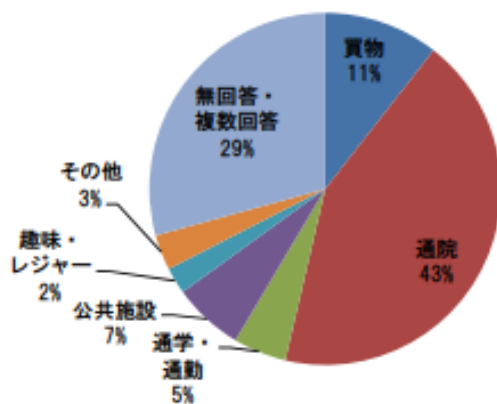


図 94 乗合いタクシーの主な利用目的(平成３０年調査) (n=123)

(3) よく利用する乗合いタクシーの経路を頻度の多い順にご記入ください。

- ・ 起点では「自宅」と回答している人が最も多く、終点については「病院」と回答している人が多いことが分かります。

表 10 起点一覧 (n=96)

起点	回答件数
自宅	112
小見	3
銀の笛	2
柿岡	2
家	2
自宅より5分先	2
府中	2
のぞみ	1
あいホーム石岡	1
関東鉄道	1
作業所	1
自宅前	1
スーパー	1
ローソン東石岡	1
羽鳥駅	1
鹿の子ゲートボール場	1
カーサフェリーチェ	1
キリスト兄弟団教会	1
ファミリーマート正内上店	1
泉町	1
柿岡支所	1
下林の自宅	1
鹿の子県営アパート1棟	1
図書館	1
自宅・スーパー	1
八郷整形病院	1
高浜	1
病院	1
根当	1
あいホーム旭台	1
児童センター	1
カスミスーパー	1
セイブ	1
病院(駅羽鳥)	1
通院	1
自宅付近	1
タイヨー又は常陽	1
カスミストアー	1

表 11 終点一覧 (n=96)

終点	回答件数	終点	回答件数
病院	18	歯医者	1
自宅	10	局、本庁舎	1
スーパー	5	局	1
石岡駅	4	スポーツ山●	1
第一病院	4	ストッカー	1
神立駅	4	旧城南中学校前	1
ひまわり館	3	スーパー・自宅	1
ひまわりの館	3	全5軒の病院	1
ヨークベニマル	3	総社	1
医院	3	市内杉並	1
羽鳥駅	3	みやび健康院	1
桜井病院	2	石岡ストッカー	1
学校	2	元水戸信まえ	1
ひまわりかん	2	八郷、ヨークベニマル	1
カスミ	2	豊後荘病院	1
柿岡	2	保健センター	1
ごとう内科	2	自宅付近(居酒屋いっき)	1
ヨークベニマル八郷店	2	石岡脳神経外科じゅんかんき	1
八郷総合支所	2	グリーンクリニック	1
石岡	2	常陽銀行柿岡	1
ウエルサイト石岡	2	すき家	1
タイヨー	2	八軒台	1
図書館	2	タイヨー、トマト、業務スーパー、山新	1
コンビニ	1	タイヨ、山新、トマト、業務	1
ふれあいの里	1	ベニマル	1
山新プール	1	八郷	1
池の台団地	1	太陽	1
銀の笛	1	八郷町内	1
●山王台病院	1	美容室	1
江畑医院	1	病院通院	1
ゲーム王国	1	タイヨウ	1
ケース、紅マル	1	ヨークベニマル石岡店	1
山王台	1	クリニック	1
府中小西門前	1	公共施設	1
児童センター	1	三洋堂書店	1
府中	1	八郷整形病院	1
フォレストモール石岡	1	駅東	1
ヨークベニマル入郷	1	羽鳥駅(土浦協同病院	1
ゆさとヨークベニマル	1	カワチ茨木店	1
東大橋	1	ファミリーマート正内上店	1
スパ	1	ピアシティー石岡	1
家	1	カインズ、JAひたちの	1
八郷、カスミ	1	JAひたちの、カインズ	1
高速バス入口	1	買物	1
アオキ	1	マーケット	1
石岡市街地	1	園部JA	1
八郷中央公民館	1		

- ・ 下記の表から分かるように、自宅からスーパー・コンビニ、病院・医療機関に向かう移動が非常に多いことが分かります。

表 12 タクシーの利用経路（単位：件）（n=96）

着地 発地	自宅	駅	バス停	スーパー・ コンビニ	病院・医 療機関	公共施設	福祉施設	仕事場	レジャー・ スポーツ 施設	教会・寺 社	その他	合計
自宅	0	10	2	42	39	10	1	0	8	0	7	119
駅	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
バス停	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパー・コンビニ	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7
病院・医療機関	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
公共施設	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
福祉施設	4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7
仕事場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レジャー・スポーツ施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
教会・寺社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	7	11
合計	14	14	3	43	40	11	3	0	11	0	15	154

（４）乗合いタクシーを利用する理由はどれですか？

- ・ 「自宅から直接目的地まで行けるから」が最も多くなっています。
- ・ 平成３０年調査と比較すると、令和５年３月１日から配車システムが新しくなったことにより「予約に応じて随時運行しているから」が多くなっています。

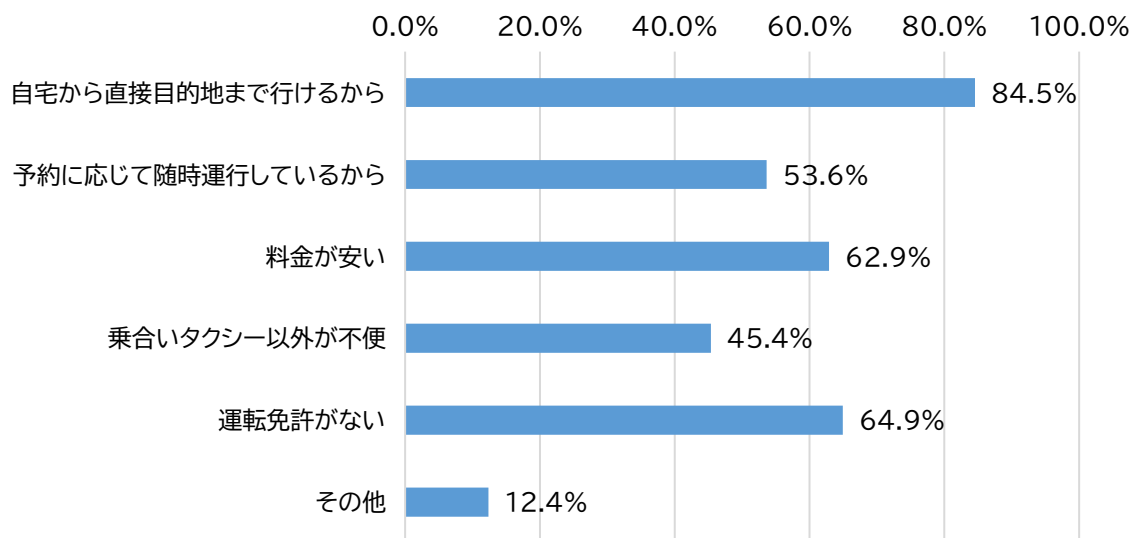


図 95 乗合いタクシーを利用する理由 (n=97)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は 100%を超える場合があります。

【参考】[平成３０年調査グラフ] ※今年度調査と選択肢が異なる

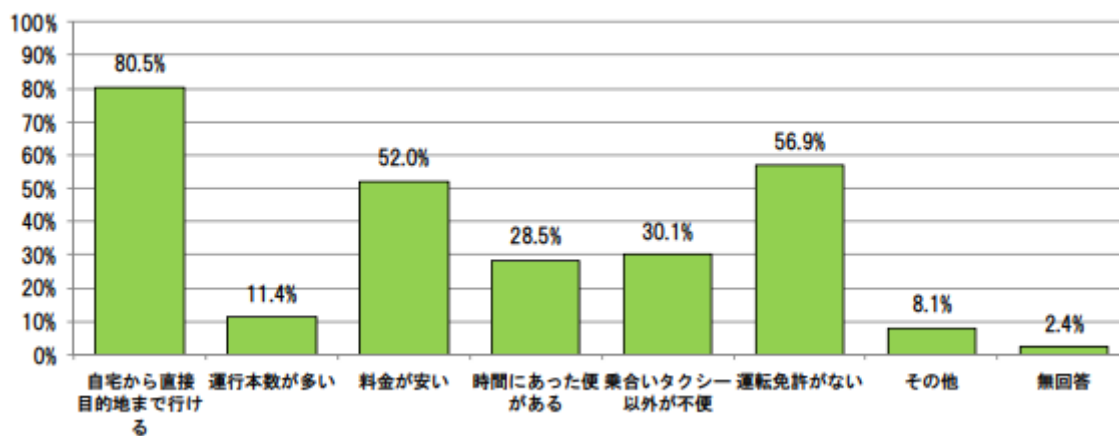


図 96 乗合いタクシーを利用する理由(平成３０年調査) (n=123)

(5) 乗合いタクシーを利用して困ったことはありますか？

- ・ 「土日祝日に運行していない」が最も多く、次いで「予約がとりにくい」となっています。
- ・ 平成30年調査と比較しても傾向は大きく変わっていません。

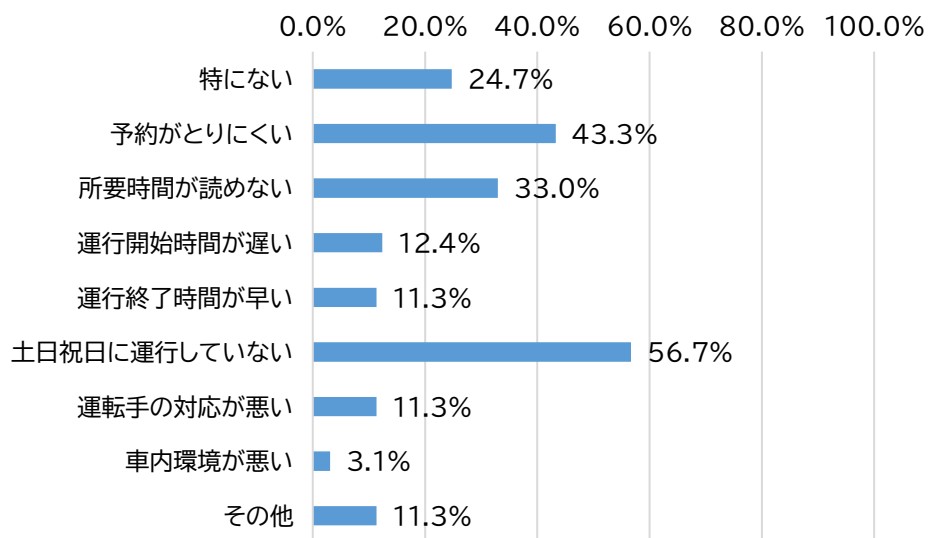


図 97 乗合いタクシーを利用して困ったこと (n=97)

※複数選択形式の場合、集計結果の合計は100%を超える場合があります。

【参考】[平成30年調査グラフ]

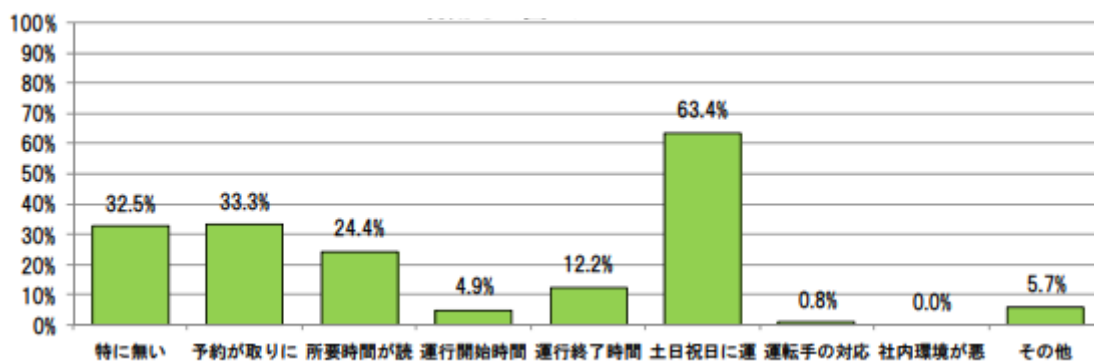


図 98 乗合いタクシーを利用して困ったこと (n=123)

(6) 乗合いタクシーを予約する際に予約が取れなかった経験はありますか？

- ・ 「ある」が6割以上となっています。
- ・ 平成30年調査と比較すると、令和5年3月1日から配車システムが新しくなっても、利用できなかった経験がある割合は同程度となっています。

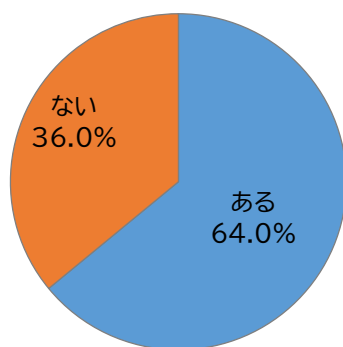


図 99 予約が取れなかった経験 (n=89)

【参考】[平成30年調査グラフ]

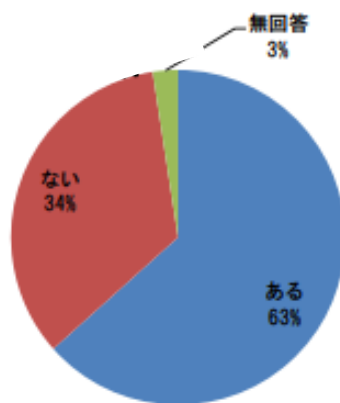
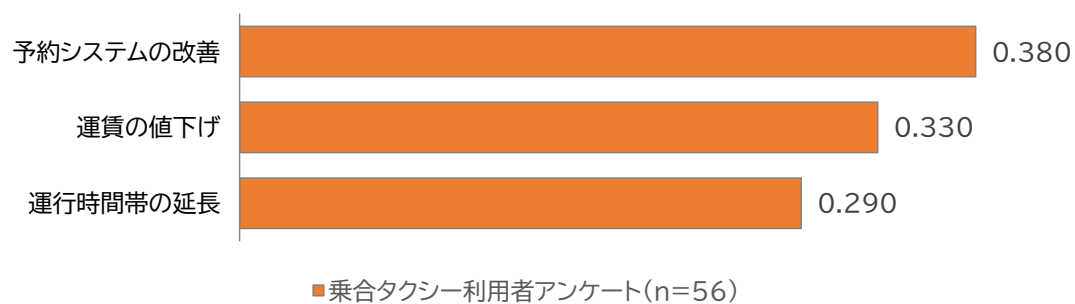


図 100 満員等で乗れなかった経験 (n=123)

（７）乗合いタクシーのサービス改善を計画していると仮定します。このとき、あなたにとって次の項目 A, B はどちらがより大事だと考えますか？

- ・ 「予約システムの改善」が重要視されています。



※数値が高いほど重要度と考える人が多い

図 101 乗合いタクシーのサービス改善の重要度合い (n=56)

(8) 乗合いタクシーのサービス内容について、あなたの感覚に最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

- ・ 「⑨予約受付の開始時間」が最も満足度が高く、一方で「③運行曜日」への不満が感じられています。

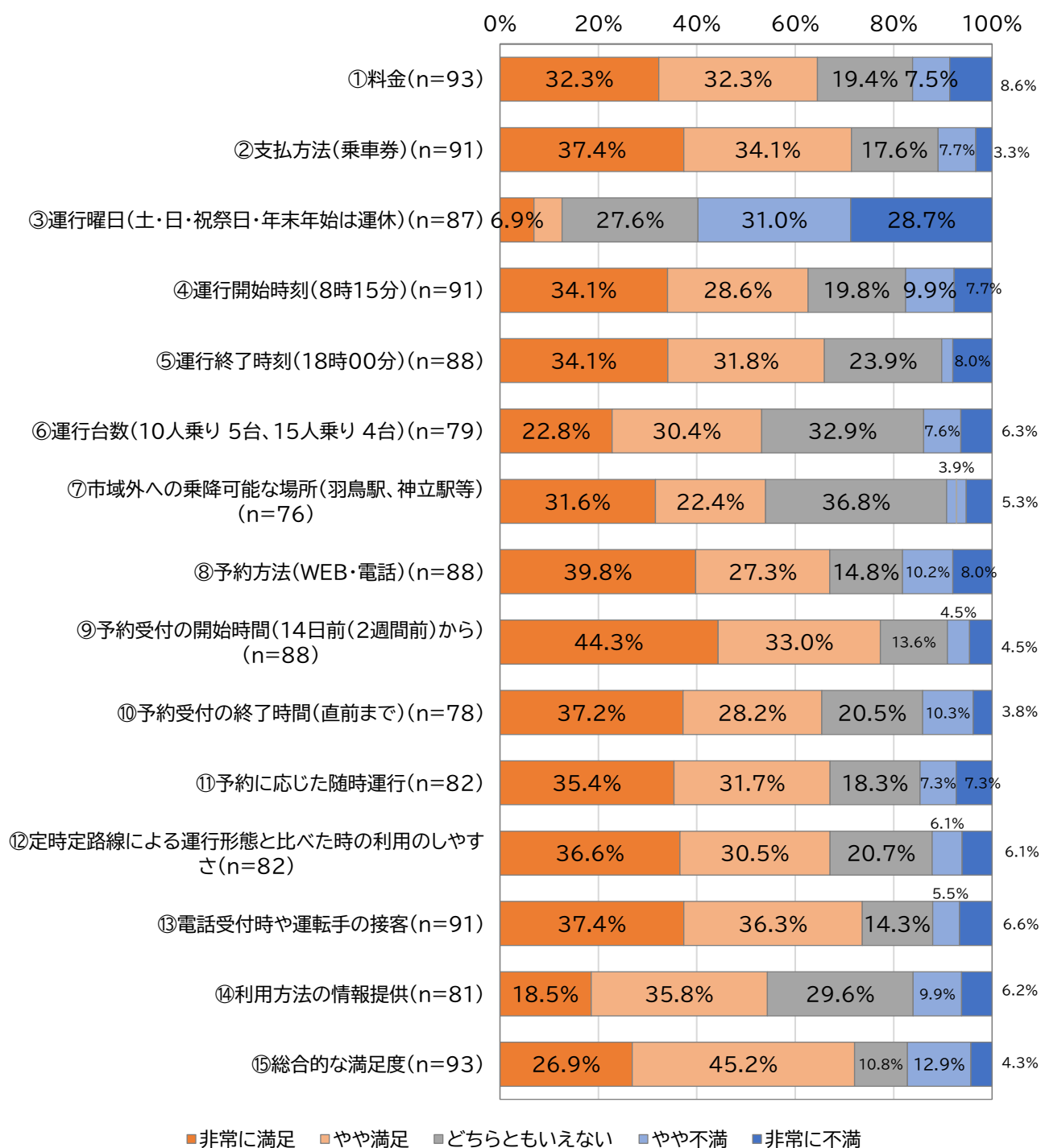


図 102 乗合いタクシーのサービス内容の満足度

(9) 最後に、乗合いタクシーについて何かご意見があればご記入ください。

- ・ 予約に関する意見が多く見受けられます。

表 13 アンケートで頂いた主な意見 (n=16)

年齢	乗合いタクシーについて
12	中学生で通学に使う。往復 600 円は高い、中学生まで小学生と同じ料金にして欲しい
29	特になし。いつも助かっています
37	土曜日のみでも運行していただきたいです。どれくらい重要があるのか検証実験していただきたいです。これから、ご高齢の方が運転することの危険性がますます根拠にあらわれると思います。車に乗れない場合の足をしっかりと整備しておく必要があると思います。また、免許返納も推奨して欲しいです。年齢は70歳まで運転可能にする。それ以降は、バスや乗り合いタクシーの乗り放題もしくは、使用した分のチケット代を助成するなど移動手段の確保に努めていただきたいです。よろしく願いいたします。
51	これからも宜しくお願いします。
56	余計に不便になる変更はやめていただきたい。定時定路線は石岡中心にするということですか？
74	予約制が改正されてから乗っている時間が長くなってしまい片道1時間も乗っているととても疲れるので改正前の方がよかったと思うことがずい分あります。
80	電話での予約いつも話し中で何度もかける。
82	予約 TEL 中々つながらない (八郷町の中は200円、近い) (後の八郷300円) 遠いから
83	乗合タクシーを利用させて頂いてます。私は (スイミング山新) だけに利用させて頂いてます (雨の時のみ) 自宅と山新プール迄は近いのもう少し運賃を安くしてもらいたいと思います。10回以上利用すると¥6,000-になります
85	ございません。ありがとうございます。
85	他の交通手段がないので、乗合タクシーがないと外出困る。一般のタクシーでは料金が高くて利用出来ない。
86	予約の電話電話が仲々つながらない混み合っているのですが…改善してほしい…運転手さんは皆とても親切です。ありがとうございます
86	・ 予約が取りにくい (話し中が、非常に多い)
86	運転者の対応も良好で何も問題はありますが、土日休日も雨天の日に運行されると担めて満足です。
88	他の町から来た人と申込者と一緒に乗り利用したい。1人か2人位まで
92	土日でも運行してもらいたいです。効率よく運用できるシステムがあるので稼働台数を減らしたりWEBからの登録を推奨してみてもどうでしょうか。65歳以上は乗り放題パスがあればうれしいです。はじめての説明の際に乗車券は先に渡す、しょうがい者手帳は登録時に確認するなどルールをしっかりと教えてほしいです。予定時刻から何分すぎたらどうなるのかなど、ドライブレコーダーしっかりありますなど。

■石岡市地域公共交通計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

（１）意見募集について

- ・ 募集期間 令和６年１月２９日（月）から令和６年２月９日（金）まで

（２）閲覧方法

- ・ 市ホームページ
- ・ 窓口（石岡市役所２階（都市計画課）、石岡市八郷総合支所複合施設１階（支所総務課））

（３）周知方法

- ・ 市メールマガジン配信

（４）募集結果

- ・ 応募人数 ２人
- ・ 意見数 ９件

番号	御意見	市の考え方
1	石岡駅前の交差点がとても危険であり至急直した方がよい。国道６号から石岡駅方面に入って来た石岡郵便局方面へ行く直進車がかん違いしてまん中の右折ゾーンに入ってしまう事が多くその後本来の直進車の右側へ接触、及び衝突の危険性が高い。 解決策→左から「左折車」・「直進車」・「右折車」・「対向車」の４ゾーンを作る。（１ゾーン追加する。タロー像の５ｍ移動要） ※始めから４ゾーン作るべきであったと思われる。	頂いた御意見は、道路整備に関する内容となっており、今回の計画（素案）への意見ではありませんので、回答を控えさせていただきます。内容については、関係部署にお伝えさせていただきます。
2	道路の樹木や植栽は要らない。（今後植えないでもらいたい。） ①道路樹木や植栽の維持経費は莫大巨額で右肩上がりしている。 ②視界をさえぎる死角も増え続け、交通安全に逆行している。 ③落ち葉の清掃撤去や台風や積雪等による倒壊や排水機能低下。 ④電柱電線に掛かる枝払いの経費拡大や樹木や枝と電線の劣化火災 ⑤根の成長に伴う歩道や車道や水道管やガス管等への圧力亀裂損傷等 ⑥蚊や毛虫や蜂やカラス等の集団発生源及び害虫隠れ棲み家への助長。 ⑦ボイ捨てし易くし見えないゴミ捨て場にもなっており衛生面でも悪い環境。 樹木や植栽をしない場合の各活用方法。 ①自転車専用道路に切り替える ②宅配便トラック等の無料一時停車駐車場。（一般道駐車はとても危険） ③行政や民間の短時間有料馬主車場及び無料駐輪場としての活用 ④その他生活に密着して役に立ちかつ初期費用や年間維持費用がほとんど掛からないもの。	頂いた御意見は、道路の環境整備の内容となっており、今回の計画（素案）への意見ではありませんので、回答を控えさせていただきます。内容については、関係部署にお伝えさせていただきます。
3	路線バス、かしてつ、林線とも2018年時点より減少している。とくに茨城空港往復はコロナ禍により航空便の減少のためか落ち込んでいる。 林線は石岡・柿岡を結ぶ幹線と位置づけられ(P.76)ているとはとても言い難い。平日の終発(石岡発19:50)は早すぎる。せめて20:35(改正前の終発)に戻すべきと思う。また、アンケートにもあるように下り18:25は特急ときわと同時刻で、実際に乗り継げない。10分ほど繰り下げるべきである。また通学時間の増便で高校生などの乗客を呼び込む。	・鉄道との接続時間については、本計画の施策事業に設定しています。鉄道とバスの接続性の向上を図るため、鉄道とバスの乗り換え時間を考慮して、鉄道の到着時刻に合わせたバスの到着・発車時刻に再編することを推進していきます。（計画案P83） ・通学時間の増便に関しては、今後市からバス事業者に要望していきます。

4	小幡線は24年3月31日(実際は29日)で終了する。これにより旧小幡村の中心地を走り石岡駅までの公共交通機関は全く無しになってしまう。このような交通過疎地の拡大を市ではどう捉えているのか。	市では廃止路線に関して、バス事業者へ存続を求めて要望を行っていましたが、経営状況を踏まえて廃止に至りました。交通空白地域が拡大することについては、課題であると認識しており、補完する乗合いタクシー等で対応していきます。(計画案P80)
5	つくばエクスプレス(TX)の茨城空港まで延伸、及び石岡駅を経由した茨城空港までの延伸はいずれも夢物語と思える。 TXの土浦延伸も私は実現不可能と考える。このことに労力をさくならば、TXつくば駅から朝日トンネル経由のバス路線を設けフラワーパーク、ゆりの郷への客の誘致を考えるべきである。	・朝日トンネル開通という利点を生かし、平成27年、平成28年にTX利用者の取込みを図り「急行路線バスやさとフルーツ号」(つくばセンターからいばらきフラワーパーク、やさと温泉ゆりの郷等)の実証運行を土日、祝日のみ実施しましたが、利用数が少ないため実現化には至りませんでした。 ・広域連携により観光事業に関しては、本計画の施策事業に設定しており、「第2次石岡市観光振興計画」と連携して推進します。(計画案P91)
6	乗合タクシーは土・休日運行の要望が強いにも拘らず、依然実現に至っていない。土・祝日運行を阻害する要因は何か、要因を除き土・祝日の運行を実現すべき。	乗合いタクシー利用者は主に70代以上の方が通院や買い物を目的として、利用しています。土日祝日の場合、医療機関は休診になっていることが多く、ご家族が在宅しているご家庭もございます。 また、すでに土曜日の運行を実施している他自治体の事例でも、費用対効果が悪く、土日祝日の運行を実施しても平日より利用率が下がっている状況のため、実施には至っていません。
7	また福祉有償運送の利用者の条件を緩和して運転免許返納者や免許証そのものを所持していたい高齢者に拡大すべきである。協力者(運転者)の拡大(増員)が必要となる。	・福祉有償運送は社会福祉協議会で実施していますが、制度上の対象者は、他人の介助なしでは移動することが困難であり、かつ、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な移動制約者となっているため条件の拡大は難しいと考えています。 ・高齢者の運転免許返納者につきましては、本計画の施策事業として設定しており、公共交通を利用する優遇制度を導入していきたいと考えています。(計画案P89) 移動支援策として、市内在住の全ての方が利用できる乗合いタクシーが、市内全域を運行しています。
8	現在の石岡駅発着を拡大し発着地点を市内のはずれ(例)羽鳥駅→園部経由フラワーパーク、ゆりの郷や大增地区・高浜・三村地区発着を毎日だけでなく土祝日に運行し市内観光客を掘り起こす。	観光周遊バスのルート案は、参考意見として関係部署に情報共有し検討させていただきます。
9	P.73に関連するが、とくに増便したバス事業者に一定の補助金を出す。	・増便が望ましいと考えていますが、路線バスの利用者が低迷しているため、まずは、現在の路線維持に努めてまいります。 【補助実績】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、交通事業者を支援するため令和4年度に「公共交通事業者燃料高騰対策支援金」、「公共交通事業者支援金」を交付

FAX 0299-22-6070 (石岡市都市計画課)

2024.2.2(金)
2024.2.7(水)差替修正

石岡市地域公共交通計画(素案)に対する意見書

住 所			
氏 名		年 齢	66才
勤務地・通学地	自営(自宅)	電話番号	
内 容			
(1) 石岡駅前(の交差点がとても危険で有) 至急対応した方がよい。 国道6号から石岡駅方面に入って来た石岡郵便局方面へ行く 直進車が かん違いして まん中の右折ゾーンに入ってしまう事 が多くその後 本来の直進車の右側へ接触及び衝突の危 険性が高い。 解決策→左から「左折車」・「直進車」・「右折車」・「右向車」の4ゾー ンを作る。(1ゾーン追加する。タロー線の5m程の移動要) ※始めから4ゾーン作るべきであったと思われる。			
(2) 道路の樹木や植栽は要らない。(今後植えなでもらいたい。) ① 道路樹木や植栽の維持経費は莫大巨額で右肩上がりしている。 ② 視界をさえぎる死角も増え続け交通安全に逆行している。 ③ 落ち葉の清掃撤去や 台風や積雪等による倒壊や排水機能低下。 ④ 電柱電線に掛かる枝葉の経費拡大や 樹木や枝と電線の接触火災。 ⑤ 根の成長に伴う歩道や車道や水道管やガス管等への圧力亀裂損傷等。 ⑥ 成虫や幼虫や蟻やカス等の集団発生源及び害虫隠れ棲み場への助長。 ⑦ 木イ捨て(よくし見えない)ゴミ捨て場にもなっており衛生面でも悪い環境。 ※樹木や植栽をしな場合の各活用方法。 ① 自転車専用道路に切り替える。 ② 宅配便トラック等の無料一時停車駐車場。(一般道駐車はとても危険) ③ 行政や民間の短時間有料駐車場及び無料駐車輪場としての活用。 ④ その他生活に密着して役に立ちかつ初期費用や年間維持費用がほとんど掛からないもの。			

以上



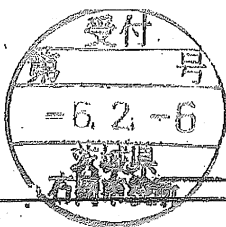
FAX 0299-22-6070 (石岡市都市計画課)

石岡市地域公共交通計画（素案）に対する意見書

2024.2.2(金)

住 所			
氏 名		年 齢	66才
勤務地・通学地	自営 (自宅)	電話番号	
内 容			
(1)、石岡駅前 ^の 交差点がとても危険であり至急直したほうがよい。 国道6号から入ってきた直進車が真ん中の右折ゾーンに入ってしまう車が多くその危険性。／かん違いして 解決案 → 「左折車」・「直進車」・「右折車」・「対向車」の4ゾーンを作る。(ゾーン追加する。タロー像の5m移動要)			
①の樹木中			
(2)、道路植栽は要らない(理由は下記事項)			
● 維持経費のムダ使い。			
● 交通安全すらも死角を深く作っている。			
● 落ち葉の処理が大変。			
● 害虫発生のもと。			
● ポイ捨て場の拡大。(ゴミ増加)			
● 根の成長に伴う歩道・水道管等への圧力損傷			
● 電線との擦れでの劣化対策等。			
● その他マシス面減少有りのため。			
以上			





項目	区分 役割・サービス水準	意見・要望等
1	P7P 幹線交通	路線バス、かして、林線とも、2018年時点より減少している。とくに茨城空港往復はコロナ禍により航空便の減少のためが落ち込んでいる 林線は石岡・柿岡を結ぶ幹線と位置づけられ(P76)ているとは言い難い。平日の終業(石岡発 19:50)は早すぎる。とめて 20:35 (改正前の終業)に居るべきと思う。 また、ダイヤにもあるように下り 18:25は 特急と兼ねて同時刻で、実際に乗り継ぎない。10分ほど繰り下げるべきである また、通学時間の増便で高校生などの乗客を呼び込む
2	P73 補助交通	小幡線は24年3月31日(実際は29日)で終了する。 これにより旧小幡村の中心地を走り石岡駅までの公共交通機関は全く無しになってしまう。 このような交通過疎地の拡大を市ではどう捉えているのか。
3	P77 広域交通の機能強化	つくばエクスプレス(TX)の茨城空港まで延伸及び石岡駅を経由した茨城空港までの延伸、はいずれも賛物論と考える。 TXの上浦延伸も私は実現不可能と考える。 このことに関心をもち、TXつくば駅より朝日トンネル経由のバス路線を設け、フアパーク、ゆりの郷への客の誘致を考えるべきである。
4	P81 補助交通の維持・充実	乗合タクシーは土・休日運行の要望が強いにも拘らず、依然実現に至らない。土・休日運行を阻害する要因は何か。要因を除き土・休日の運行を実現すべき。
5	P35 " 及び福祉有償運送	また、福祉有償運送の利用者の条件を緩和して、運転免許返納者や、免許証そのものを所持していない高齢者に拡大すべきである。協力者(運転者)の拡大が必要となる。 (増員)
6	P91 周遊観光バス	現在の石岡駅発着を拡大し、発着地点を市内の町内(例)羽鳥駅→園部 経由 フアパーク、ゆりの郷や大増地区、茨城、三村地区、発着を毎日だけでなく土・休日に運行し、市内観光客を呼び起こす。
7	P89 通勤・通学への支援	P73に関連するが、とくに増便したバス事業者に一定の補助金を与える

2024.2.2